

稲美町
第3次男女共同参画策定にかかる
アンケート調査
結果報告書

令和3年9月

稲美町

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1 あなたとあなたのご家族について.....	2
2 男女平等・役割分担について.....	7
3 教育について.....	21
4 職業について.....	22
5 仕事と生活の調和について.....	33
6 ハラスメント・DVについて.....	36
7 社会参加について.....	43
8 防災・災害復興対策について.....	45
9 多様な性について.....	46
10 コロナの影響について.....	47
11 男女共同参画社会の実現に向けた施策について.....	48

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、町民の皆さまへ男女共同参画に関するお考えをお聞きし、そのご意見を稲美町の男女共同参画への取り組みに反映させることを目的として実施しました。

2 調査概要

- ◇調査対象者：稲美町在住の18歳以上の方1,000人（無作為抽出）
- ◇調査期間：令和3年8月13日（金）～8月27日（金）
- ◇調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式

3 回収結果

- ◇配布数：1,000件
- ◇有効回収数：421件
- ◇有効回収率：42.1%

4 報告書の見方

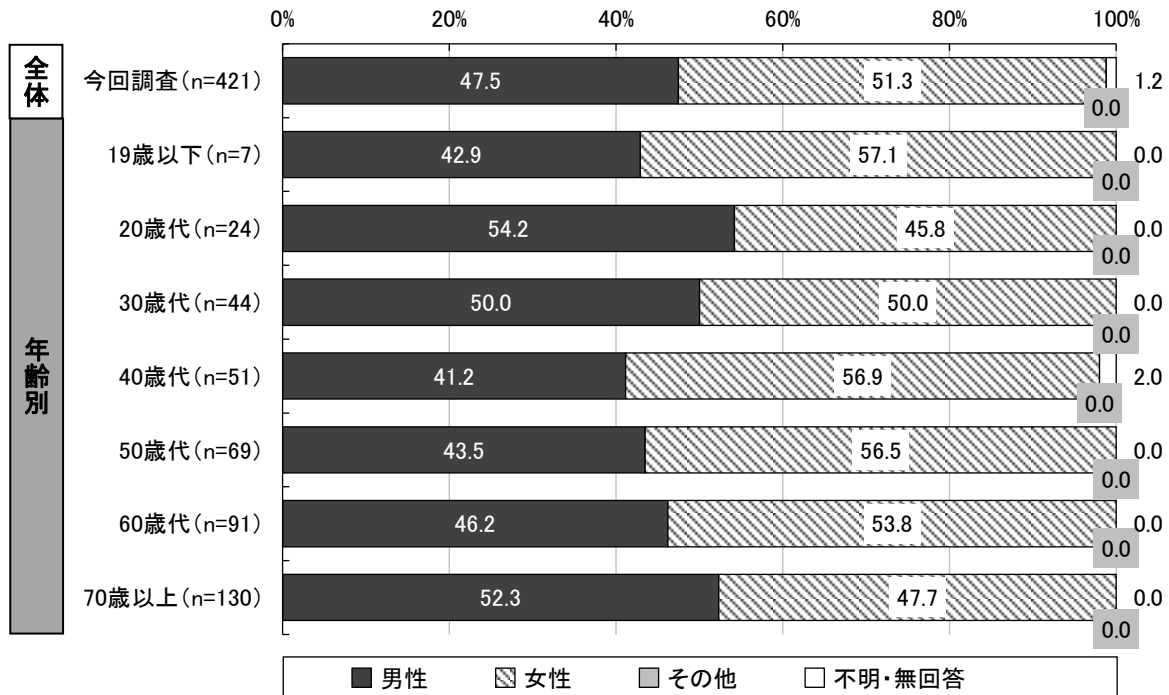
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇報告書内の前回調査とは「男女共同参画に関する町民意識調査」（平成23年実施）を指します。
- ◇報告書内の県調査とは「令和元年度 第2回県民モニターアンケート調査」（調査テーマ：「男女共同参画に関する意識調査」）を指します。
- ◇報告書内の国調査とは「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年度実施）を指します。
- ◇国調査および県調査は、不明・無回答を除いて集計されています。

II アンケート調査結果

1 あなたとあなたのご家族について

問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

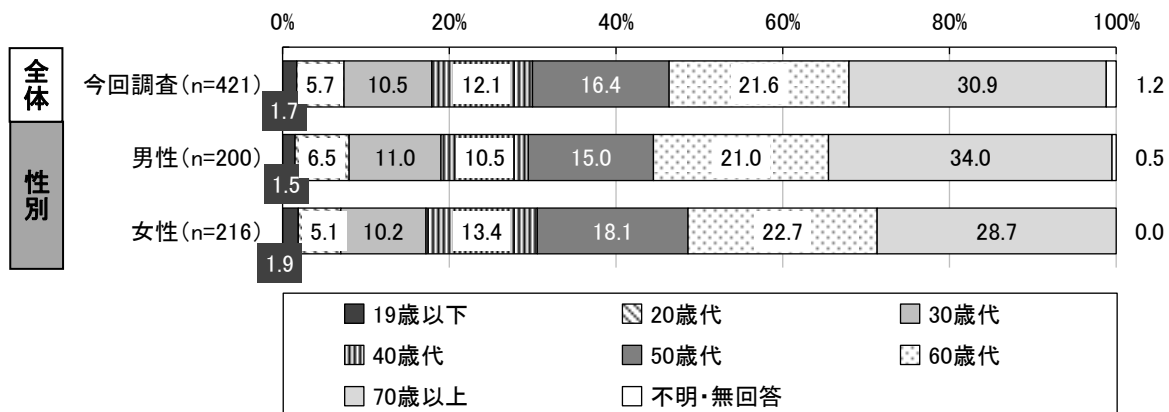
性別についてみると、全体では「男性」が47.5%、「女性」が51.3%となっています。
年齢別にみると、20歳代、70歳以上では「男性」が高くなっています。



問2 あなたの年齢はおいくつですか。(単数回答)

年齢についてみると、全体では「70歳以上」が30.9%と最も高く、次いで「60歳代」が21.6%となっています。

性別にみると、「70歳以上」では男性が女性を5.3ポイント上回っています。



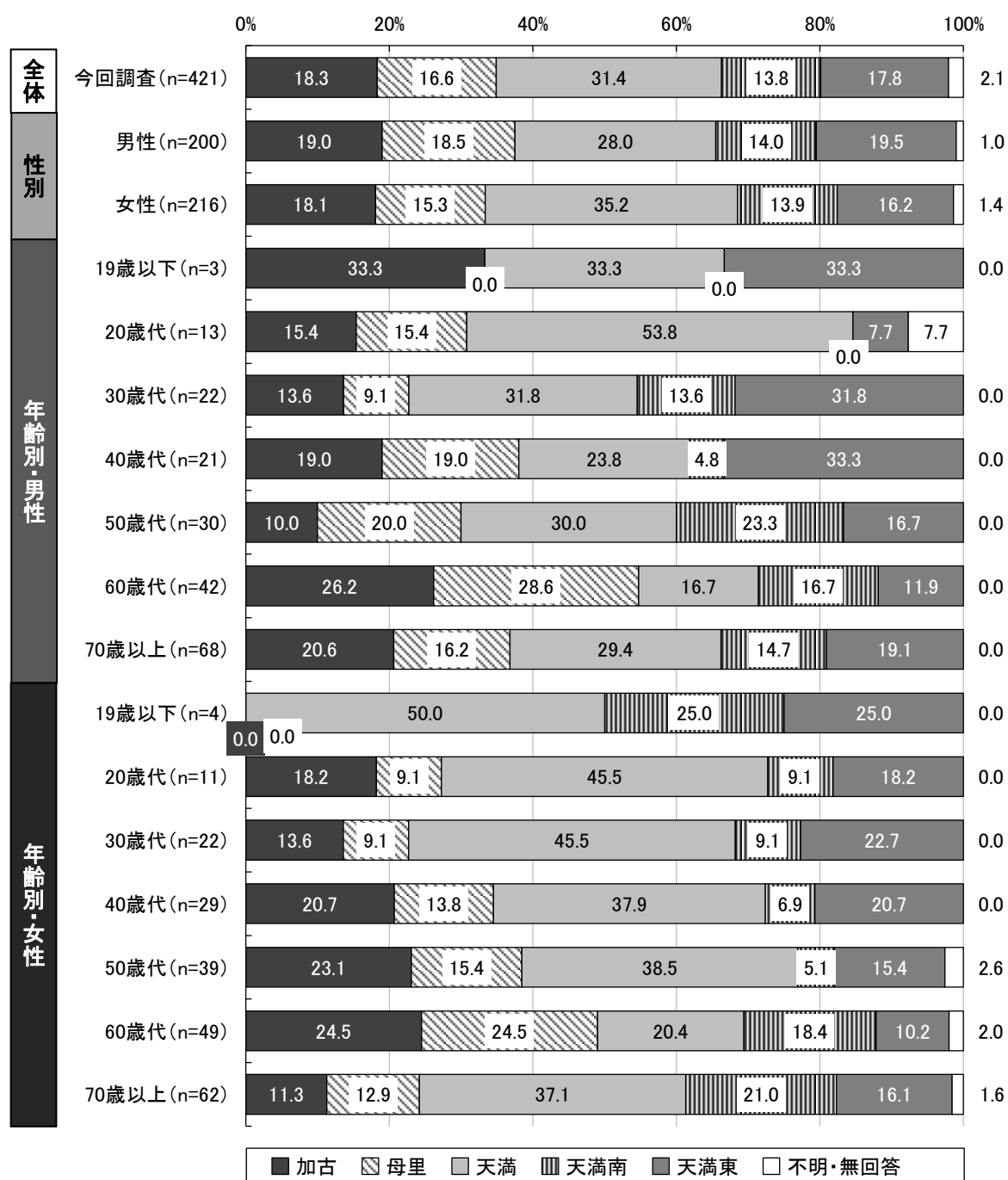
問3 あなたがお住まいの小学校区は次のどれですか。(単数回答)

お住まいの小学校区についてみると、全体では「天満」が31.4%と最も高く、次いで「加古」が18.3%となっています。

性別にみると、「天満」では女性が男性を7.2ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「天満」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下、60歳代、70歳以上では「天満南」が他の年齢と比べて高くなっています。



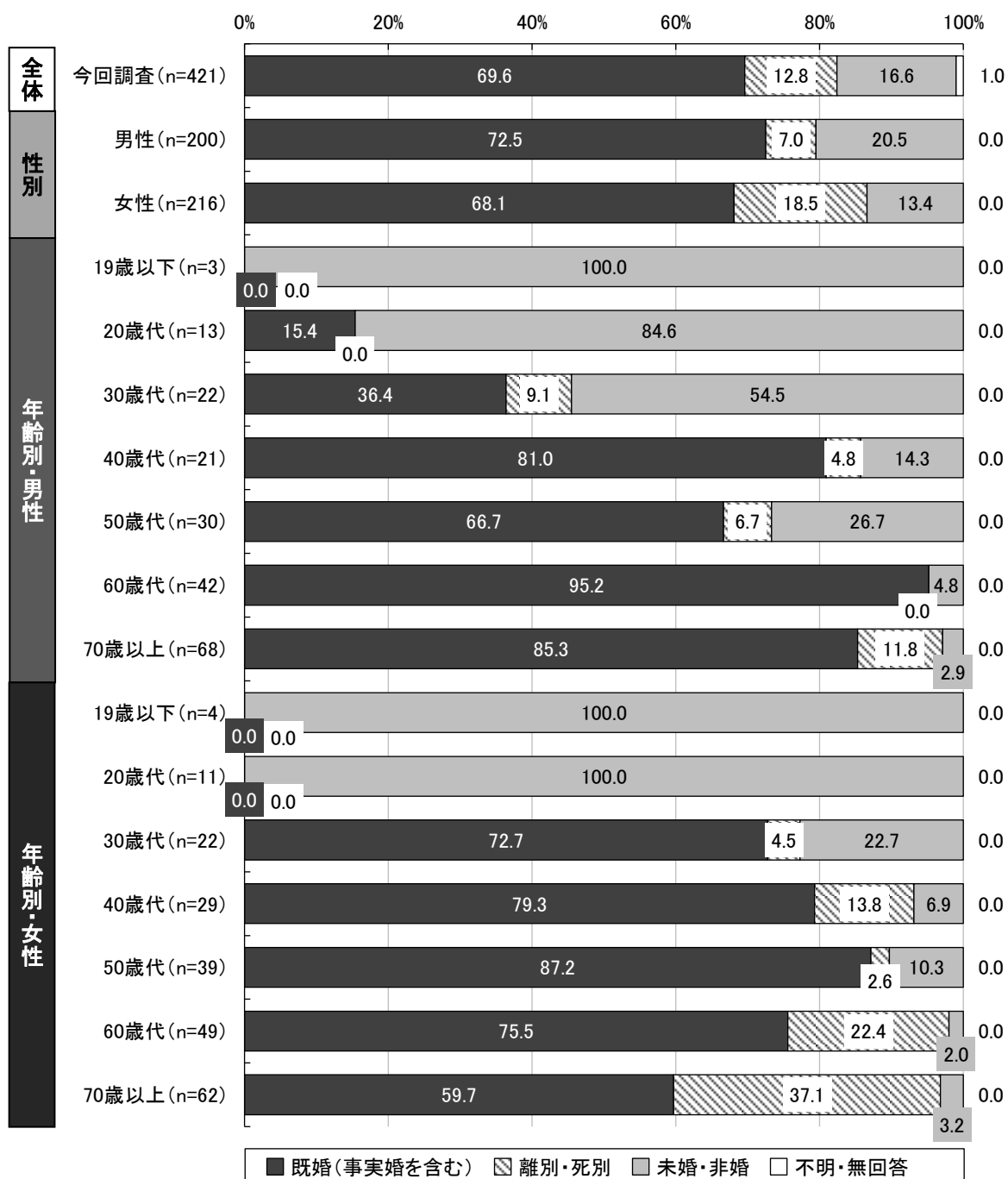
問4 あなたは、現在結婚（事実婚を含む）していますか。（単数回答）

現在結婚（事実婚を含む）しているかについてみると、全体では「既婚（事実婚を含む）」が 69.6%と最も高く、次いで「未婚・非婚」が 16.6%となっています。

性別にみると、「離別・死別」では女性が男性を 11.5 ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代、30歳代では「未婚・非婚」が高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では「未婚・非婚」が高く、60歳代、70歳以上では「離別・死別」が他の年齢と比べて高くなっています。



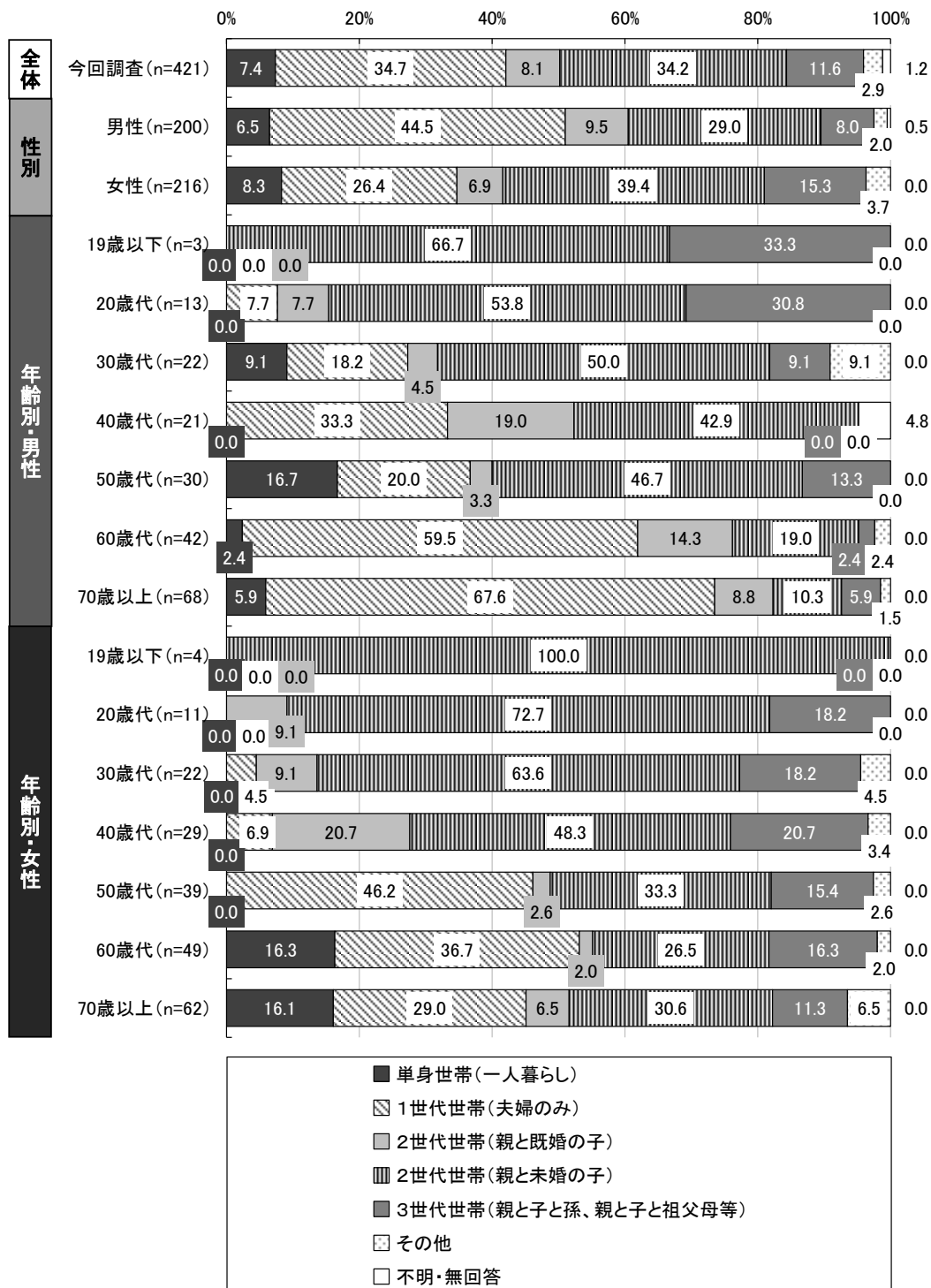
問5 あなたの家族構成をお答えください。(単数回答)

家族構成についてみると、全体では「1世代世帯(夫婦のみ)」が34.7%と最も高く、次いで「2世代世帯(親と未婚の子)」が34.2%となっています。

性別にみると、「1世代世帯(夫婦のみ)」では男性が女性を18.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1世代世帯(夫婦のみ)」が高く、50歳代では「単身世帯(一人暮らし)」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「2世代世帯(親と未婚の子)」が低くなり、60歳代、70歳以上では「単身世帯(一人暮らし)」が他の年齢と比べて高くなっています。



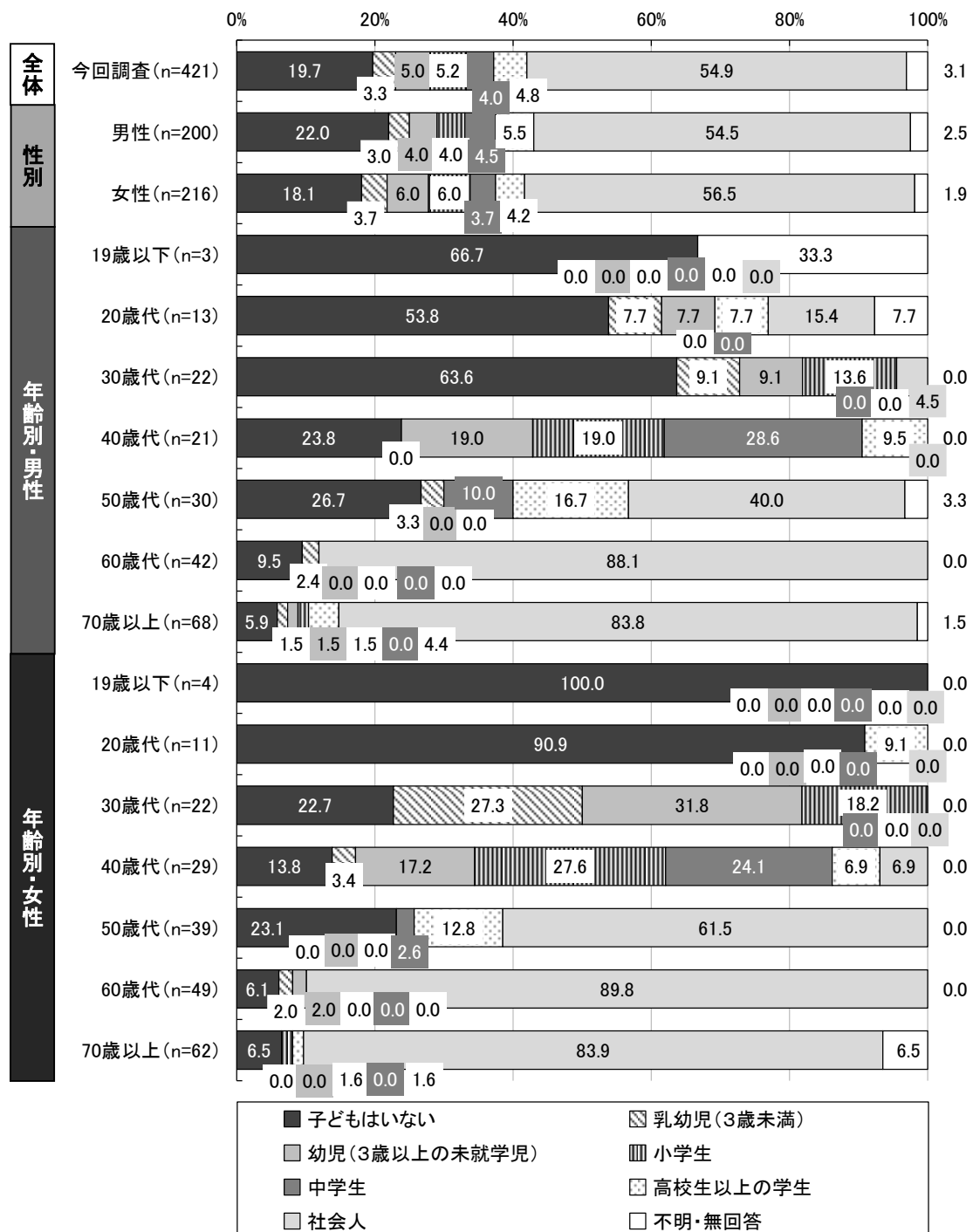
問6 あなたの最年少のお子さん（別居も含む）は次のどれですか。（単数回答）

最年少のお子さん（別居も含む）についてみると、全体では「社会人」が54.9%と最も高く、次いで「子どもはいない」が19.7%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「子どもはいない」が低くなっています。また、40歳代では「中学生」が他の年齢と比べて高くなっています。

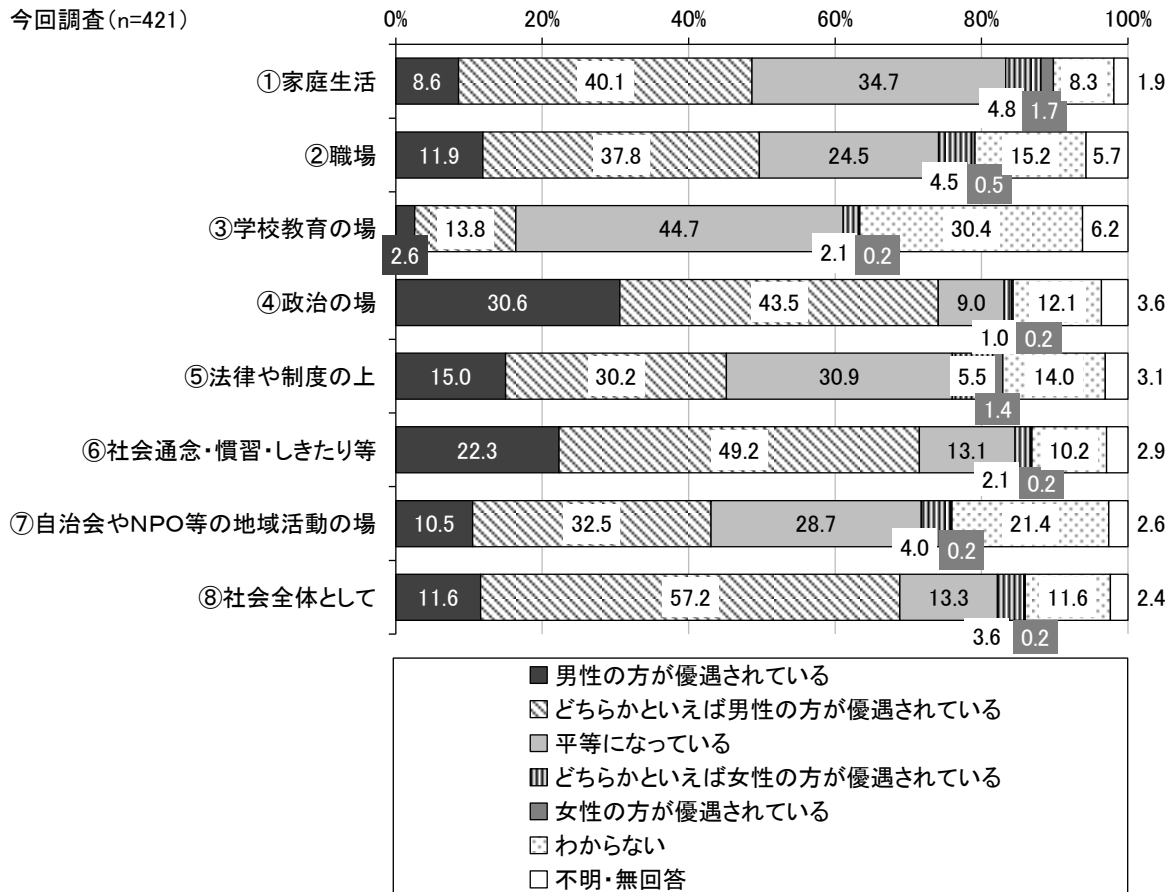
女性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「子どもはいない」が低くなっています。また、30歳代では「乳幼児（3歳未満）」「幼児（3歳以上の未就学児）」、40歳代では「小学生」「中学生」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。



2 男女平等・役割分担について

問7 あなたは、次の各分野において男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。
(単数回答)

各分野において男女の地位はどの程度平等になっていると思うかについてみると、「学校教育の場」では「平等になっている」、「政治の場」「社会通念・慣習・しきたり等」「社会全体として」では『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計）がそれぞれ他の分野と比べて高くなっています。



問7 ①家庭生活（単数回答）

家庭生活での男女の地位についてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が40.1%と最も高く、次いで「平等になっている」が34.7%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が9.3ポイント低くなっています。

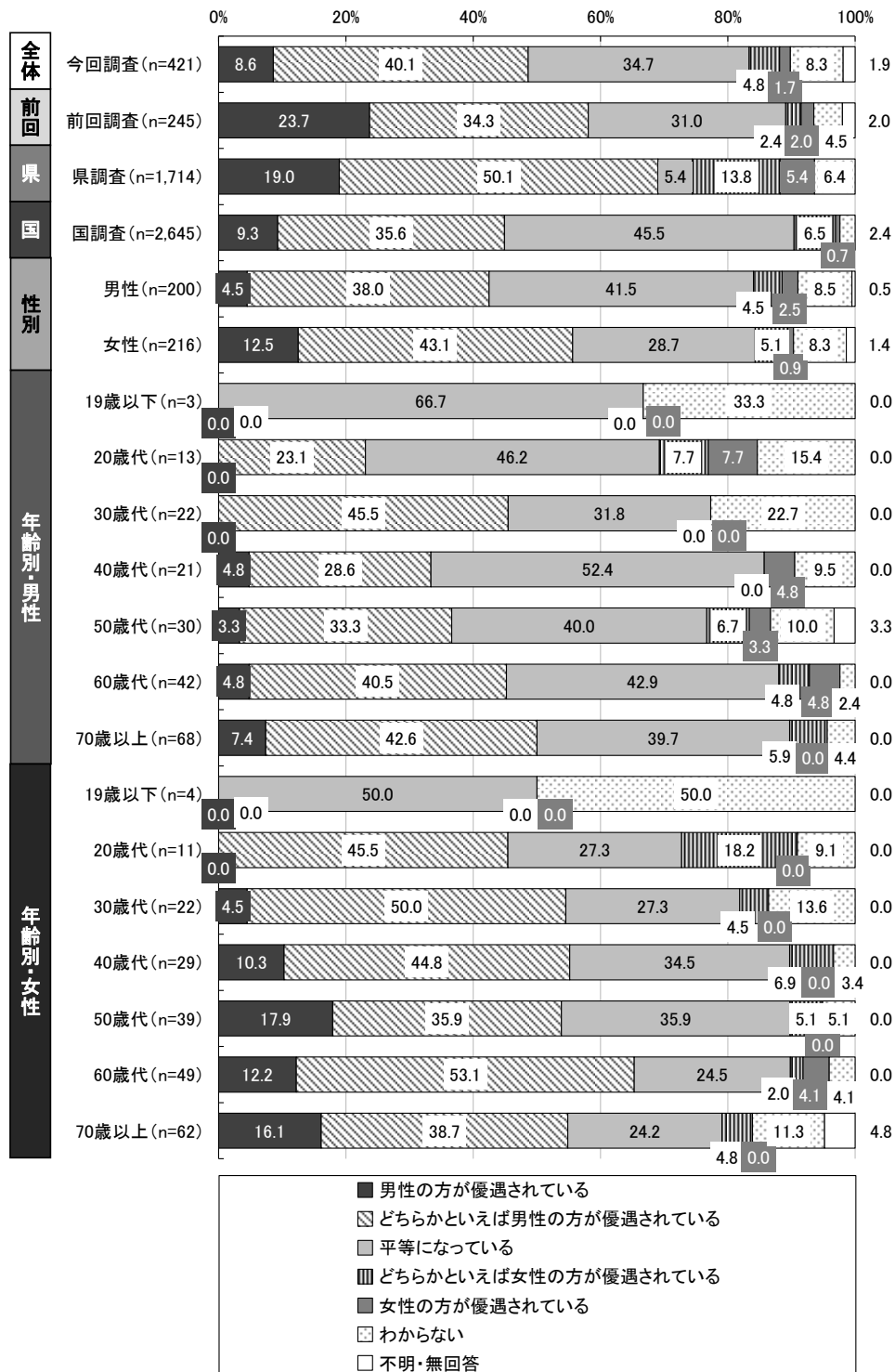
県調査と比較すると、『男性優遇』が20.4ポイント低くなっています。

国調査と比較すると、「平等になっている」が10.8ポイント低くなっています。

性別にみると、『男性優遇』では女性が男性を13.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、40歳代から年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では『女性優遇』が他の年齢と比べて高くなっています。



問7 ②職場（単数回答）

職場での男女の地位についてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が37.8%と最も高く、次いで「平等になっている」が24.5%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が17.2ポイント低くなっています。

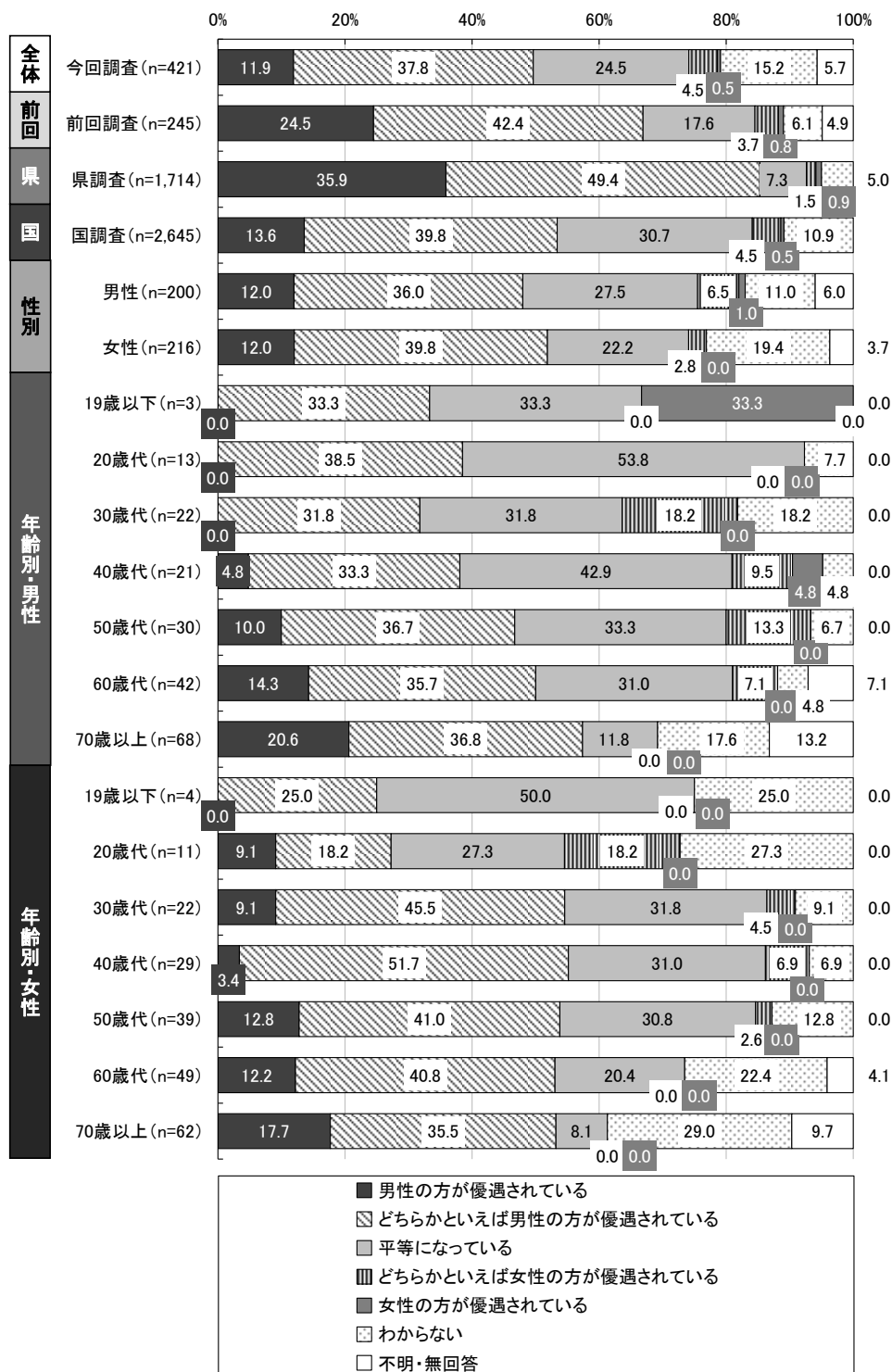
県調査と比較すると、『男性優遇』が35.6ポイント低くなっています。

国調査と比較すると、『男性優遇』が3.7ポイント低くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、30歳代から年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では『男性優遇』が他の年齢と比べて低くなっています。



問7 ③学校教育の場（単数回答）

学校教育の場での男女の地位についてみると、全体では「平等になっている」が44.7%と最も高く、次いで「わからない」が30.4%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が8.7ポイント高くなっています。

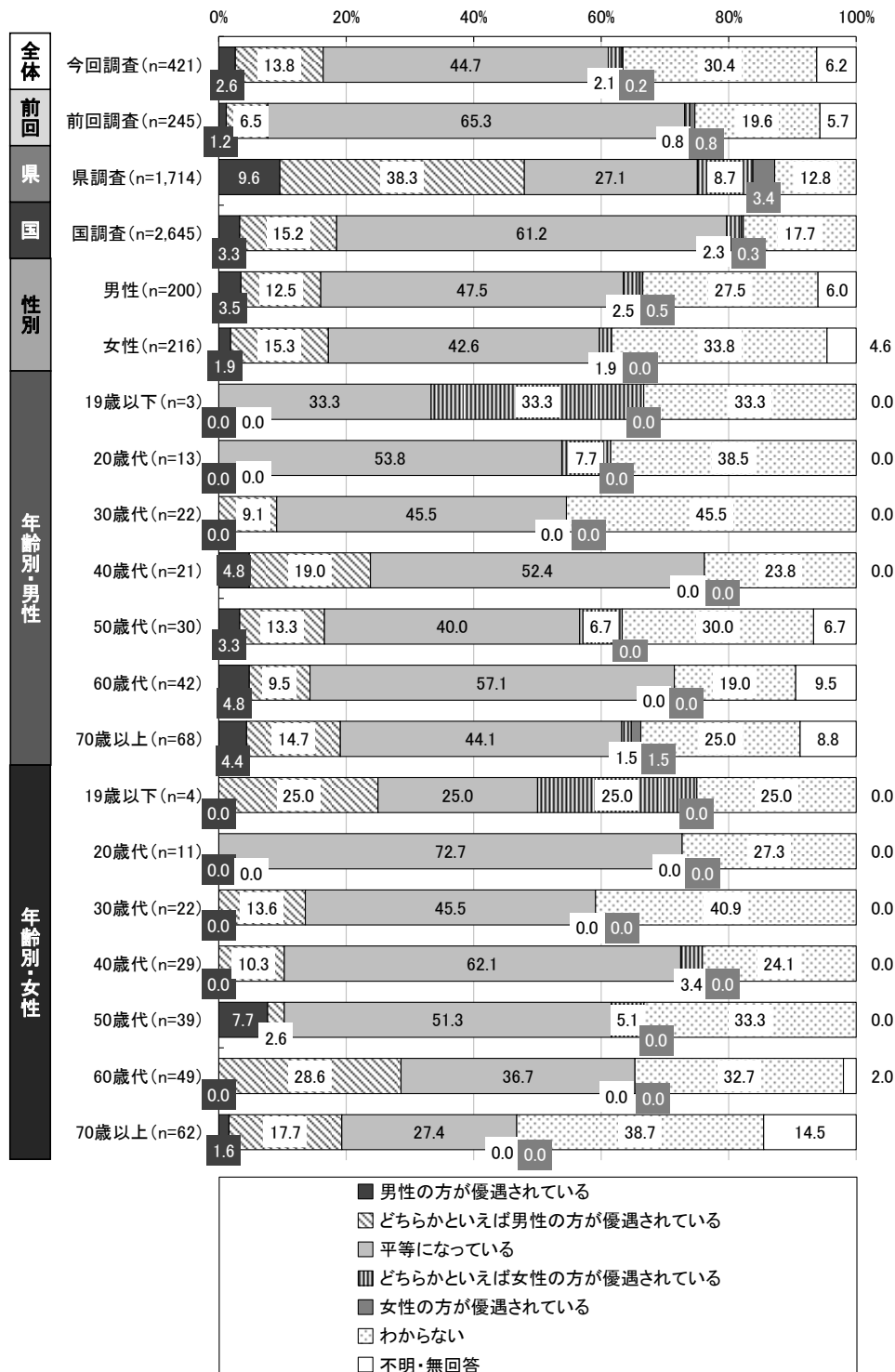
県調査と比較すると、『男性優遇』が31.5ポイント低くなっています。

国調査と比較すると、「平等になっている」が16.5ポイント低くなっています。

性別にみると、「わからない」では女性が男性を6.3ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、30歳代では「わからない」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「平等になっている」が他の年齢と比べて高くなっています。



問7 ④政治の場（単数回答）

政治の場での男女の地位についてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が43.5%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が30.6%となっています。

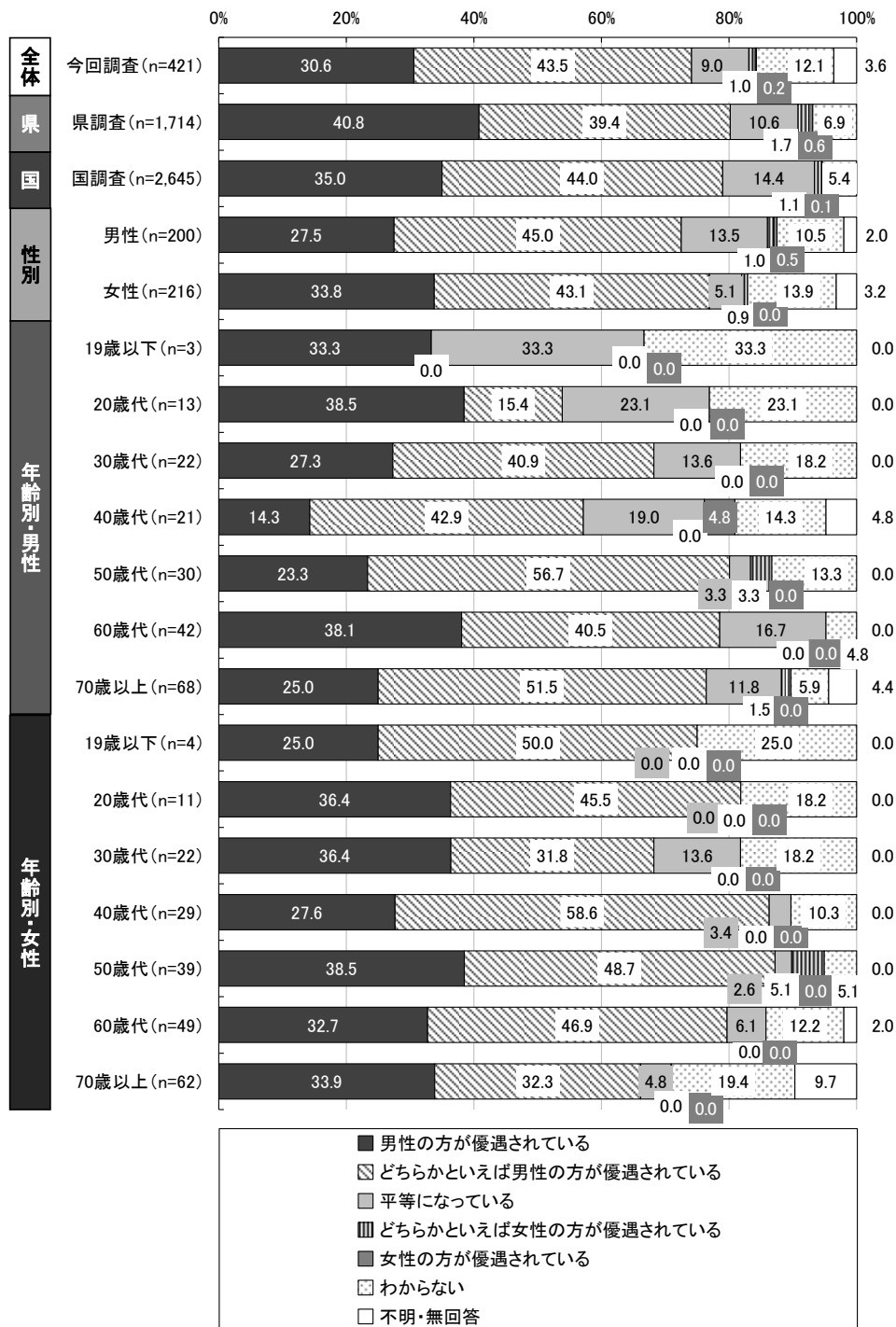
県調査と比較すると、『男性優遇』が6.1ポイント低くなっています。

国調査と比較すると、「平等になっている」が5.4ポイント低くなっています。

性別にみると、「平等になっている」では男性が女性を8.4ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下では「平等になっている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代、70歳以上では『男性優遇』が他の年齢と比べて低くなっています。



※前回調査は設問なし

問7 ⑤法律や制度の上（単数回答）

法律や制度の上での男女の地位についてみると、全体では「平等になっている」が30.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が30.2%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が17.5ポイント高くなっています。

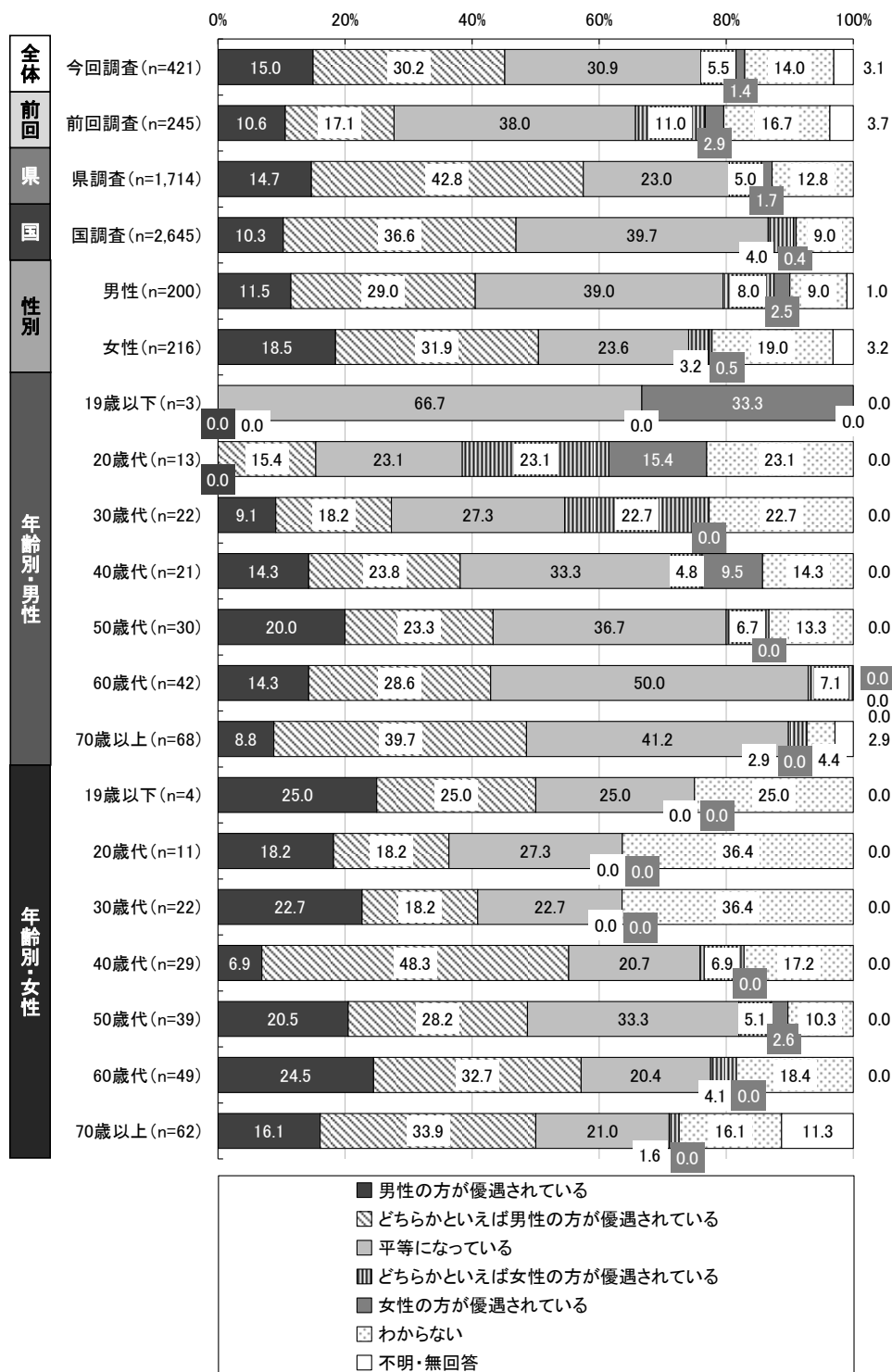
県調査と比較すると、『男性優遇』が12.3ポイント低くなっています。

国調査と比較すると、「平等になっている」が8.8ポイント低くなっています。

性別にみると、『男性優遇』では女性が男性を9.9ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代、30歳代では『男性優遇』が他の年齢と比べて低くなっています。



問7 ⑥社会通念・慣習・しきたり等（単数回答）

社会通念・慣習・しきたり等での男女の地位についてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が49.2%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が22.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

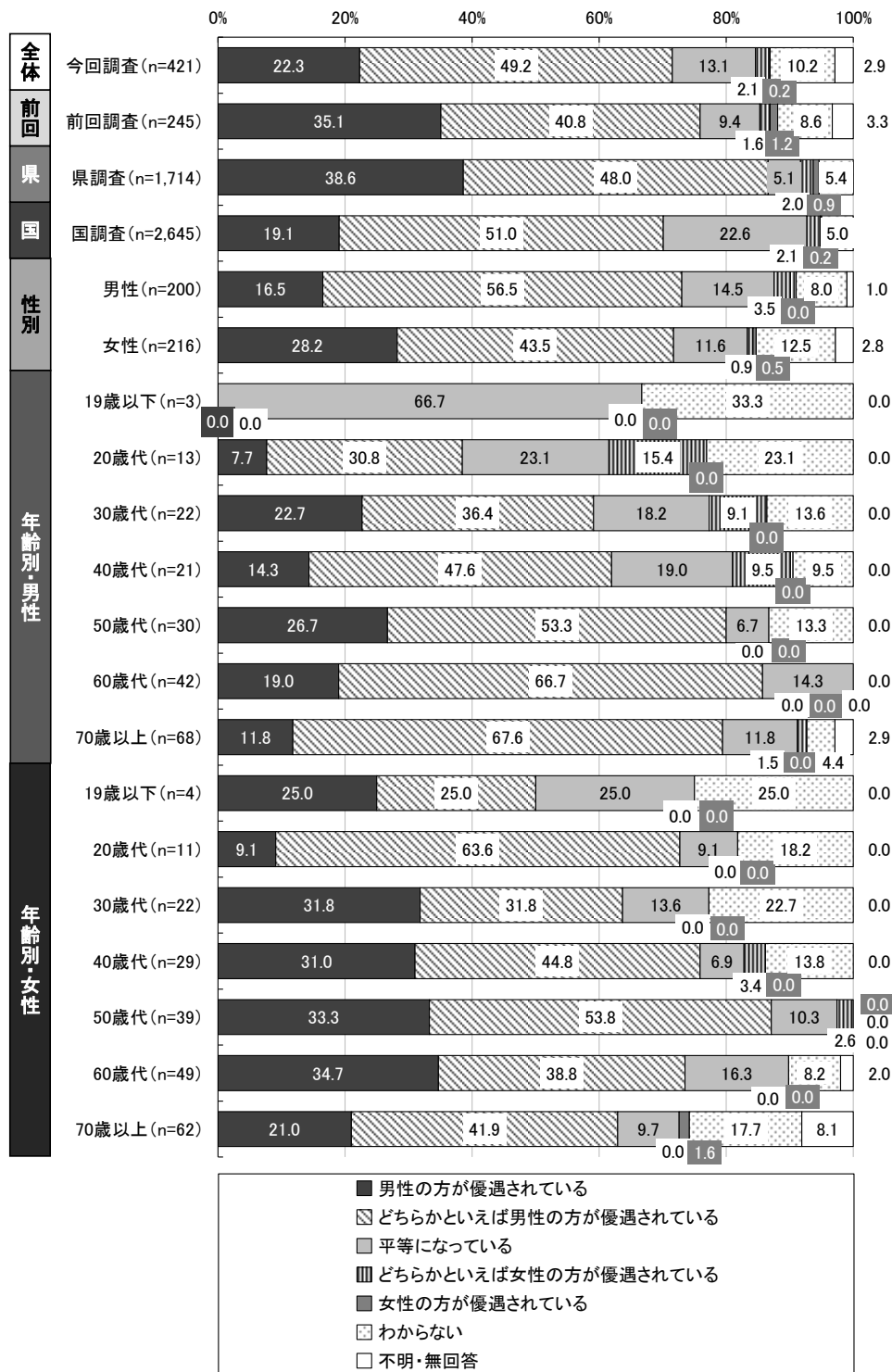
県調査と比較すると、『男性優遇』が15.1ポイント低くなっています。

国調査と比較すると、「平等になっている」が9.5ポイント低くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

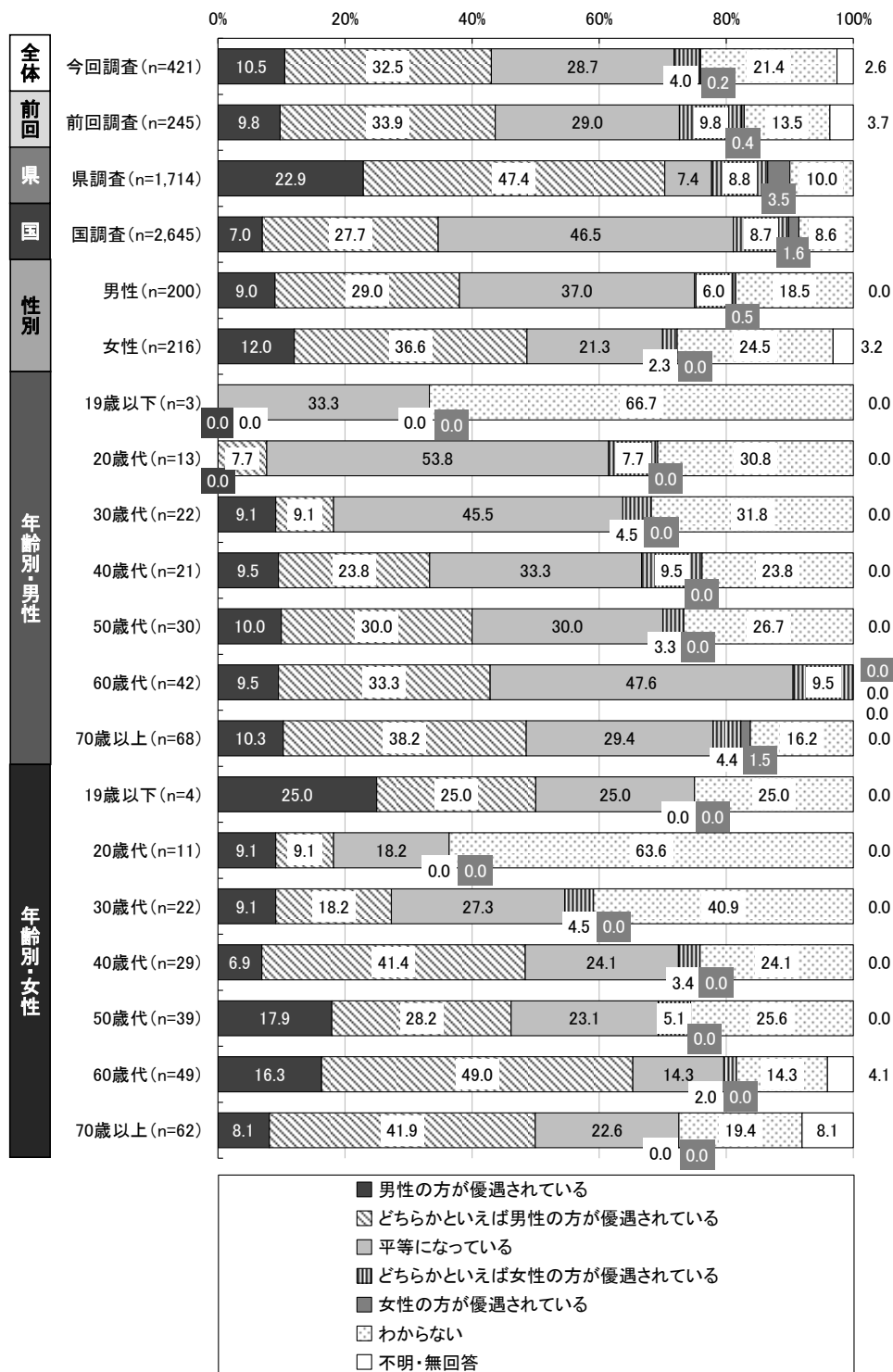
男性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。

女性の年齢別にみると、50歳代では『男性優遇』が他の年齢と比べて高くなっています。



問7 ⑦自治会やNPO等の地域活動の場（単数回答）

自治会やNPO等の地域活動の場での男女の地位についてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が32.5%と最も高く、次いで「平等になっている」が28.7%となっています。前回調査と比較すると、「わからない」が7.9ポイント高くなっています。県調査と比較すると、『男性優遇』が27.3ポイント低くなっています。国調査と比較すると、「平等になっている」が17.8ポイント低くなっています。性別にみると、「平等になっている」では男性が女性を15.7ポイント上回っています。男性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。女性の年齢別にみると、60歳代では『男性優遇』が他の年齢と比べて高くなっています。



問7 ⑧社会全体として（単数回答）

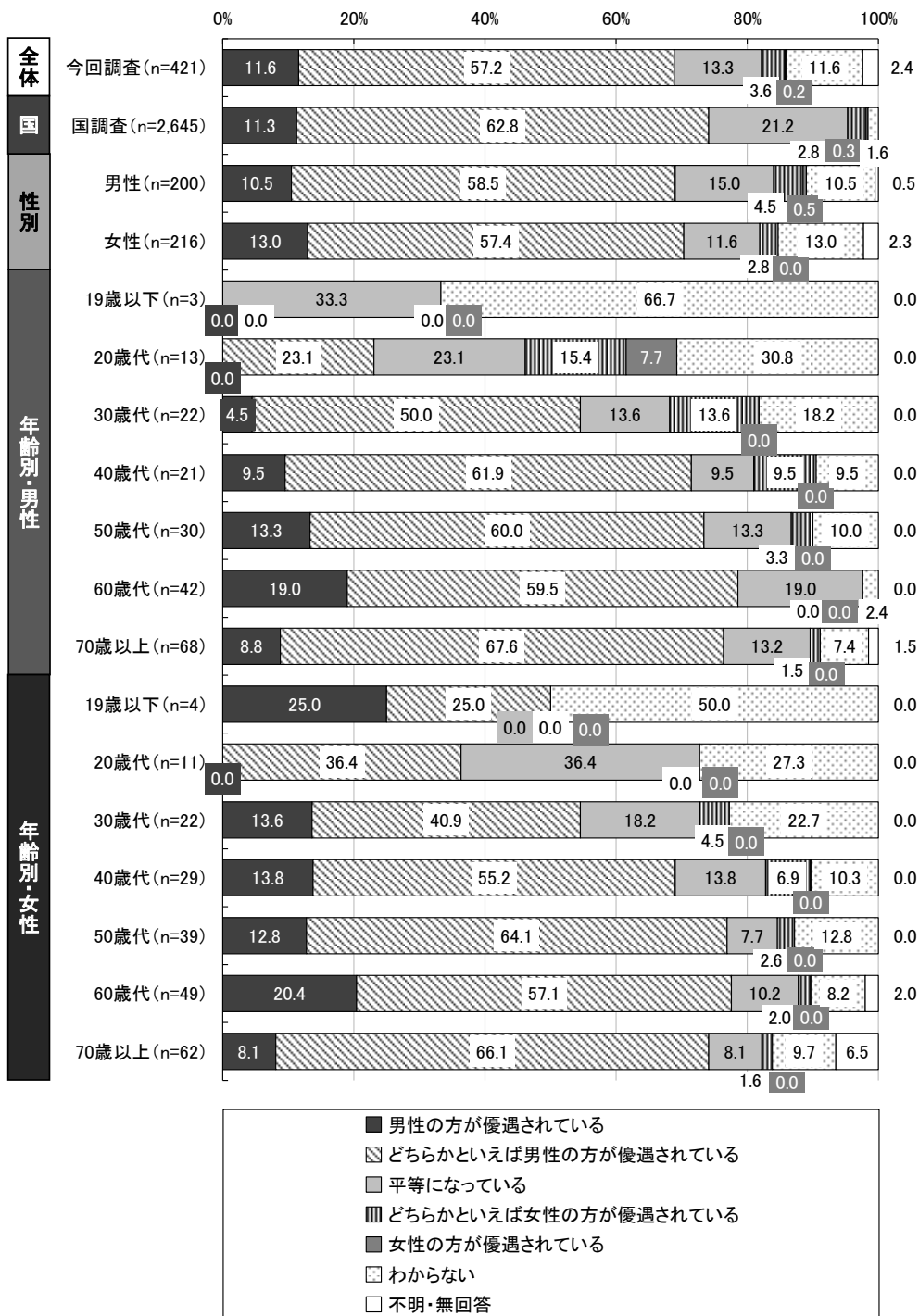
社会全体での男女の地位についてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が57.2%と最も高く、次いで「平等になっている」が13.3%となっています。

国調査と比較すると、「平等になっている」が7.9ポイント低くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。

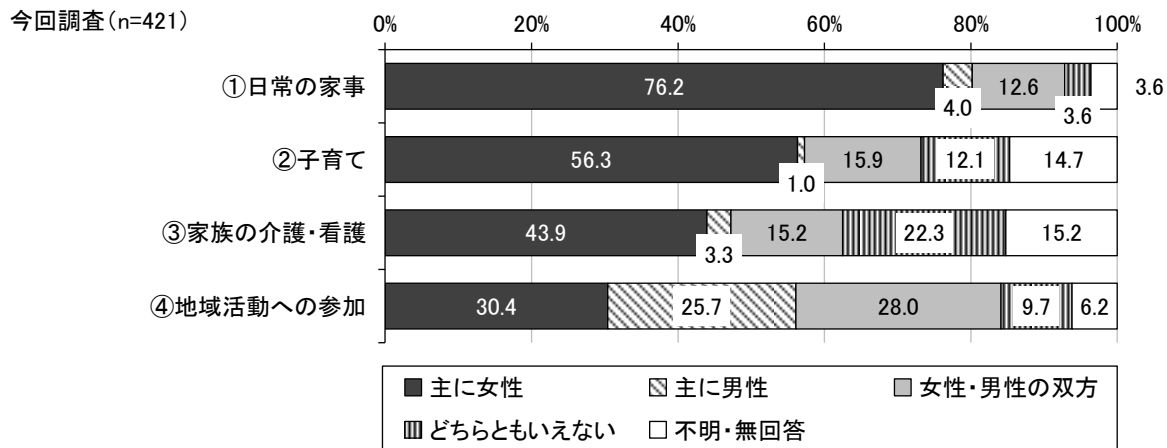
女性の年齢別にみると、20歳代から年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっており、20歳代では「平等になっている」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査・国調査のみの設問

問8 あなたの家庭では、次の項目について、主にどなたが行っていますか。(単数回答)

家庭での各項目について、主にどなたが行っているかについてみると、全ての項目で「主に女性」が最も高くなっています。「地域活動への参加」では「主に男性」「女性・男性の双方」が他の項目と比べて高くなっています。



問8 ①日常の家事（単数回答）

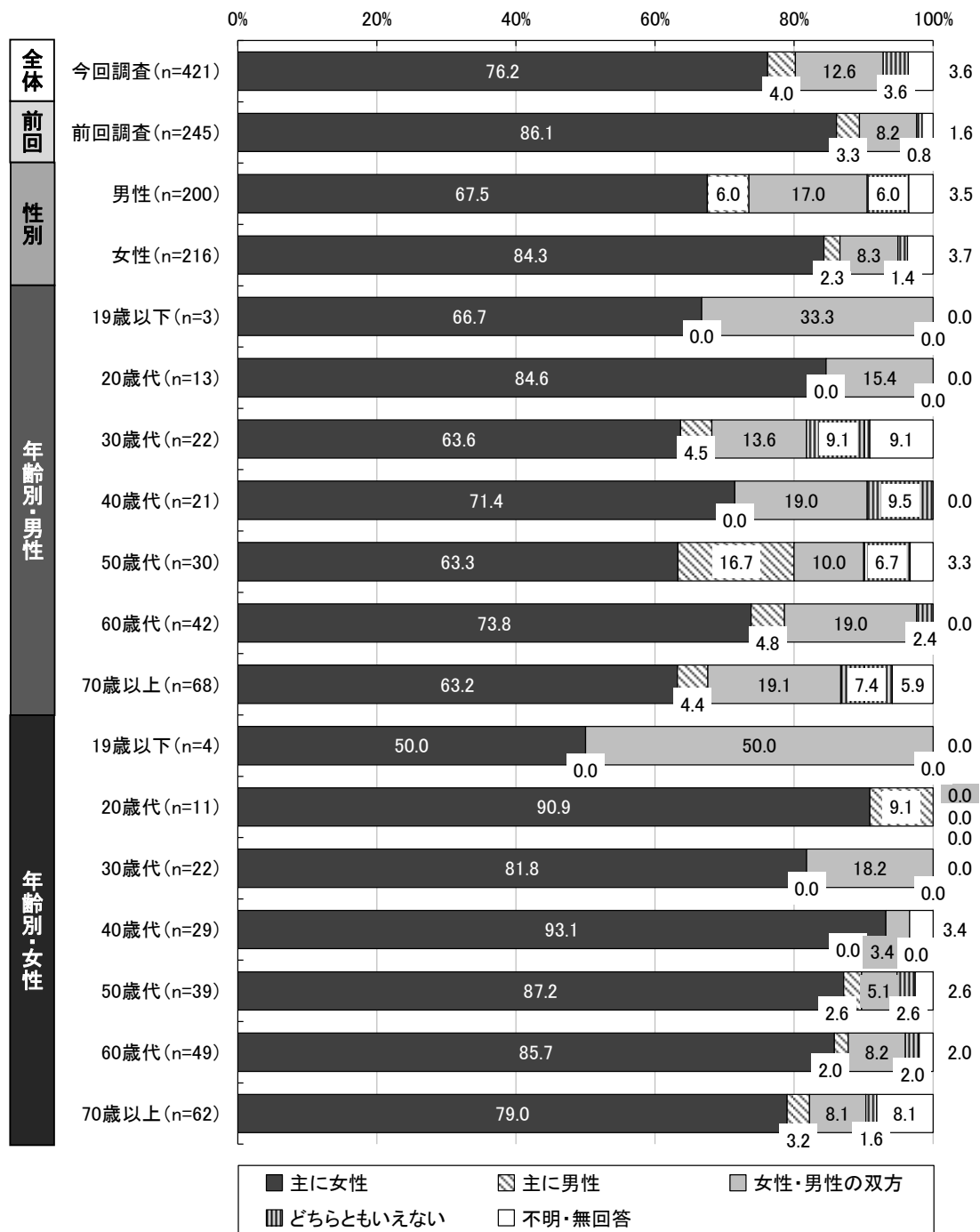
日常の家事を主にどなたが行っているかについてみると、全体では「主に女性」が76.2%と最も高く、次いで「女性・男性の双方」が12.6%となっています。

前回調査と比較すると、「主に女性」が9.9ポイント低くなっています。

性別にみると、「主に女性」では女性が男性を16.8ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「主に女性」、50歳代では「主に男性」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下では「女性・男性の双方」が他の年齢と比べて高くなっています。



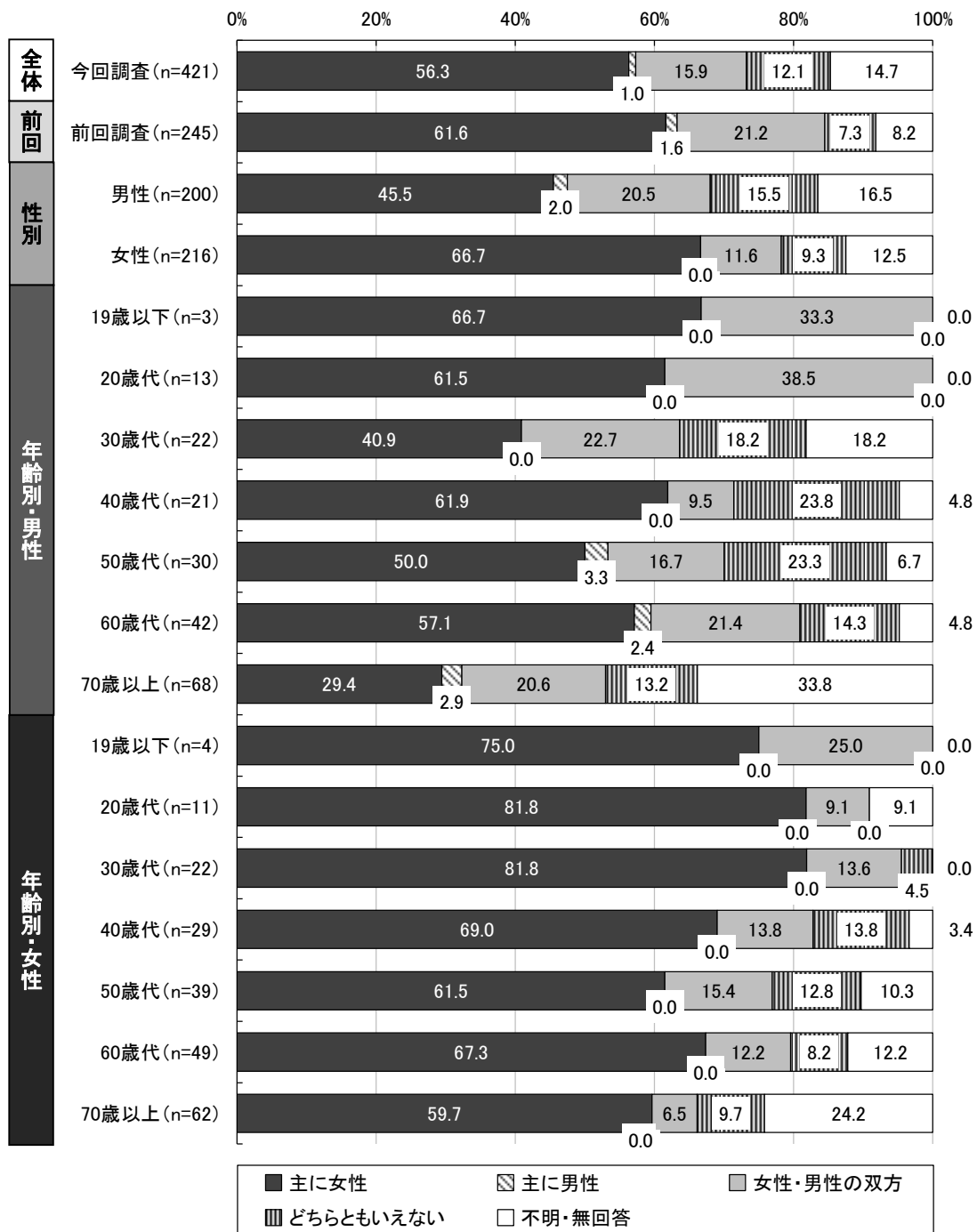
問8 ②子育て（単数回答）

子育てを主にどなたが行っているかについてみると、全体では「主に女性」が56.3%と最も高く、次いで「女性・男性の双方」が15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「主に女性」「女性・男性の双方」がそれぞれ5.3ポイント低くなっています。性別にみると、「主に女性」では女性が男性を21.2ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では「女性・男性の双方」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代、30歳代では「主に女性」が他の年齢と比べて高くなっています。



問8 ③家族の介護・看護（単数回答）

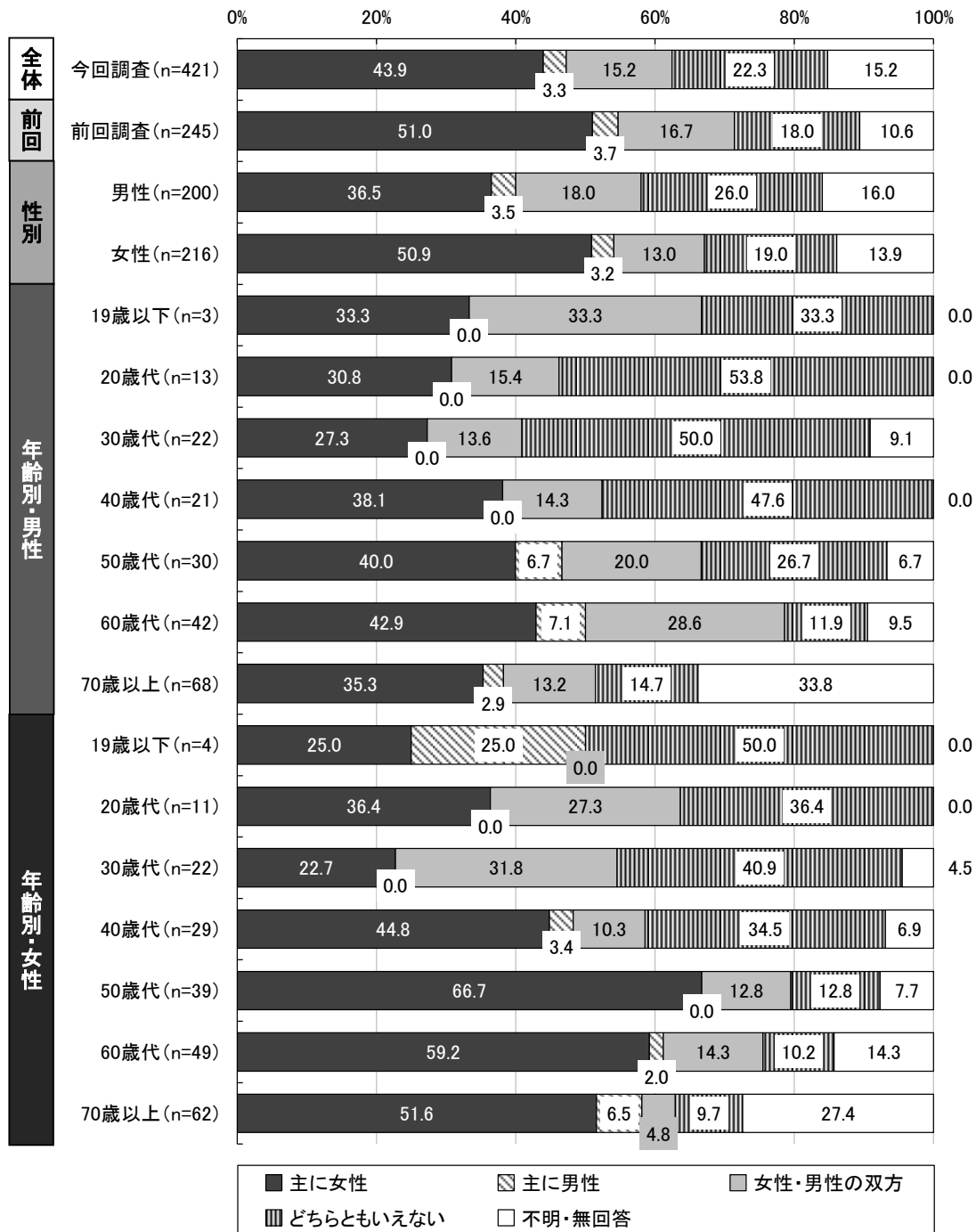
家族の介護・看護を主にどなたが行っているかについてみると、全体では「主に女性」が43.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.3%となっています。

前回調査と比較すると、「主に女性」が7.1ポイント低くなっています。

性別にみると、「主に女性」では女性が男性を14.4ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代、30歳代、40歳代では「どちらともいえない」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、50歳代、60歳代では「主に女性」が他の年齢と比べて高くなっています。



問8 ④地域活動への参加（単数回答）

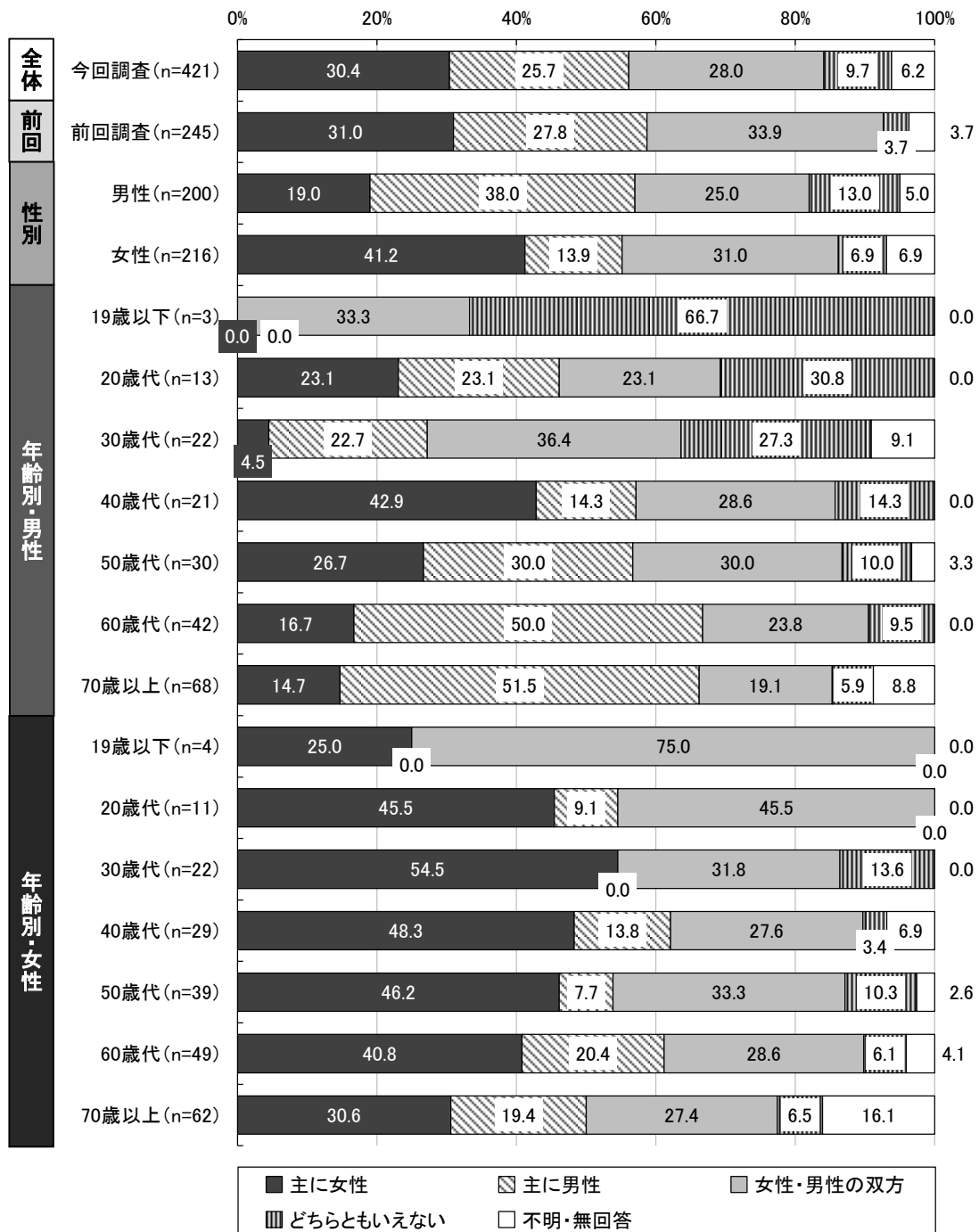
地域活動への参加を主にどなたが行っているかについてみると、全体では「主に女性」が30.4%と最も高く、次いで「女性・男性の双方」が28.0%となっています。

前回調査と比較すると、「どちらともいえない」が6.0ポイント高くなっています。

性別にみると、「主に男性」では男性が女性を24.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、60歳代、70歳以上では「主に男性」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代から年齢が上がるにつれて「主に女性」が低くなっています。



3 教育について

問9 学校教育の場で、男女平等を推進するためには、何が必要だと思いますか。(複数回答)

学校教育の場で、男女平等を推進するために必要なことについてみると、全体では「相手を思いやる心を育てる」が60.6%と最も高く、次いで「男女関係なく、能力や個性を活かせるような進路選択ができる」が51.1%となっています。

性別にみると、「保護者に対して、PTAや保護者会等を通じて男女平等に対する理解を促す」では男性が女性を9.0ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下では「男女関係なく、能力や個性を活かせるような進路選択ができる」、60歳代では「性別による身体的な差があることを踏まえた上で、男女平等の意識を育む」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では「相手を思いやる心を育てる」が他の年齢と比べて低くなっています。

単位：%		生命や性を尊重する	相手を思いやる心を育てる	学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない	男女関係なく、能力や個性を活かせるような進路選択ができる	性別による身体的な差があることを踏まえた上で、男女平等の意識を育む	教職員に対して男女共同参画意識の醸成のための研修を実施する	保護者に対して、PTAや保護者会等を通じて男女平等に対する理解を促す	管理職（校長・教頭）に女性を増やす	その他	特になし	わからない	不明・無回答
今回調査(n=421)		18.8	60.6	24.7	51.1	46.3	11.2	10.7	13.8	1.0	1.9	3.3	4.0
性別	男性(n=200)	18.0	61.5	22.0	49.5	44.5	10.5	15.5	14.5	1.0	2.5	3.0	4.0
	女性(n=216)	19.9	60.6	26.4	52.8	47.2	12.0	6.5	13.0	0.9	1.4	3.7	3.7
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	30.8	61.5	30.8	38.5	30.8	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0
	30歳代(n=22)	13.6	54.5	27.3	31.8	27.3	9.1	9.1	31.8	4.5	0.0	9.1	9.1
	40歳代(n=21)	9.5	66.7	23.8	57.1	52.4	0.0	9.5	19.0	0.0	4.8	4.8	0.0
	50歳代(n=30)	33.3	56.7	23.3	36.7	50.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	3.3	3.3
	60歳代(n=42)	16.7	57.1	23.8	54.8	64.3	14.3	26.2	11.9	0.0	2.4	0.0	0.0
	70歳以上(n=68)	13.2	69.1	16.2	57.4	36.8	16.2	20.6	11.8	0.0	1.5	0.0	7.4
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	50.0	25.0	25.0	100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	0.0	27.3	45.5	63.6	81.8	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	13.6	59.1	40.9	59.1	40.9	9.1	0.0	27.3	4.5	0.0	4.5	0.0
	40歳代(n=29)	17.2	55.2	41.4	62.1	58.6	6.9	0.0	17.2	0.0	0.0	3.4	3.4
	50歳代(n=39)	23.1	56.4	28.2	38.5	48.7	20.5	15.4	10.3	2.6	2.6	2.6	2.6
	60歳代(n=49)	24.5	75.5	20.4	63.3	46.9	10.2	8.2	6.1	0.0	0.0	2.0	0.0
	70歳以上(n=62)	19.4	62.9	14.5	41.9	35.5	14.5	6.5	11.3	0.0	1.6	6.5	9.7

4 職業について

問 10 あなたの現在のご職業に最も近いものはどれですか。(単数回答)

職業についてみると、全体では「会社員・公務員・職員（常勤・フルタイム）」が26.1%と最も高く、次いで「無職（家事専業、学生以外）」が20.7%となっています。

性別にみると、「家事専業」では女性が男性を31.9ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、70歳以上では「無職（家事専業、学生以外）」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代では「会社員・公務員・職員（パートタイム、アルバイト）」、60歳代、70歳以上では「家事専業」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

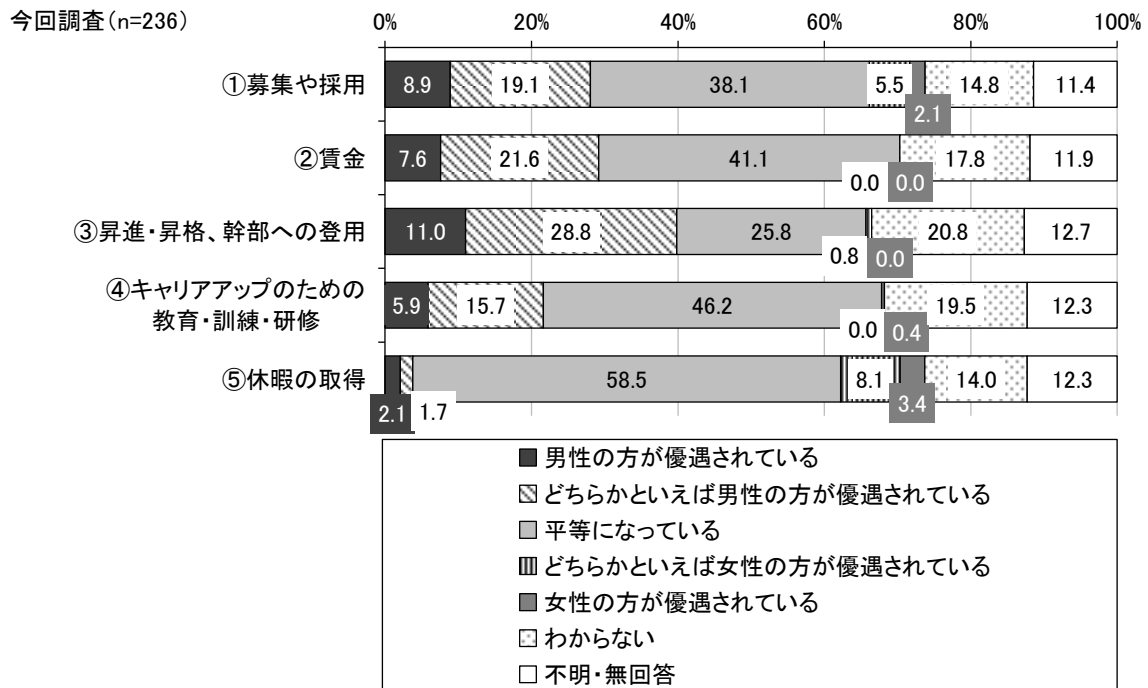
単位：%		会社員・公務員・職員 (常勤・フルタイム・職員)	会社員・公務員・職員 (パートタイム・アルバイト)	派遣社員	商工業、農業等の自営業	経営者	内職等の家庭内請負業	家事専業	学生	無職 (家事専業、学生以外)	その他	不明・無回答
今回調査(n=421)		26.1	17.8	1.0	3.3	4.5	0.5	17.1	2.9	20.7	2.9	3.3
性別	男性(n=200)	33.0	12.0	1.5	5.0	8.5	0.5	0.5	1.0	30.5	4.0	3.5
	女性(n=216)	19.4	23.1	0.5	1.9	0.9	0.5	32.4	4.6	11.6	1.9	3.2
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	61.5	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0
	30歳代(n=22)	72.7	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	4.5
	40歳代(n=21)	66.7	0.0	4.8	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0
	50歳代(n=30)	66.7	6.7	3.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
	60歳代(n=42)	14.3	31.0	0.0	11.9	9.5	0.0	2.4	0.0	26.2	2.4	2.4
	70歳以上(n=68)	1.5	5.9	1.5	5.9	5.9	1.5	0.0	0.0	70.6	1.5	5.9
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	45.5	31.8	0.0	0.0	0.0	4.5	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0
	40歳代(n=29)	27.6	48.3	0.0	0.0	3.4	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	3.4
	50歳代(n=39)	35.9	28.2	2.6	0.0	0.0	0.0	20.5	0.0	7.7	2.6	2.6
	60歳代(n=49)	8.2	34.7	0.0	4.1	2.0	0.0	40.8	0.0	8.2	2.0	0.0
	70歳以上(n=62)	0.0	1.6	0.0	3.2	0.0	0.0	54.8	0.0	29.0	3.2	8.1

問 10 で「家事専業」または「学生」または「無職」以外を選択した方にお聞きします

問 11 あなたの今の職場では、次の項目について男女の扱いは平等になっていると思いますか。

(単数回答)

職場での各項目について男女の扱いは平等になっていると思うかについてみると、「昇進・昇格、幹部への登用」では『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計）、「休暇の取得」では「平等になっている」がそれぞれ他の項目と比べて高くなっています。



問 11 ①募集や採用（単数回答）

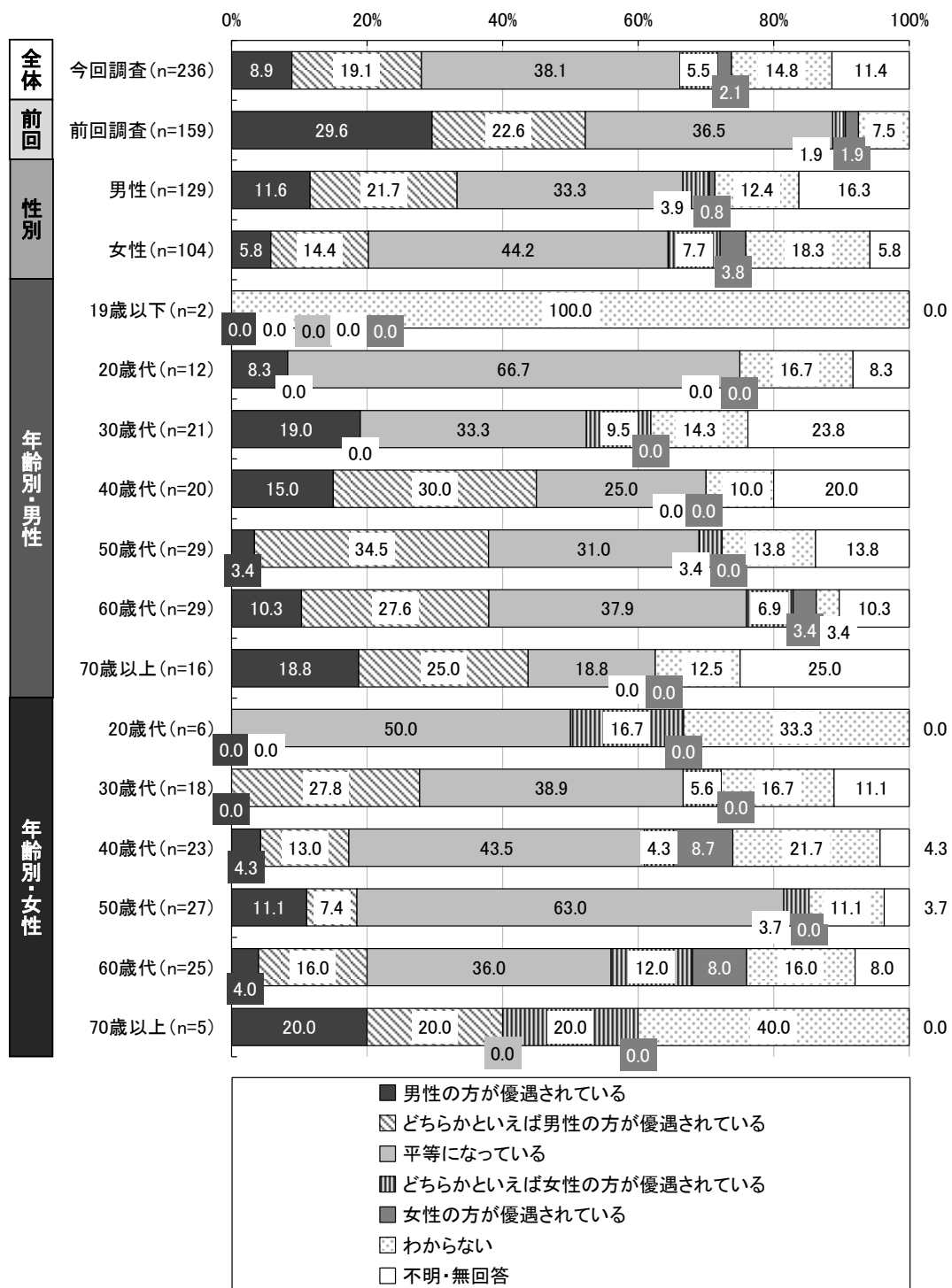
募集や採用での男女の扱いについてみると、全体では「平等になっている」が38.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が19.1%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が24.2ポイント低くなっています。

性別にみると、「平等になっている」では女性が男性を10.9ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「平等になっている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、70歳以上では『男性優遇』が他の年齢と比べて高くなっています。



※19歳以下・女性は0件のため記載なし。前回調査は不明・無回答を除いて集計している。

問 11 ②賃金（単数回答）

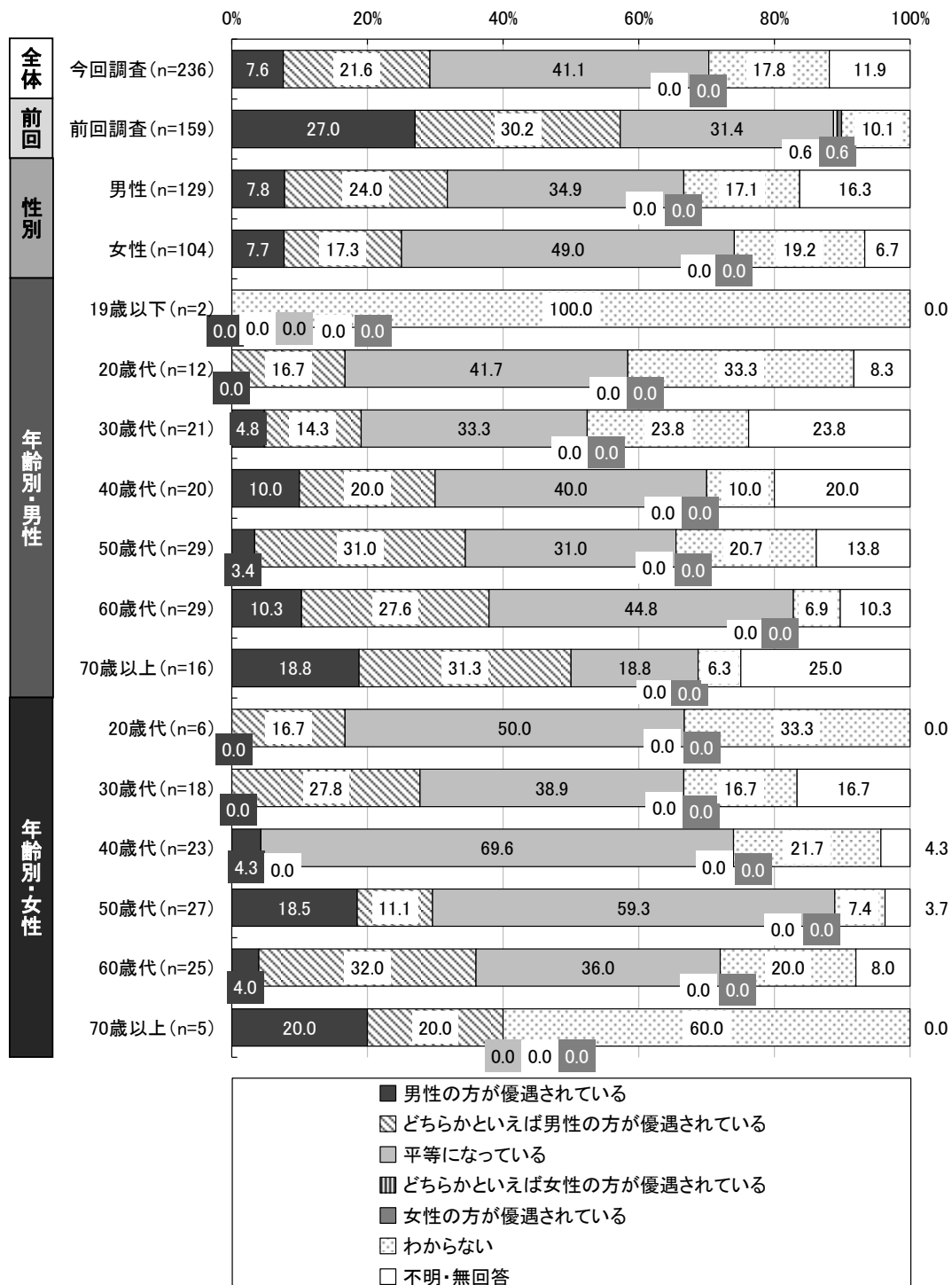
賃金での男女の扱いについてみると、全体では「平等になっている」が41.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が21.6%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が28.0ポイント低くなっています。

性別にみると、「平等になっている」では女性が男性を14.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代では『男性優遇』が他の年齢と比べて低くなっていますが、概ね年齢が上がるにつれて『男性優遇』が高くなっています。



※19歳以下・女性は0件のため記載なし。前回調査は不明・無回答を除いて集計している。

問 11 ③昇進・昇格、幹部への登用（単数回答）

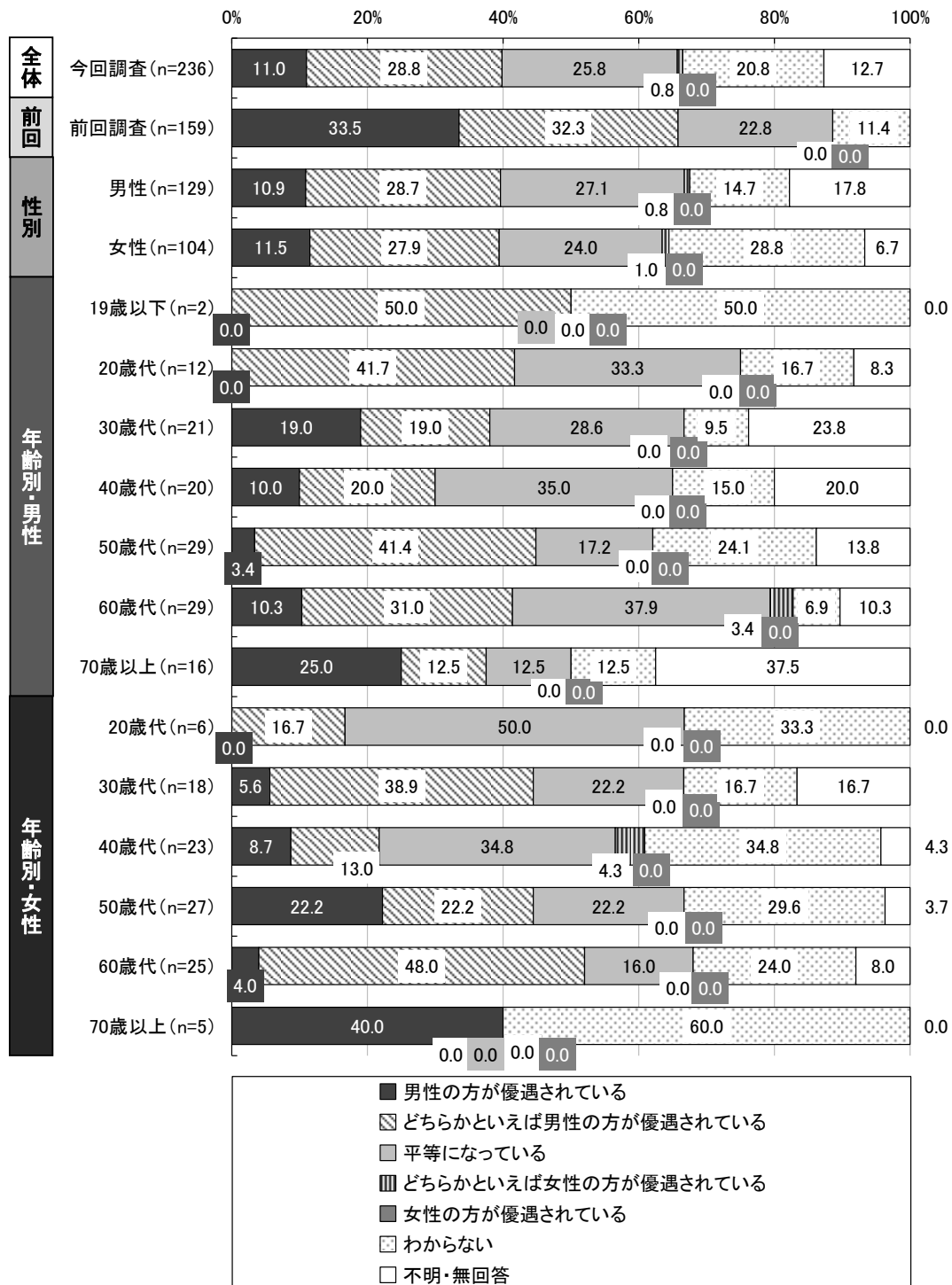
昇進・昇格、幹部への登用での男女の扱いについてみると、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が28.8%と最も高く、次いで「平等になっている」が25.8%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が26.0ポイント低くなっています。

性別にみると、「わからない」では女性が男性を14.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、40歳代では『男性優遇』が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代、40歳代では「平等になっている」が他の年齢と比べて高くなっています。



※19歳以下・女性は0件のため記載なし。前回調査は不明・無回答を除いて集計している。

問 11 ④キャリアアップのための教育・訓練・研修（単数回答）

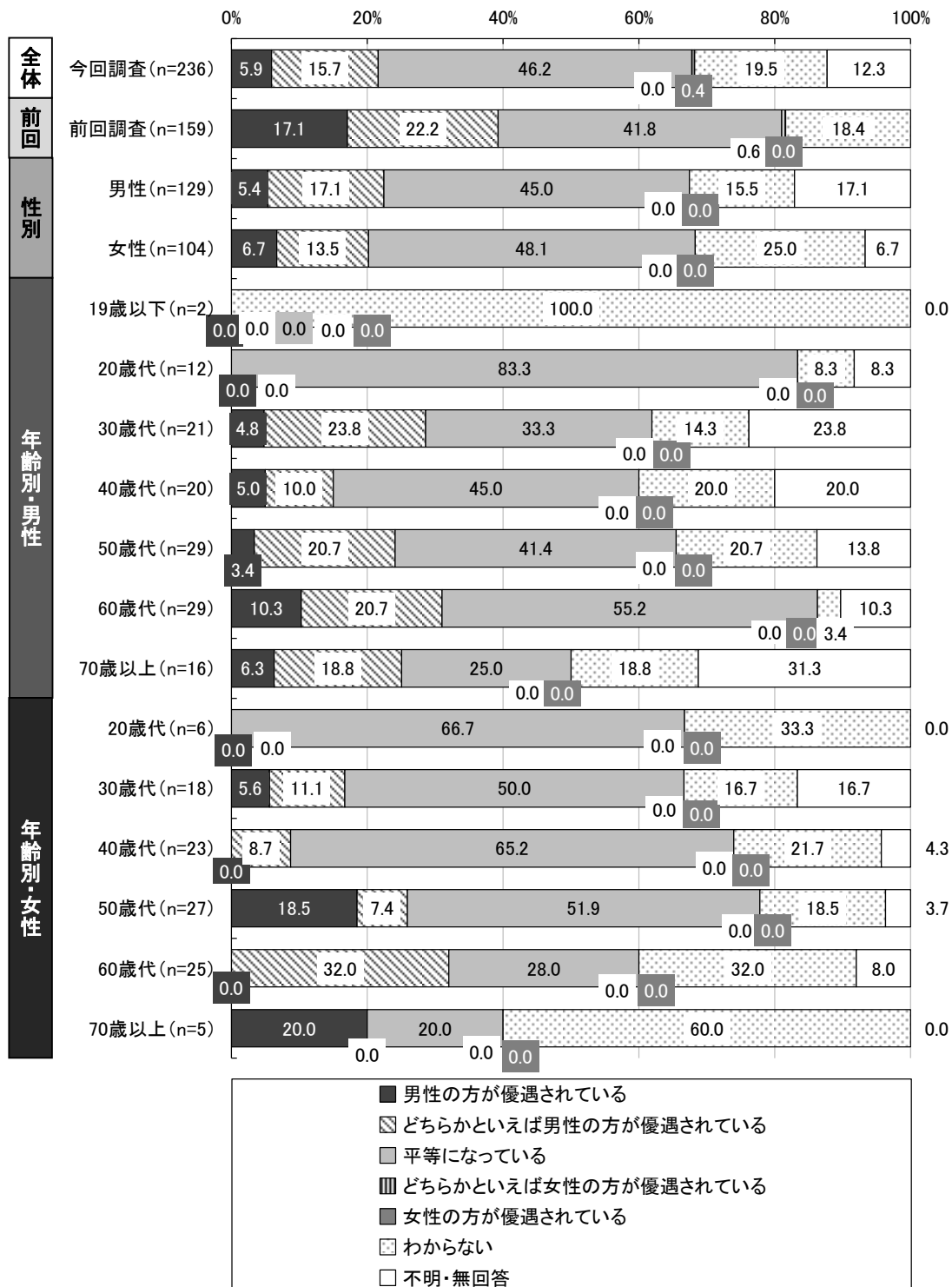
キャリアアップのための教育・訓練・研修での男女の扱いについてみると、全体では「平等になっている」が46.2%と最も高く、次いで「わからない」が19.5%となっています。

前回調査と比較すると、『男性優遇』が17.7ポイント低くなっています。

性別にみると、「わからない」では女性が男性を9.5ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「平等になっている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、60歳代、70歳以上では「平等になっている」が他の年齢と比べて低くなっています。



※19歳以下・女性は0件のため記載なし。前回調査は不明・無回答を除いて集計している。

問 11 ⑤休暇の取得（単数回答）

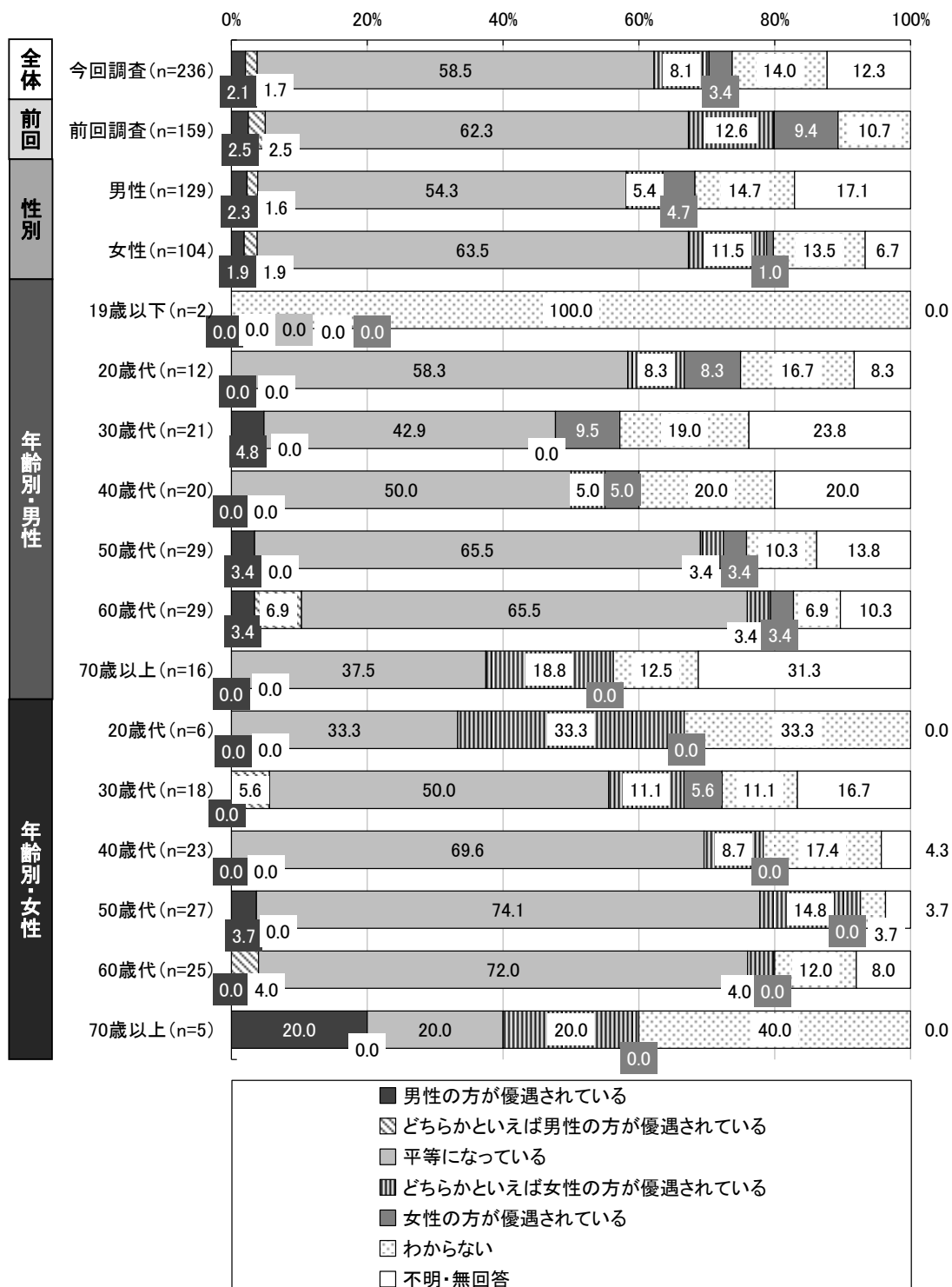
休暇の取得での男女の扱いについてみると、全体では「平等になっている」が58.5%と最も高く、次いで「わからない」が14.0%となっています。

前回調査と比較すると、『女性優遇』が10.5ポイント低くなっています。

性別にみると、「平等になっている」では女性が男性を9.2ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、70歳以上では「平等になっている」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代、70歳以上では「平等になっている」が他の年齢と比べて低くなっています。



※19歳以下・女性は0件のため記載なし。前回調査は不明・無回答を除いて集計している。

問 12 あなたは、女性が職業をもつことについてどのように思いますか。(単数回答)

女性が職業をもつことについてどのように思うかについてみると、全体では「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」が42.3%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が29.5%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が20.7ポイント低くなっています。

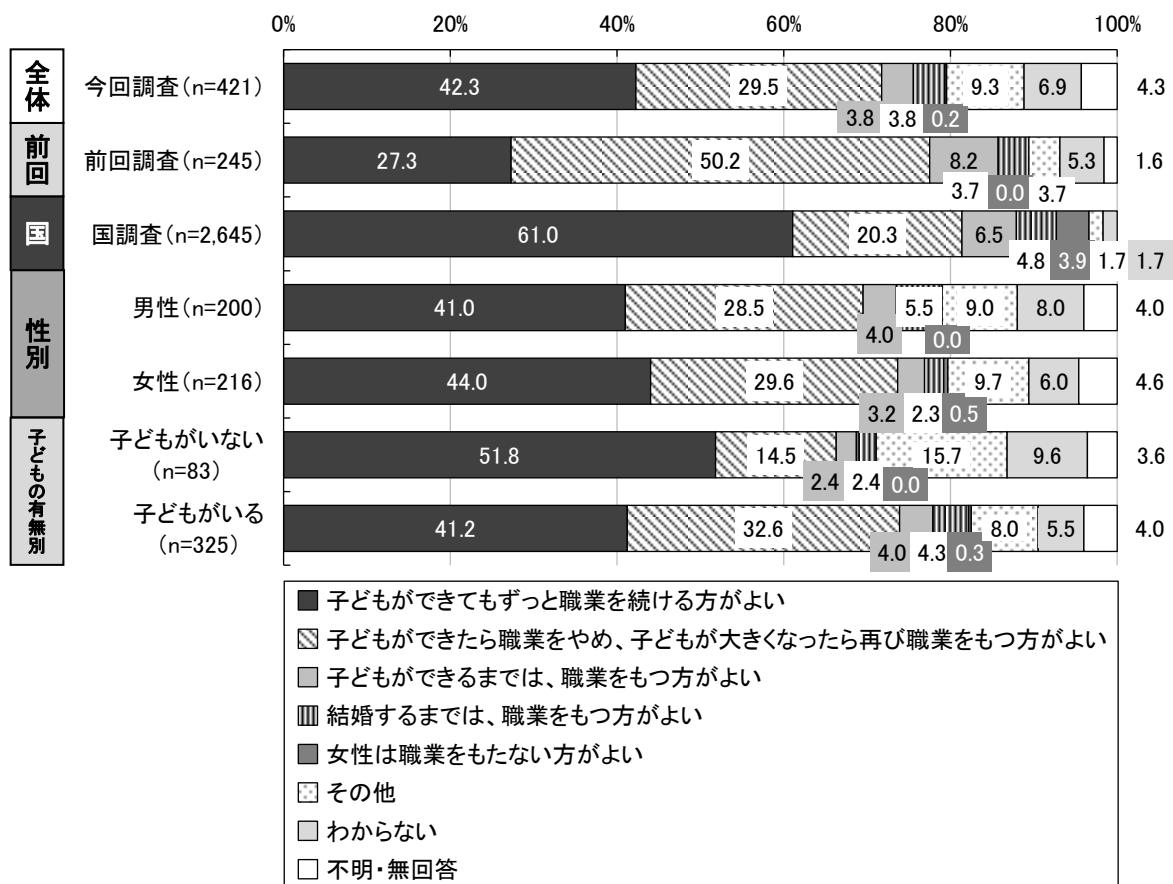
国調査と比較すると、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」が18.7ポイント低くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

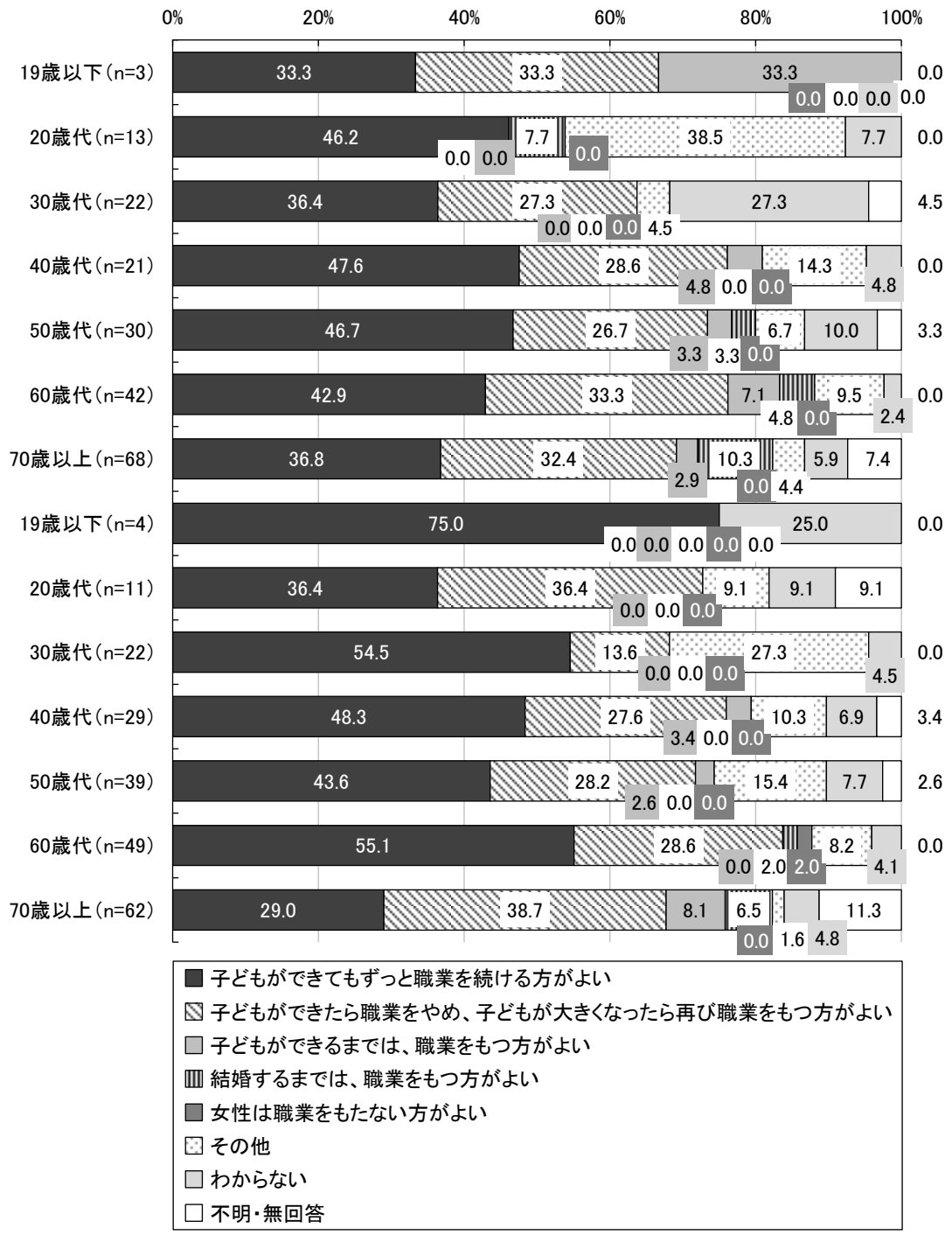
子どもの有無別にみると、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」では子どもがいるが子どもがいないを18.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、70歳以上では「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」が他の年齢と比べて低くなっています。



年齢別・男性
年齢別・女性



問 13 あなたは、育児休業や介護休業を取得したことがありますか。(単数回答)

育児休業や介護休業を取得したことがあるかについてみると、全体では「両方ともない」が67.5%と最も高く、次いで「育児休業や介護休業といった制度がなかった」が16.4%となっています。

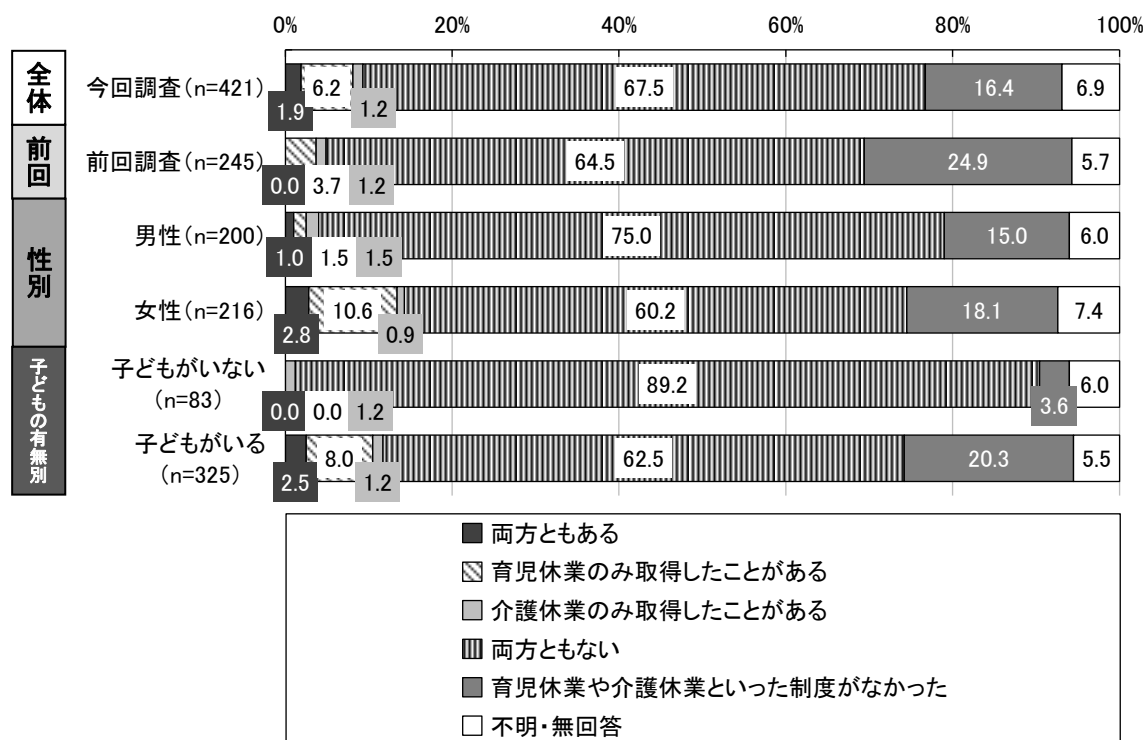
前回調査と比較すると、「育児休業や介護休業といった制度がなかった」が8.5ポイント低くなっています。

性別にみると、「両方ともない」では男性が女性を14.8ポイント上回っています。

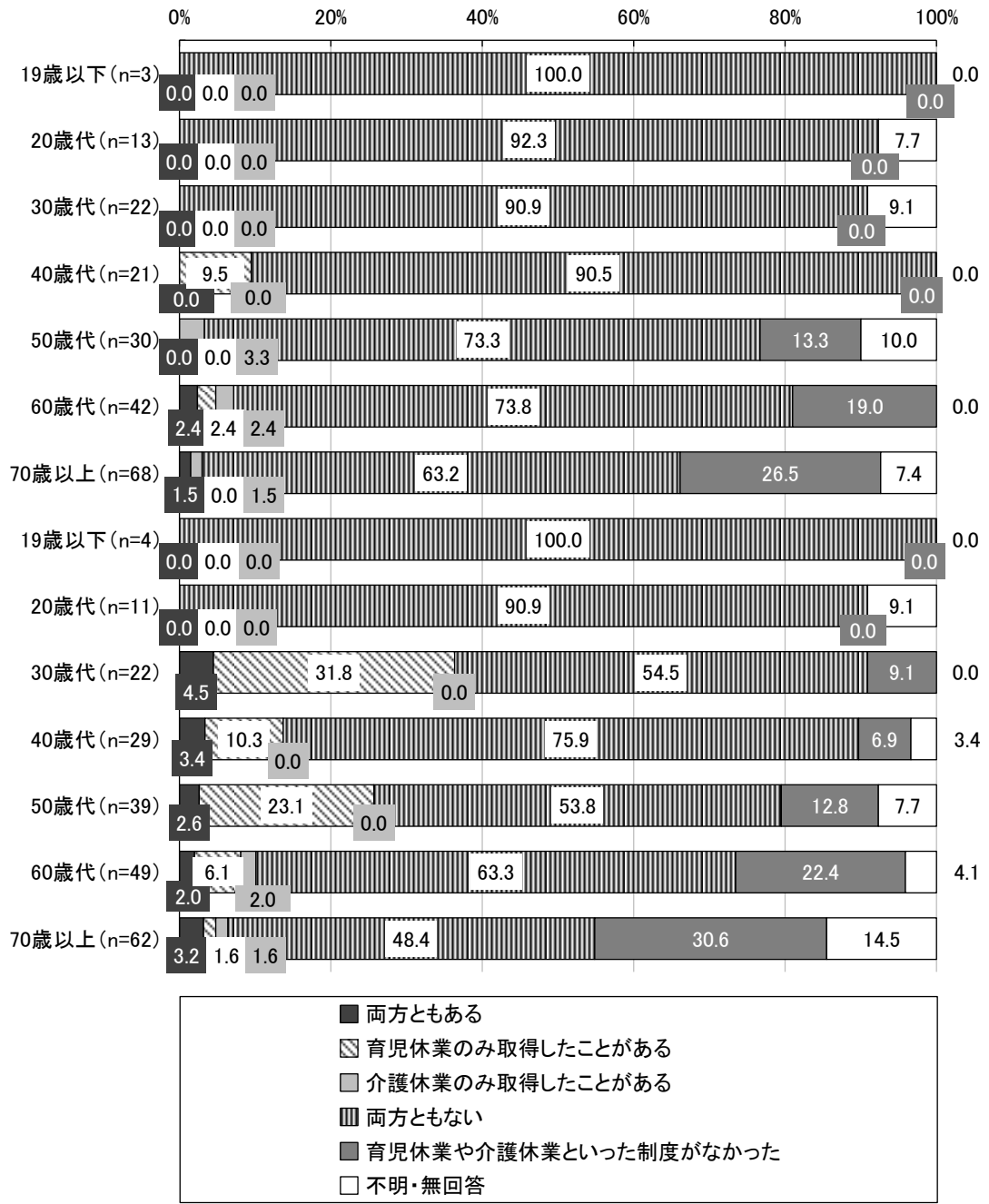
子どもの有無別にみると、「両方ともない」では子どもがいないが子どもがいるを26.7ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、40歳代では「育児休業のみ取得したことがある」、70歳以上では「育児休業や介護休業といった制度がなかった」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代では「育児休業のみ取得したことがある」、70歳以上では「育児休業や介護休業といった制度がなかった」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。



年齢別・男性
年齢別・女性



5 仕事と生活の調和について

問 14 あなたが仕事に就く場合、心配になることは何ですか。(単数回答)

仕事に就く場合、心配になることについてみると、全体では「勤務時間・勤務日のこと」が23.5%と最も高く、次いで「収入が必要なこと」が23.0%となっています。

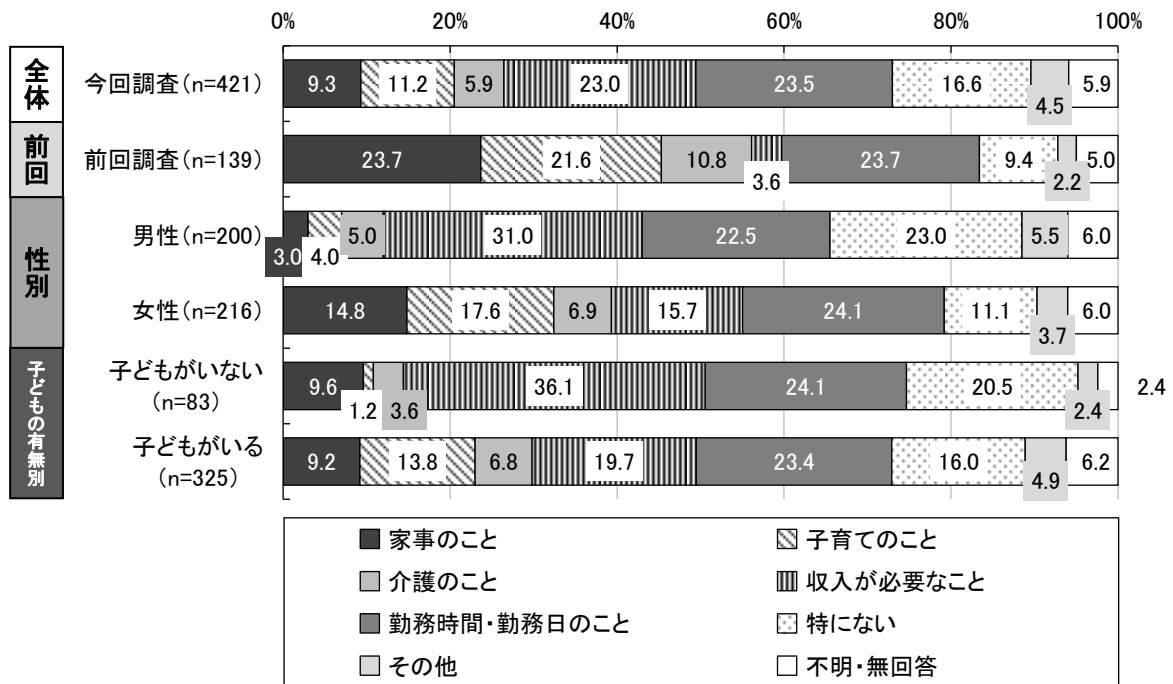
前回調査と比較すると、「収入が必要なこと」では19.4ポイント高くなっています。

性別にみると、「収入が必要なこと」では男性が女性を15.3ポイント上回っています。

子どもの有無別にみると、「収入が必要なこと」では子どもがいないが子どもがいるを16.4ポイント上回っています。

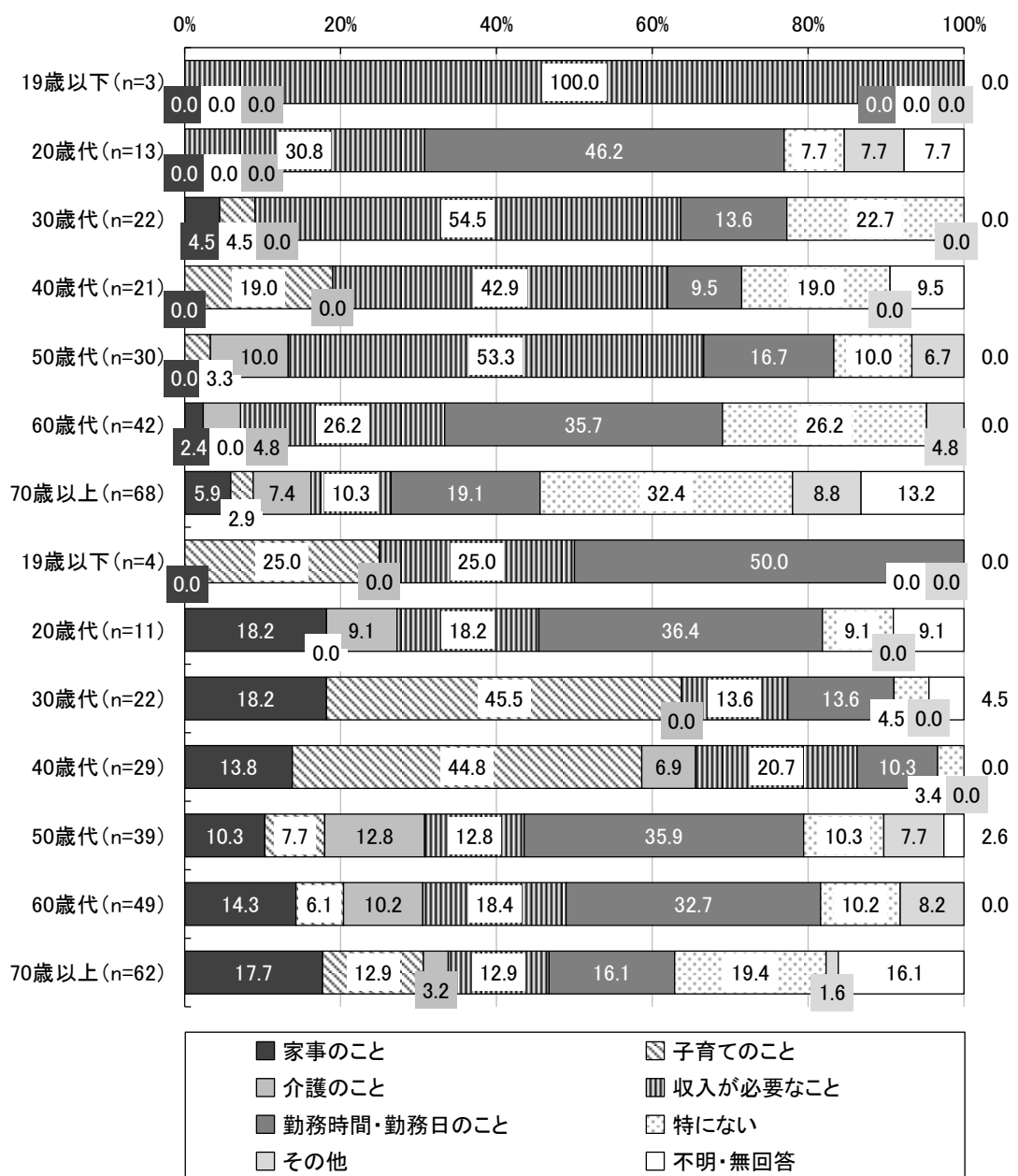
男性の年齢別にみると、20歳代、60歳代では「勤務時間・勤務日のこと」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代、40歳代では「子育てのこと」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査の選択肢「子育てのこと」は、前回調査では「子どものこと」
 今回調査の選択肢「収入が必要なこと」は、前回調査では「収入のこと」

年齢別・男性
年齢別・女性



問 15 あなたは、男女がともに仕事と家庭生活を両立させていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

男女がともに仕事と家庭生活を両立させていくために必要なことについてみると、全体では「夫婦で家事等の分担を十分話し合うこと」が47.3%と最も高く、次いで「家事は男女で協力することが当たり前という教育を子どもの頃からすること」が41.6%となっています。

性別にみると、「育児や介護との両立がしやすいよう、柔軟な勤務形態を普及させること」では女性が男性を14.9ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「家事は男女で協力することが当たり前という教育を子どもの頃からすること」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「出産や子育て後に再就職をする際の支援を充実させること」が他の年齢と比べて高くなっています。

職業の有無別にみると、「家事は男女で協力することが当たり前という教育を子どもの頃からすること」では就労者が無職を9.6ポイント上回っています。

単位：%		夫婦で家事等の分担を十分話し合うこと	家事は男女で協力することが当たり前という教育を子どもの頃からすること	保育サービス・介護サービスを充実させること	男女の役割分担に係る固定概念を改めること	育児や介護との両立がしやすいよう、柔軟な勤務形態を普及させること	仕事中心という社会風潮を改めること	出産や子育て後に再就職をする際の支援を充実させること	母子・父子家庭への支援を行うこと	仕事と家庭の両立等についての相談窓口を設置すること	男女の役割分担意識の解消に向けた啓発活動を充実させること	地域に子育てを助けてくれる人がいること	その他	わからない	不明・無回答
今回調査(n=421)		47.3	41.6	29.7	31.1	38.5	17.1	18.5	10.2	2.4	7.4	8.6	1.2	3.6	3.1
性別	男性(n=200)	49.0	39.5	32.0	30.5	30.5	19.5	17.0	11.0	2.5	10.5	6.0	2.0	3.5	3.0
	女性(n=216)	46.3	43.5	27.8	31.5	45.4	15.3	20.4	9.7	2.3	4.6	11.1	0.5	3.7	2.8
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	53.8	15.4	15.4	15.4	53.8	38.5	23.1	30.8	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0
	30歳代(n=22)	40.9	40.9	40.9	27.3	18.2	22.7	18.2	4.5	0.0	9.1	4.5	4.5	13.6	0.0
	40歳代(n=21)	57.1	42.9	14.3	19.0	42.9	28.6	9.5	9.5	4.8	0.0	14.3	0.0	0.0	9.5
	50歳代(n=30)	46.7	40.0	40.0	33.3	26.7	26.7	16.7	16.7	0.0	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0
	60歳代(n=42)	52.4	40.5	42.9	40.5	33.3	11.9	11.9	11.9	4.8	11.9	7.1	0.0	0.0	2.4
	70歳以上(n=68)	48.5	42.6	27.9	29.4	27.9	13.2	22.1	5.9	1.5	16.2	5.9	1.5	1.5	4.4
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	75.0	0.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	45.5	18.2	36.4	45.5	54.5	27.3	45.5	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	59.1	54.5	22.7	27.3	36.4	22.7	18.2	4.5	0.0	0.0	13.6	4.5	0.0	4.5
	40歳代(n=29)	51.7	48.3	20.7	34.5	51.7	20.7	13.8	10.3	0.0	0.0	10.3	0.0	6.9	0.0
	50歳代(n=39)	43.6	53.8	41.0	23.1	53.8	17.9	23.1	5.1	2.6	12.8	10.3	0.0	0.0	0.0
	60歳代(n=49)	49.0	46.9	28.6	24.5	44.9	12.2	16.3	8.2	0.0	6.1	10.2	0.0	6.1	2.0
	70歳以上(n=62)	37.1	35.5	21.0	38.7	40.3	8.1	21.0	12.9	6.5	3.2	12.9	0.0	4.8	6.5
有職無業別の	就労者(n=236)	49.2	45.3	30.9	28.4	37.7	19.5	19.5	11.0	2.1	6.4	8.5	1.7	3.4	1.7
	無職(n=171)	46.2	35.7	28.7	33.9	39.8	12.9	17.0	9.4	2.9	9.4	9.4	0.6	4.1	4.7

6 ハラスメント・DVについて

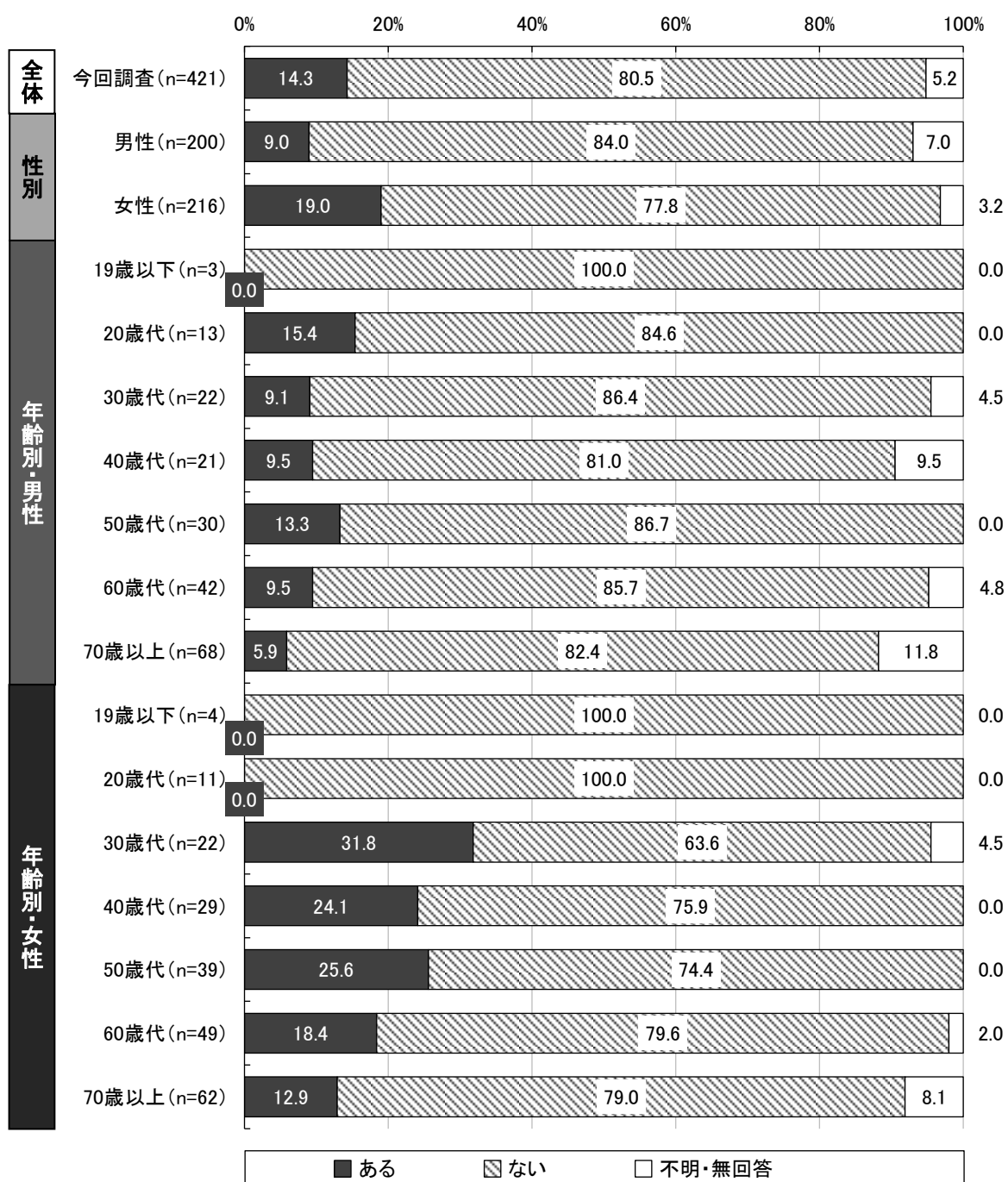
問 16-① あなた自身がセクシュアル・ハラスメントの被害にあわれたことはありますか。
(単数回答)

あなた自身がセクシュアル・ハラスメントの被害にあわれたことがあるかについてみると、全体では「ある」が14.3%、「ない」が80.5%となっています。

性別にみると、「ある」では女性が男性を10.0ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代、50歳代では「ある」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代では「ある」が他の年齢と比べて高くなっています。



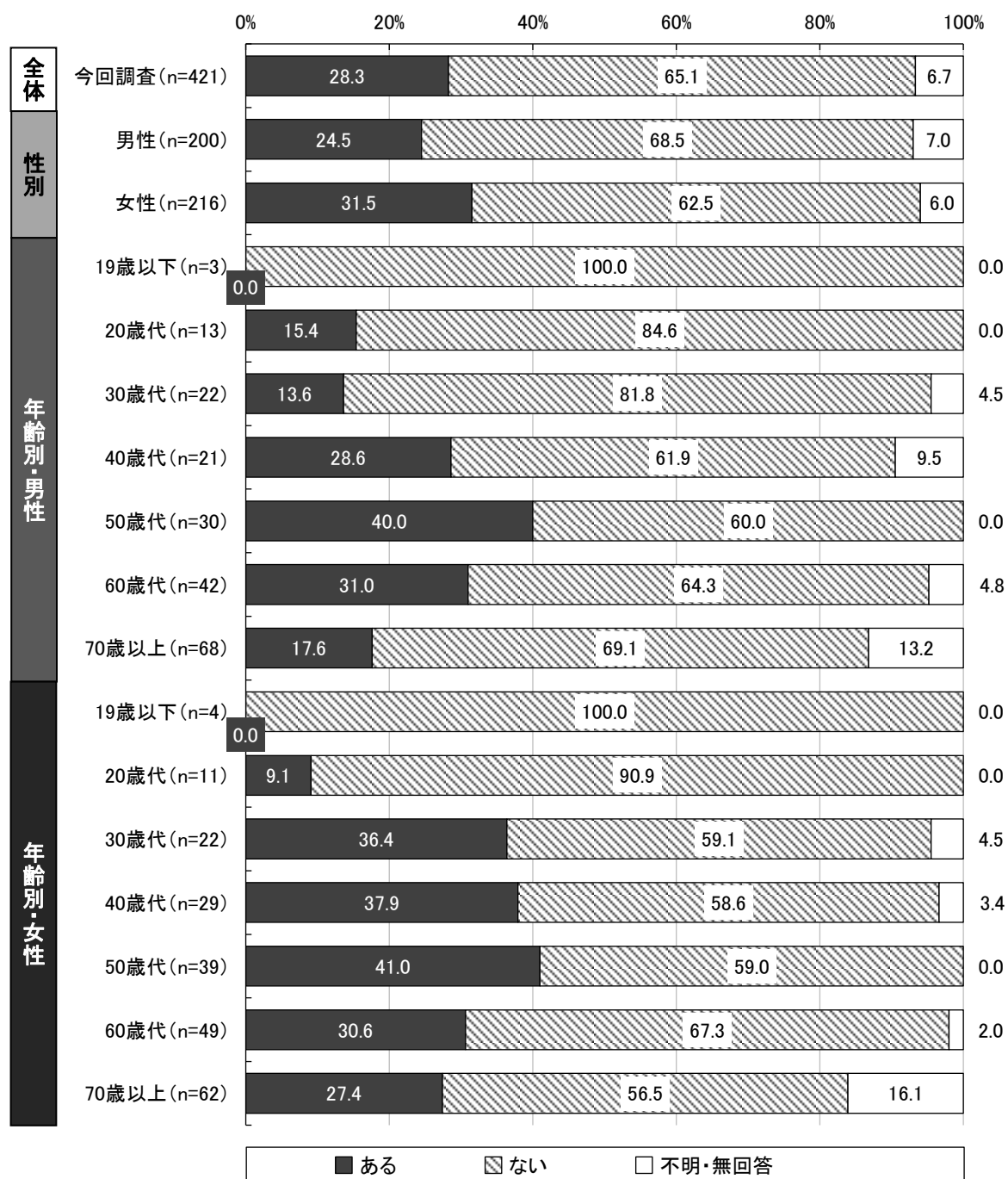
問 16-② 友人や職場の仲間等、自分の周りの人がセクシュアル・ハラスメントの被害にあわれたことはありますか。(単数回答)

友人や職場の仲間等、自分の周りの人がセクシュアル・ハラスメントの被害にあわれたことはあるかについてみると、全体では「ある」が28.3%、「ない」が65.1%となっています。

性別にみると、「ある」では女性が男性を7.0ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、50歳代では「ある」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では「ある」が他の年齢と比べて低くなっています。



問 17 セクハラやパワハラ、マタハラ等のハラスメントへの対策として、何が必要だと思いますか。(複数回答)

セクハラやパワハラ、マタハラ等のハラスメントへの対策についてみると、全体では「企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する」が53.4%と最も高く、次いで「被害者が相談しやすい体制を整える」が52.3%となっています。

性別にみると、「被害者が相談しやすい体制を整える」では男性が女性を8.4ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、60歳代、70歳以上では「ハラスメントに関する広報・啓発活動を進め、社会的関心を高める」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代では「加害者に対するカウンセリングや教育等を進める」が他の年齢と比べて高くなっています。

単位: %		活動を進め、社会的関心を高め啓発	家庭や学校において、男女平等や	企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する	被害者が相談しやすい体制を整える	加害者に対するカウンセリングや教育等を進める	法律や制度の整備を一層充実する	その他	特にな	わからない	不明・無回答
今回調査(n=421)		38.2	32.8	53.4	52.3	18.8	33.3	1.9	1.7	3.8	3.6
性別	男性(n=200)	38.0	30.0	49.5	57.0	19.0	32.5	2.5	2.0	4.0	4.0
	女性(n=216)	37.5	35.6	56.9	48.6	18.5	34.3	1.4	1.4	3.7	2.8
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	0.0	33.3	66.7	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	15.4	38.5	30.8	53.8	30.8	38.5	0.0	0.0	7.7	0.0
	30歳代(n=22)	18.2	13.6	45.5	59.1	31.8	36.4	4.5	0.0	9.1	0.0
	40歳代(n=21)	28.6	23.8	28.6	47.6	23.8	38.1	0.0	4.8	9.5	9.5
	50歳代(n=30)	20.0	36.7	63.3	73.3	20.0	33.3	3.3	0.0	0.0	0.0
	60歳代(n=42)	50.0	33.3	64.3	52.4	23.8	31.0	0.0	2.4	2.4	0.0
	70歳以上(n=68)	54.4	30.9	45.6	54.4	8.8	29.4	4.4	2.9	2.9	7.4
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	75.0	50.0	75.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	18.2	27.3	54.5	63.6	18.2	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	40.9	18.2	40.9	31.8	9.1	31.8	9.1	4.5	4.5	4.5
	40歳代(n=29)	17.2	34.5	55.2	58.6	41.4	44.8	0.0	0.0	3.4	3.4
	50歳代(n=39)	35.9	23.1	53.8	51.3	23.1	41.0	2.6	0.0	2.6	0.0
	60歳代(n=49)	40.8	49.0	65.3	53.1	10.2	24.5	0.0	0.0	2.0	2.0
	70歳以上(n=62)	45.2	40.3	58.1	45.2	16.1	30.6	0.0	3.2	6.5	4.8

問 18 あなたは、配偶者・パートナー等からの身体的、精神的、経済的または性的な暴力（DV）について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（複数回答）

配偶者・パートナー等からの身体的、精神的、経済的または性的な暴力（DV）について、経験したり、見聞きしたりしたことがあるかについてみると、全体では「経験も見聞きしたこともない」が61.3%と最も高く、次いで「身近に経験した人がいる」が23.5%となっています。

性別にみると、「自分が暴力を受けたことがある」では女性が男性を8.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、30歳代、40歳代では「自分が暴力を受けたことがある」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では「経験も見聞きしたこともない」が他の年齢と比べて高くなっています。

単位：%		自分が暴力を受けたことがある	自分が暴力を振るったことがある	身近に経験した人がいる	経験も見聞きしたこともない	不明・無回答
今回調査(n=421)		7.1	4.0	23.5	61.3	7.1
性別	男性(n=200)	3.0	8.0	20.5	63.0	7.5
	女性(n=216)	11.1	0.0	25.5	60.6	6.9
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	20歳代(n=13)	0.0	0.0	30.8	61.5	7.7
	30歳代(n=22)	9.1	4.5	22.7	63.6	9.1
	40歳代(n=21)	9.5	4.8	23.8	52.4	9.5
	50歳代(n=30)	0.0	3.3	23.3	70.0	3.3
	60歳代(n=42)	2.4	9.5	14.3	73.8	0.0
	70歳以上(n=68)	1.5	13.2	20.6	57.4	10.3
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代(n=11)	0.0	0.0	18.2	81.8	0.0
	30歳代(n=22)	4.5	0.0	31.8	63.6	0.0
	40歳代(n=29)	13.8	0.0	27.6	58.6	3.4
	50歳代(n=39)	15.4	0.0	30.8	51.3	10.3
	60歳代(n=49)	10.2	0.0	32.7	53.1	6.1
	70歳以上(n=62)	12.9	0.0	16.1	66.1	11.3

問 16-①で「ある」または問 18 で「自分が暴力を受けたことがある」とお答えの方にお聞きします

問 19 誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(複数回答)

誰かに打ち明けたり、相談したりしたかについてみると、全体では「相談・連絡しなかった(したいと思わなかった)」が 17 件と最も多く、次いで「友人・知人」が 15 件となっています。

性別にみると、男性では「相談・連絡しなかった(したいと思わなかった)」、女性では「友人・知人」がそれぞれ最も多くなっています。

単位:件		友人・知人	家族や親戚	警察	配偶者暴力相談支援センター (女性相談所)	県や町の相談窓口	その他	相談・連絡しなかったが、 できなかった	相談・連絡しなかった (したいと思わなかった)	不明・無回答
今回調査(n=66)		15	14	1	0	0	1	12	17	18
性別	男性(n=19)	1	3	0	0	0	1	5	6	4
	女性(n=46)	13	11	1	0	0	0	7	11	14
年齢別・男性	20歳代(n=2)	0	2	0	0	0	1	0	0	0
	30歳代(n=2)	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	40歳代(n=3)	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	50歳代(n=4)	0	0	0	0	0	0	2	2	0
	60歳代(n=4)	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	70歳以上(n=4)	1	1	0	0	0	0	1	1	0
年齢別・女性	30歳代(n=7)	2	0	0	0	0	0	0	2	3
	40歳代(n=9)	4	4	1	0	0	0	2	1	2
	50歳代(n=11)	3	2	0	0	0	0	3	3	3
	60歳代(n=11)	3	4	0	0	0	0	0	2	4
	70歳以上(n=8)	1	1	0	0	0	0	2	3	2

問 19 で「相談・連絡したかったが、できなかった」または「相談・連絡しなかった」とお答えの方に聞きます

問 20 相談しなかったのはなぜですか。(複数回答)

相談しなかった理由についてみると、全体では「相談しても無駄だと思ったから」が 14 件と最も多く、次いで「自分さえ我慢すれば、何とかやっていたらよかったから」が 10 件となっています。

性別にみると、男女ともに「相談しても無駄だと思ったから」が最も多くなっています。

単位:件		かど こに 相 談 し て よ い か わ か ら な か っ た か ら	恥 ず か し か つ た か ら	相 談 し て も 無 駄 だ と 思 っ た か ら	相 談 し た こ と が わ か ら な い し や 、 さ ら に ひ ど い 暴 力 を 受 け る と 思 っ た か ら	自 分 さ え 我 慢 す れ ば 、 何 と か や っ て い け る と 思 っ た か ら	そ の こ と に つ い て 思 い 出 し た く な か つ た か ら	自 分 に も 悪 い と こ ろ が あ る と 思 っ た か ら	相 談 す る ほ ど の こ と で は な い と 思 っ た か ら	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
今回調査(n=29)		7	6	14	4	10	6	4	5	2	0
性別	男性(n=11)	2	1	5	0	3	1	1	1	0	0
	女性(n=18)	5	5	9	4	7	5	3	4	2	0
年齢別・男性	30歳代(n=1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40歳代(n=2)	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	50歳代(n=4)	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0
	60歳代(n=2)	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
	70歳以上(n=2)	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
年齢別・女性	30歳代(n=2)	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0
	40歳代(n=3)	2	2	0	0	1	1	0	1	0	0
	50歳代(n=6)	1	2	3	1	3	0	1	1	1	0
	60歳代(n=2)	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	70歳以上(n=5)	1	0	2	1	2	3	2	2	0	0

※男性、女性ともに19歳以下、20歳代は0件のため記載なし。

問21 あなたは、DV等の暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(複数回答)

DV等の暴力をなくすためにはどうしたらよいと思うかについてみると、全体では「法律・制度の制定や見直しを行う」が44.9%と最も高く、次いで「被害者に対する支援体制を強化する」が41.8%となっています。

性別にみると、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害女性が届けやすいようにする」では女性が男性を17.7ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、50歳代では「法律・制度の制定や見直しを行う」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「被害者に対する支援体制を強化する」が他の年齢と比べて高くなっています。

単位：%		法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取締りを強化する	捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害女性が届けやすいようにする	被害者を支援し、暴力に反対する住民運動を盛り上げる	被害者に対する支援体制を強化する	家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	学校における男女平等や性についての教育を充実させる	メディア（テレビ、映画、雑誌、インターネット等）が倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	その他	特に対策の必要はない	不明・無回答
今回調査(n=421)		44.9	36.3	26.8	6.7	41.8	16.4	25.9	15.7	13.5	3.6	1.7	6.2
性別	男性(n=200)	48.5	38.5	17.5	8.5	40.0	18.0	25.0	19.5	13.0	3.0	3.0	5.5
	女性(n=216)	42.1	34.3	35.2	5.1	44.0	15.3	26.4	12.5	13.0	4.2	0.5	6.5
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	38.5	53.8	7.7	7.7	46.2	15.4	23.1	0.0	0.0	15.4	7.7	7.7
	30歳代(n=22)	45.5	50.0	27.3	0.0	36.4	4.5	22.7	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1
	40歳代(n=21)	42.9	42.9	9.5	0.0	23.8	14.3	9.5	9.5	14.3	9.5	9.5	9.5
	50歳代(n=30)	76.7	53.3	20.0	0.0	43.3	16.7	13.3	16.7	6.7	3.3	0.0	3.3
	60歳代(n=42)	45.2	31.0	19.0	11.9	45.2	21.4	28.6	28.6	14.3	2.4	2.4	2.4
	70歳以上(n=68)	42.6	26.5	16.2	16.2	41.2	23.5	35.3	25.0	19.1	0.0	0.0	5.9
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	27.3	45.5	45.5	0.0	81.8	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	40.9	63.6	45.5	4.5	36.4	9.1	31.8	13.6	0.0	9.1	0.0	0.0
	40歳代(n=29)	55.2	48.3	37.9	3.4	48.3	17.2	17.2	6.9	3.4	0.0	0.0	3.4
	50歳代(n=39)	46.2	25.6	28.2	2.6	51.3	15.4	20.5	12.8	20.5	7.7	2.6	7.7
	60歳代(n=49)	42.9	28.6	40.8	4.1	42.9	16.3	22.4	18.4	10.2	4.1	0.0	4.1
	70歳以上(n=62)	32.3	22.6	30.6	9.7	35.5	17.7	35.5	11.3	22.6	3.2	0.0	12.9

7 社会参加について

問 22 次に挙げる地域活動の中で、あなたが参加しているものは何ですか。(複数回答)

あなたが参加している地域活動についてみると、全体では「自治会等の地域活動」が48.0%と最も高く、次いで「参加していない」が33.5%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が33.5ポイント高くなっています。

性別にみると、「自治会等の地域活動」では男性が女性を16.2ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代、30歳代では「自治会等の地域活動」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代、40歳代では「学校等のPTA活動」が他の年齢と比べて高くなっています。

単位：%		NPO等の非営利活動	自治会等の地域活動	子ども会、青少年団体の支援活動	学校等のPTA活動	各種女性団体の活動	消費者団体等の消費者活動	環境保護、自然保護活動	動物愛護、動物保護活動	趣味、サークル、スポーツ等の活動	政治活動、労働組合活動
今回調査(n=421)		3.8	48.0	7.4	7.8	3.1	0.5	1.7	1.0	20.7	0.7
前回調査(n=245)		4.1	66.1	18.8	15.1	5.7	2.4	7.3	3.7	40.0	11.8
性別	男性(n=200)	6.5	56.0	5.5	3.5	1.0	0.5	2.5	1.0	22.0	0.5
	女性(n=216)	1.4	39.8	8.8	11.6	5.1	0.5	0.9	0.9	19.9	0.9
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
	30歳代(n=22)	4.5	27.3	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0
	40歳代(n=21)	9.5	52.4	9.5	9.5	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	0.0
	50歳代(n=30)	0.0	70.0	13.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	3.3
	60歳代(n=42)	11.9	69.0	0.0	2.4	2.4	0.0	4.8	2.4	28.6	0.0
	70歳以上(n=68)	7.4	64.7	2.9	1.5	1.5	0.0	4.4	0.0	30.9	0.0
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	20歳代(n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	30歳代(n=22)	0.0	40.9	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	40歳代(n=29)	3.4	48.3	31.0	48.3	10.3	0.0	0.0	0.0	27.6	6.9
	50歳代(n=39)	2.6	48.7	2.6	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0	7.7	0.0
	60歳代(n=49)	2.0	40.8	2.0	4.1	10.2	2.0	2.0	2.0	24.5	0.0
	70歳以上(n=62)	0.0	38.7	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	1.6	25.8	0.0

単位：%		国際交流、国際協力活動	防犯、防災、交通安全等の地域活動	子育て支援に関連した活動	高齢者や障害者の介護、介助等の活動	職業に関連した技術等を学ぶ活動	町の審議会や委員会等の政策決定にかかわる活動	その他	参加していない	不明・無回答
今回調査 (n=421)		0.2	5.5	3.6	3.8	2.9	1.7	1.9	33.5	4.5
前回調査 (n=245)		4.9	4.9	6.1	3.3	2.4	18.0	0.0	0.0	3.3
性別	男性 (n=200)	0.5	8.5	3.0	2.5	3.0	3.0	1.5	31.0	3.0
	女性 (n=216)	0.0	2.8	4.2	5.1	2.8	0.5	2.3	36.6	5.6
年齢別・男性	19歳以下 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代 (n=13)	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	7.7	69.2	0.0
	30歳代 (n=22)	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.1	0.0
	40歳代 (n=21)	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	23.8	4.8
	50歳代 (n=30)	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	26.7	0.0
	60歳代 (n=42)	0.0	7.1	4.8	4.8	4.8	7.1	2.4	14.3	2.4
	70歳以上 (n=68)	0.0	16.2	2.9	1.5	1.5	2.9	0.0	26.5	5.9
年齢別・女性	19歳以下 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	20歳代 (n=11)	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	81.8	0.0
	30歳代 (n=22)	0.0	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	36.4	4.5
	40歳代 (n=29)	0.0	0.0	10.3	6.9	3.4	0.0	0.0	37.9	0.0
	50歳代 (n=39)	0.0	5.1	0.0	0.0	2.6	0.0	5.1	33.3	5.1
	60歳代 (n=49)	0.0	2.0	4.1	6.1	6.1	0.0	0.0	30.6	8.2
	70歳以上 (n=62)	0.0	3.2	3.2	6.5	0.0	1.6	4.8	32.3	8.1

※前回調査の選択肢は「等」がひらがなで表記されている。また「子ども」が「子供」と表記されている。

8 防災・災害復興対策について

問 23 防災・災害復興対策において、男女共同参画の視点から何が重要だと思いますか。

(複数回答)

防災・災害復興対策において、男女共同参画の視点から必要なことについてみると、全体では「避難所の整備（LGBTQの方にも配慮したトイレ・更衣室、防犯対策等）」が54.6%と最も高く、次いで「乳幼児、高齢者、障害のある人、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が52.3%となっています。

性別にみると、「乳幼児、高齢者、障害のある人、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」では女性が男性を13.8ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代、50歳代では「災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「避難所の整備（LGBTQの方にも配慮したトイレ・更衣室、防犯対策等）」が低くなっています。

単位：%		避難所の整備（LGBTQの方にも配慮したトイレ・更衣室、防犯対策等）	とれ避難、被災害者対応の責任に女性の視点が配置されること	乳幼児、高齢者、障害のある人、病人、女性（女性用品等）に対する備え	産師、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置	災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）	被災者に対する相談体制	防災計画が復興計画策定過程、防災会議に女性が参画すること	その他	特になし	わからない	不明・無回答
今回調査(n=421)		54.6	27.1	52.3	44.7	19.0	13.1	0.7	3.8	8.3	3.8	
性別	男性(n=200)	53.5	27.0	45.5	42.0	24.5	16.0	1.0	4.0	9.0	2.5	
	女性(n=216)	56.0	26.9	59.3	47.7	13.9	9.7	0.5	3.7	7.9	4.6	
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代(n=13)	61.5	0.0	46.2	61.5	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	
	30歳代(n=22)	54.5	13.6	59.1	40.9	18.2	9.1	9.1	0.0	13.6	0.0	
	40歳代(n=21)	57.1	28.6	47.6	28.6	14.3	9.5	0.0	14.3	9.5	0.0	
	50歳代(n=30)	83.3	33.3	46.7	56.7	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	60歳代(n=42)	50.0	31.0	50.0	47.6	38.1	21.4	0.0	2.4	4.8	2.4	
	70歳以上(n=68)	39.7	29.4	38.2	33.8	25.0	23.5	0.0	4.4	13.2	5.9	
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代(n=11)	81.8	27.3	72.7	54.5	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代(n=22)	68.2	22.7	59.1	54.5	4.5	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	
	40歳代(n=29)	65.5	34.5	55.2	37.9	10.3	6.9	0.0	3.4	10.3	3.4	
	50歳代(n=39)	53.8	28.2	74.4	59.0	10.3	12.8	2.6	2.6	5.1	5.1	
	60歳代(n=49)	55.1	22.4	63.3	57.1	20.4	6.1	0.0	4.1	4.1	2.0	
	70歳以上(n=62)	41.9	27.4	45.2	37.1	17.7	12.9	0.0	6.5	12.9	8.1	

9 多様な性について

問 24 多様な性への理解について、あなたが特に課題だと思うのはどのようなことですか。

(複数回答)

多様な性への理解についての課題についてみると、全体では「LGBTQ等について正しい知識を得る機会がないこと」が38.2%と最も高く、次いで「学校や職場でいじめやいやがらせを受けること」が29.0%となっています。

性別にみると、「家族や友人から理解されないこと」では男性が女性を7.6ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、30歳代では「家族や友人から理解されないこと」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「LGBTQ等について正しい知識を得る機会がないこと」が他の年齢と比べて高くなっています。

単位：%		本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること	LGBTQ等について正しい知識を得る機会がないこと	家族や友人から理解されないこと	学校や職場でいじめやいやがらせを受けること	就職や職場において不利な扱いを受けること	相談場所がないこと	異性愛を前提とした教育を受けること（性教育、道徳等）	法律上、同性婚が認められていないこと	トイレ、更衣室等、男女の別しなく、バリアフリーとなっていないこと	制服等で男女の別を決めつけること	企業が提供するサービスにおいて、戸籍の性別に基づいた利用を求められること	その他	特になし	わからない	不明・無回答
今回調査(n=421)		26.1	38.2	17.8	29.0	23.8	13.3	7.4	13.3	9.7	12.1	3.6	1.4	4.5	11.4	5.7
性別	男性(n=200)	25.5	36.5	22.0	27.0	26.5	13.0	9.0	12.5	9.0	10.0	2.0	0.5	4.5	10.5	6.5
	女性(n=216)	26.9	40.3	14.4	31.0	21.3	13.4	6.0	13.9	9.7	14.4	5.1	2.3	4.6	12.0	4.6
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=13)	46.2	38.5	7.7	23.1	30.8	0.0	23.1	15.4	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4
	30歳代(n=22)	27.3	50.0	40.9	22.7	22.7	9.1	0.0	22.7	13.6	13.6	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	40歳代(n=21)	4.8	28.6	19.0	28.6	33.3	9.5	4.8	19.0	0.0	19.0	0.0	0.0	23.8	4.8	9.5
	50歳代(n=30)	13.3	53.3	26.7	30.0	23.3	16.7	10.0	10.0	6.7	6.7	0.0	0.0	3.3	6.7	3.3
	60歳代(n=42)	38.1	42.9	26.2	21.4	26.2	16.7	11.9	7.1	11.9	9.5	2.4	0.0	4.8	9.5	2.4
	70歳以上(n=68)	26.5	25.0	16.2	30.9	26.5	13.2	8.8	11.8	8.8	5.9	1.5	1.5	1.5	16.2	8.8
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	36.4	81.8	18.2	18.2	27.3	9.1	27.3	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	31.8	40.9	9.1	54.5	27.3	9.1	18.2	22.7	4.5	18.2	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0
	40歳代(n=29)	24.1	44.8	13.8	27.6	24.1	3.4	3.4	20.7	13.8	13.8	6.9	3.4	3.4	17.2	3.4
	50歳代(n=39)	25.6	48.7	20.5	28.2	38.5	17.9	2.6	15.4	7.7	10.3	5.1	5.1	2.6	7.7	0.0
	60歳代(n=49)	30.6	38.8	12.2	30.6	18.4	20.4	0.0	2.0	12.2	16.3	4.1	2.0	6.1	10.2	4.1
	70歳以上(n=62)	19.4	29.0	12.9	29.0	9.7	12.9	4.8	8.1	8.1	12.9	6.5	0.0	6.5	21.0	11.3

10 コロナの影響について

問 25 新型コロナウイルスの影響でマイナスの変化はありましたか。(複数回答)

新型コロナウイルスの影響によるマイナスの変化についてみると、全体では「運動量が減った」が42.3%と最も高く、次いで「趣味等に使う自分の時間が減った」が26.1%となっています。

性別にみると、「仕事にマイナスの影響があった」では男性が女性を20.3ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、30歳代、60歳代では「趣味等に使う自分の時間が減った」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代では「仕事にマイナスの影響があった」、40歳代では「出費が増えた」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

子どもの有無別にみると、「精神的に不安定になった」では子どもがいるが子どもがいないを12.6ポイント上回っています。

職業の有無別にみると、「仕事にマイナスの影響があった」では就労者が無職を35.1ポイント上回っています。

単位：%		仕事にマイナスの影響があった	子育てにマイナスの影響があった	学業にマイナスの影響があった	パートナーとのケンカが増えた	生活リズムが不規則になった	睡眠不足になった	運動量が減った	体調を崩した	精神的に不安定になった	趣味等に使う自分の時間が減った	家事の負担が増えた	出費が増えた	その他	特にマイナスの変化はなかった	不明・無回答
今回調査(n=421)		25.4	6.7	6.9	4.3	20.7	5.7	42.3	6.7	21.9	26.1	10.2	16.4	5.2	13.5	5.7
性別	男性(n=200)	36.0	6.0	6.0	5.0	23.5	6.0	43.0	5.5	17.0	26.5	5.5	14.0	3.0	15.0	8.0
	女性(n=216)	15.7	7.4	7.4	3.7	18.1	5.6	42.1	7.9	25.5	26.4	14.4	19.0	7.4	12.5	3.2
年齢別・男性	19歳以下(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	20歳代(n=13)	46.2	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	30.8	0.0	7.7	15.4	0.0	23.1	7.7	23.1	7.7
	30歳代(n=22)	54.5	13.6	9.1	9.1	13.6	9.1	45.5	9.1	22.7	31.8	4.5	18.2	4.5	9.1	9.1
	40歳代(n=21)	52.4	19.0	19.0	4.8	19.0	9.5	52.4	14.3	9.5	14.3	9.5	19.0	0.0	23.8	0.0
	50歳代(n=30)	50.0	3.3	10.0	0.0	13.3	0.0	46.7	6.7	13.3	23.3	3.3	20.0	3.3	16.7	3.3
	60歳代(n=42)	47.6	4.8	2.4	11.9	26.2	11.9	38.1	7.1	19.0	38.1	9.5	19.0	2.4	9.5	2.4
	70歳以上(n=68)	11.8	1.5	1.5	1.5	33.8	2.9	45.6	1.5	20.6	26.5	4.4	4.4	2.9	14.7	14.7
年齢別・女性	19歳以下(n=4)	0.0	0.0	50.0	0.0	75.0	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=11)	27.3	0.0	36.4	0.0	36.4	0.0	54.5	9.1	0.0	45.5	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0
	30歳代(n=22)	45.5	36.4	9.1	18.2	0.0	0.0	18.2	9.1	45.5	22.7	13.6	27.3	9.1	9.1	0.0
	40歳代(n=29)	24.1	27.6	17.2	6.9	10.3	3.4	24.1	3.4	27.6	31.0	27.6	48.3	0.0	13.8	0.0
	50歳代(n=39)	15.4	0.0	0.0	0.0	10.3	7.7	41.0	12.8	23.1	23.1	15.4	12.8	15.4	15.4	0.0
	60歳代(n=49)	14.3	0.0	2.0	4.1	18.4	2.0	40.8	4.1	24.5	22.4	14.3	10.2	6.1	20.4	2.0
	70歳以上(n=62)	1.6	0.0	3.2	0.0	25.8	11.3	54.8	9.7	24.2	29.0	9.7	14.5	8.1	8.1	9.7
子どもの有無別	子どもがいない(n=83)	33.7	1.2	9.6	3.6	21.7	4.8	36.1	4.8	12.0	25.3	4.8	10.8	6.0	15.7	6.0
	子どもがいる(n=325)	23.4	8.3	6.5	4.6	20.3	6.2	44.6	6.8	24.6	26.8	11.7	18.2	5.2	12.6	5.2
職業の有無別	就労者(n=236)	39.8	9.7	6.8	5.9	14.0	5.1	33.1	6.4	20.3	25.8	9.3	19.5	4.7	15.7	3.4
	無職(n=171)	4.7	2.9	6.4	2.3	30.4	5.8	54.4	7.0	24.0	25.1	11.7	11.7	4.7	11.1	8.2

11 男女共同参画社会の実現に向けた施策について

問 26 あなたは、国や県、町の施策に女性の意見がどの程度反映されていると思いますか。

(単数回答)

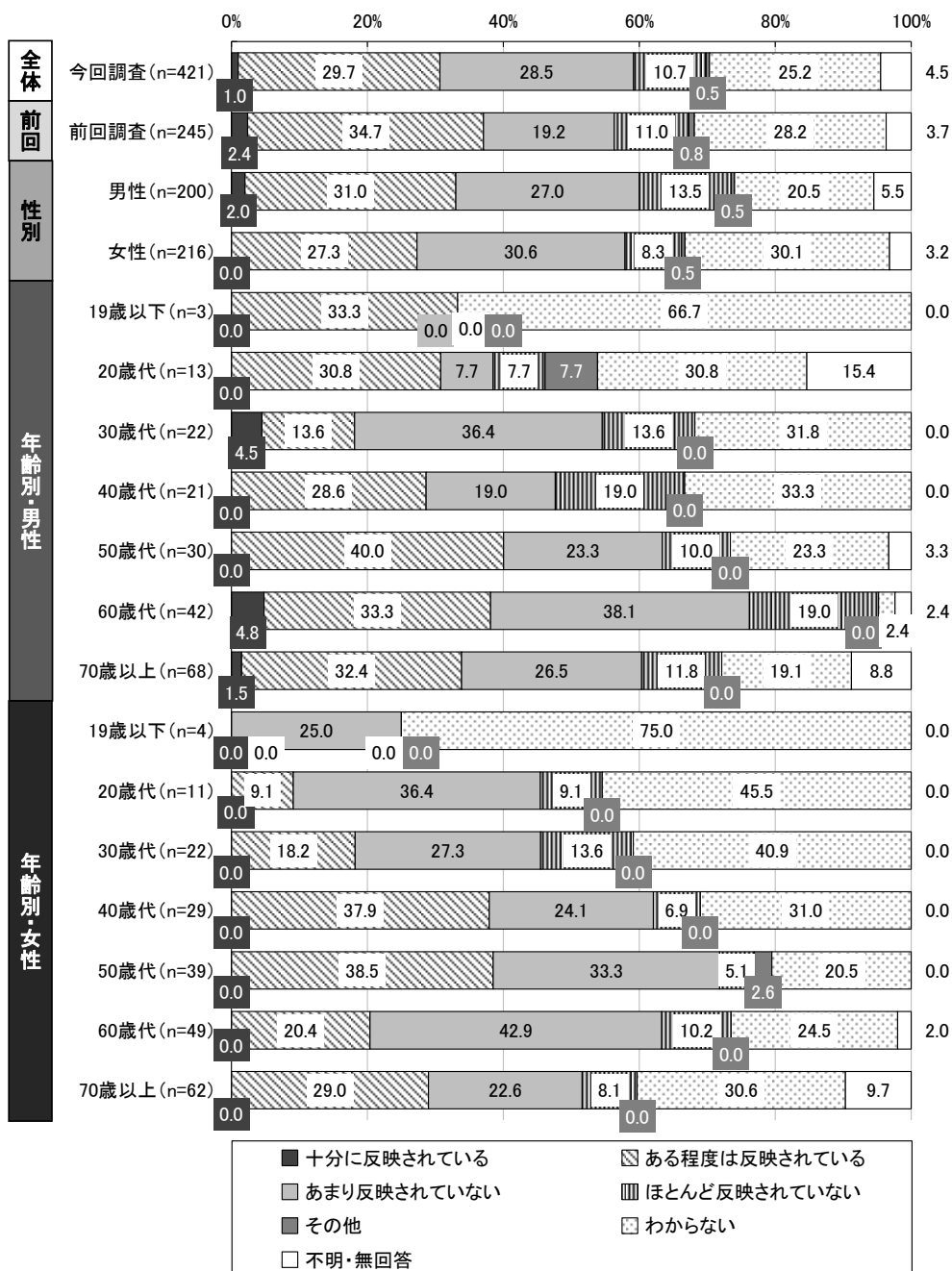
国や県、町の施策に女性の意見がどの程度反映されていると思うかについてみると、全体では『反映されていない』(「あまり反映されていない」と「ほとんど反映されていない」の計)が『反映されている』(「十分に反映されている」と「ある程度は反映されている」の計)を8.5ポイント上回っています。

前回調査と比較すると、『反映されていない』が9.0ポイント高くなっています。

性別にみると、「わからない」では女性が男性を9.6ポイント上回っています。

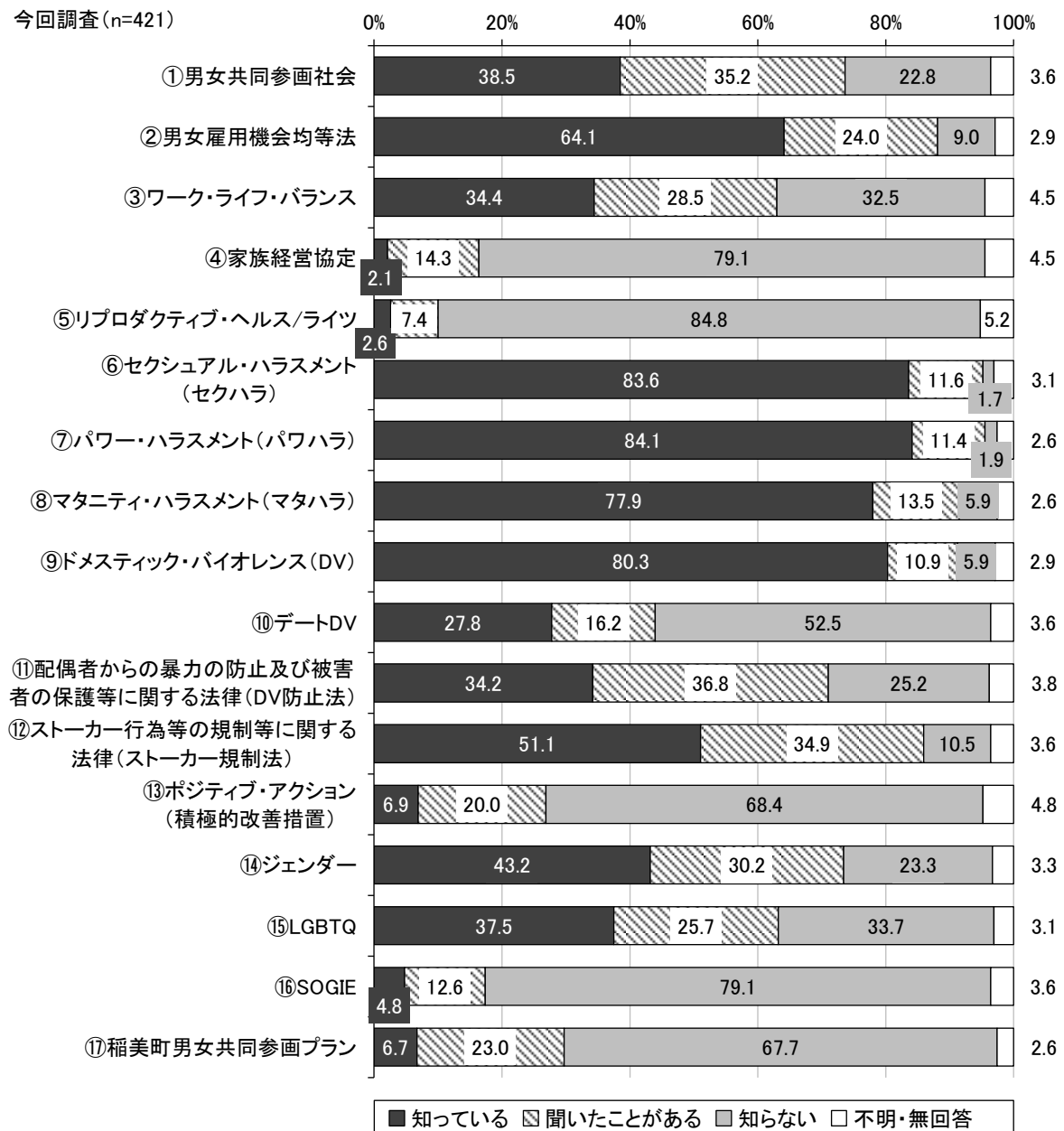
男性の年齢別にみると、10歳代、20歳代、50歳代では『反映されている』が『反映されていない』を上回っています。

女性の年齢別にみると、30歳代、40歳代では『反映されている』が『反映されていない』を上回っています。



問 27 あなたは、次のことばについて知っていますか。(単数回答)

次のことばについての認知度についてみると、「セクシュアル・ハラスメント (セクハラ)」「パワー・ハラスメント (パワハラ)」「マタニティ・ハラスメント (マタハラ)」「ドメスティック・バイオレンス (DV)」では「知っている」、「家族経営協定」「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」「SOGIE」では「知らない」がそれぞれ他のことばと比べて高くなっています。



問 27 ①男女共同参画社会（単数回答）

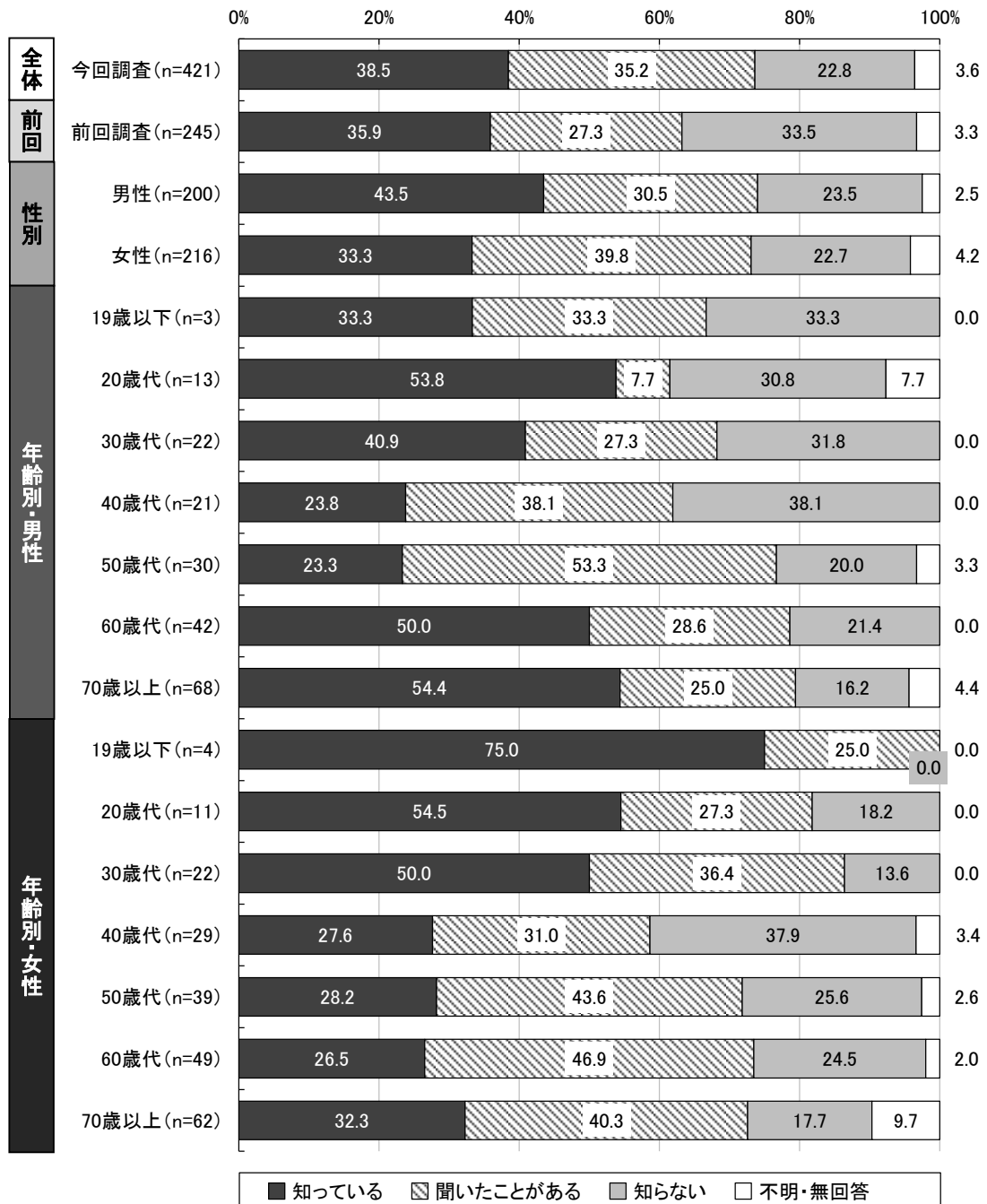
男女共同参画社会の認知度についてみると、全体では「知っている」が38.5%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が35.2%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が10.7ポイント低くなっています。

性別にみると、「知っている」では男性が女性を10.2ポイント上回っています

男性の年齢別にみると、40歳代、50歳代では「知っている」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。



問 27 ②男女雇用機会均等法（単数回答）

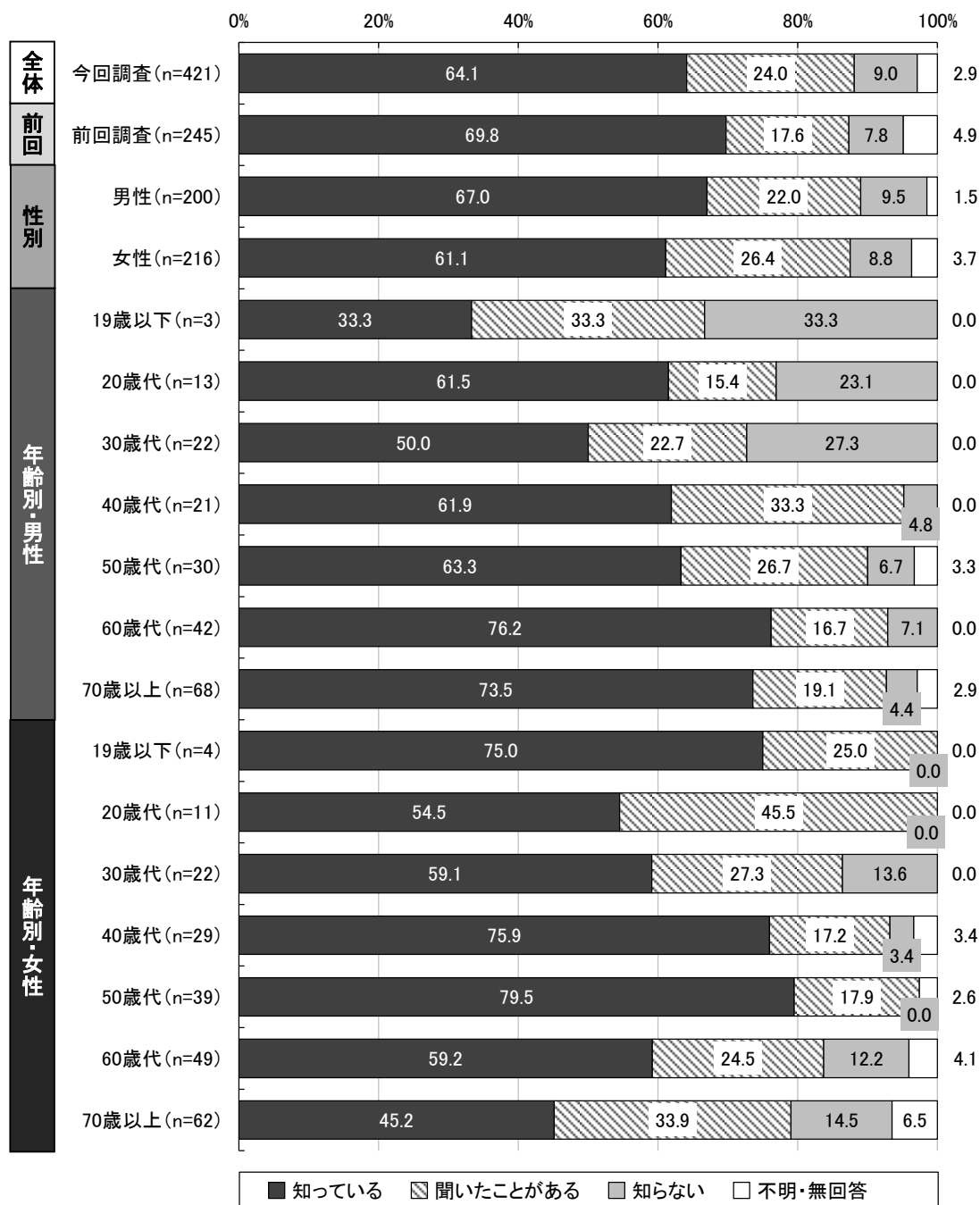
男女雇用機会均等法の認知度についてみると、全体では「知っている」が64.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が24.0%となっています。

前回調査と比較すると、「聞いたことがある」が6.4ポイント高くなっています。

性別にみると、「知っている」では男性が女性を5.9ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代、30歳代では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代、50歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。



問 27 ③ワーク・ライフ・バランス（単数回答）

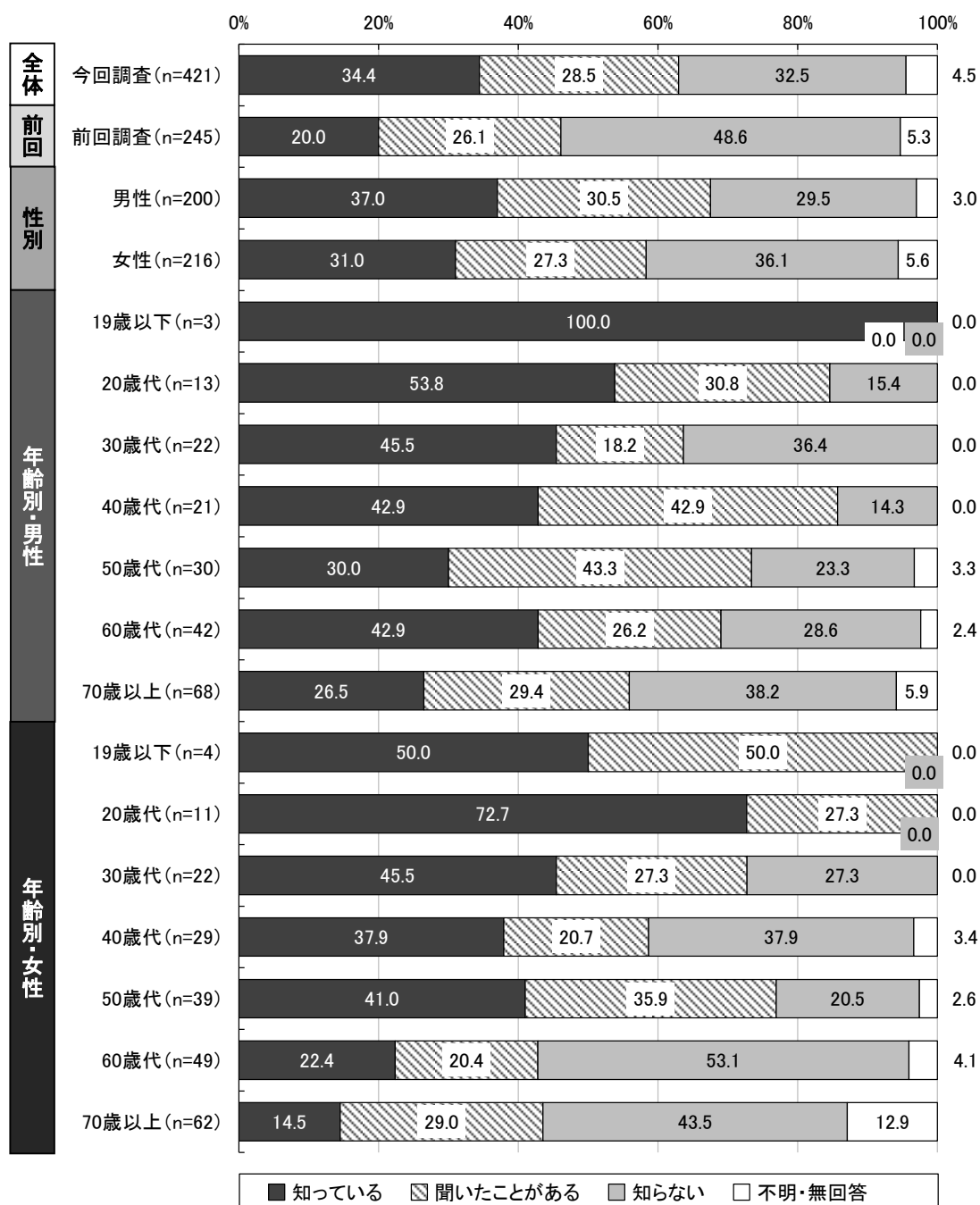
ワーク・ライフ・バランスの認知度についてみると、全体では「知っている」が 34.4%と最も高く、次いで「知らない」が 32.5%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が 16.1 ポイント低くなっています。

性別にみると、「知らない」では女性が男性を 6.6 ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「知っている」が低くなっています。

女性の年齢別にみると、20 歳代から概ね年齢が上がるにつれて「知っている」が低くなっています。



問 27 ④家族経営協定（単数回答）

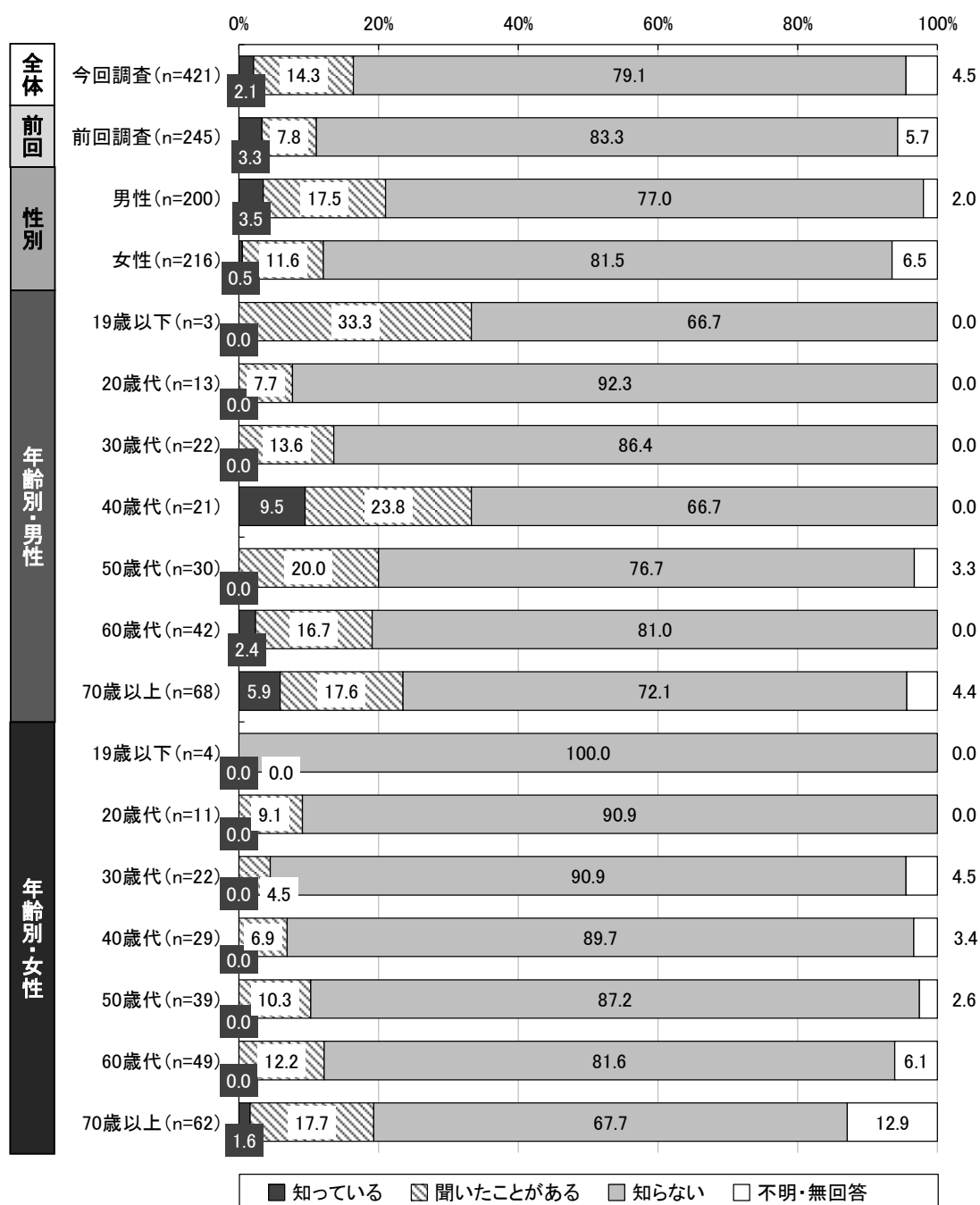
家族経営協定の認知度についてみると、全体では「知らない」が79.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が14.3%となっています。

前回調査と比較すると、「聞いたことがある」が6.5ポイント高くなっています。

性別にみると、「聞いたことがある」では男性が女性を5.9ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、40歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代から年齢が上がるにつれて「聞いたことがある」が高くなっています。



問 27 ⑤リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（単数回答）

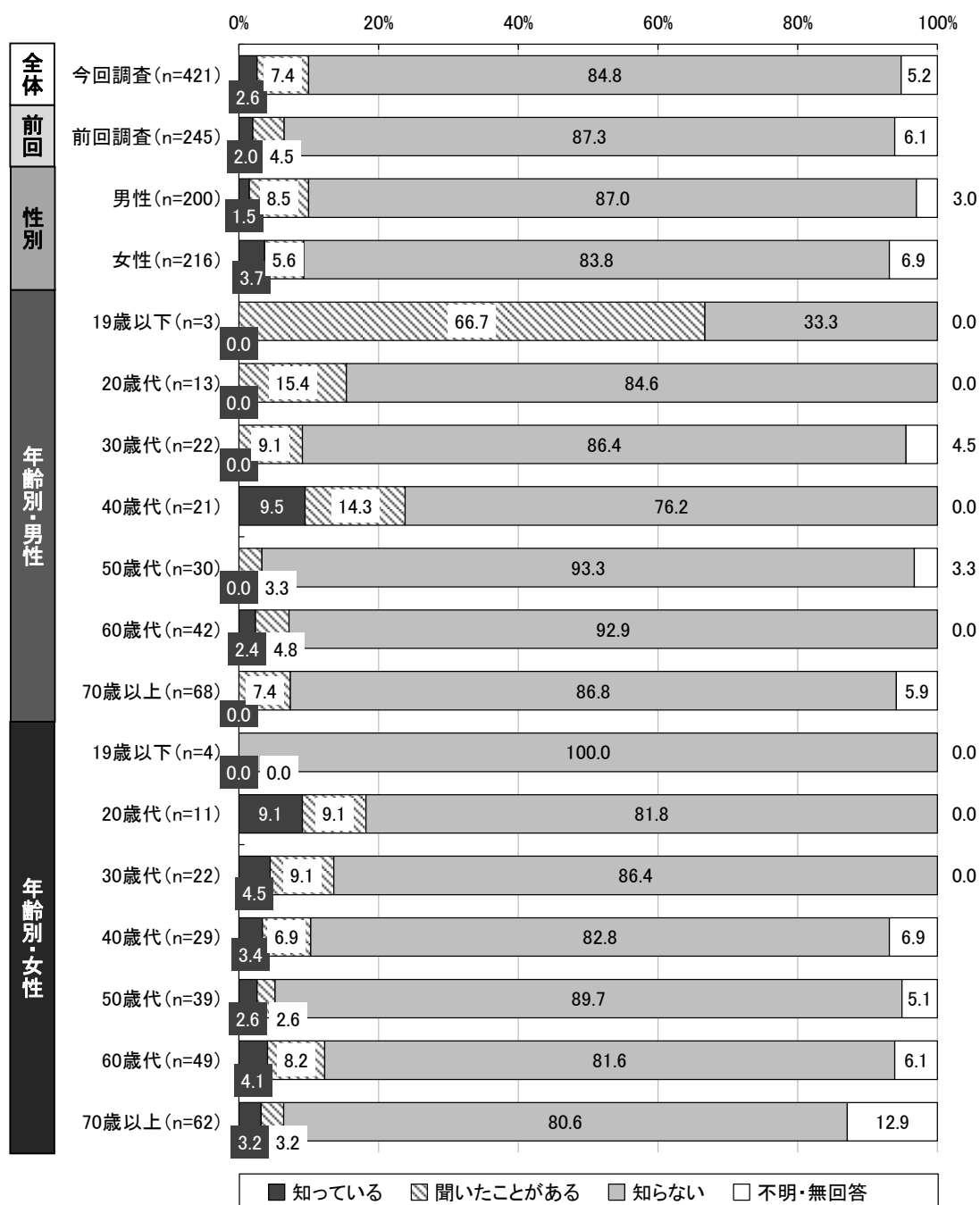
リプロダクティブ・ヘルス/ライツの認知度についてみると、全体では「知らない」が 84.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が 7.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、40歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。



問 27 ⑥セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）（単数回答）

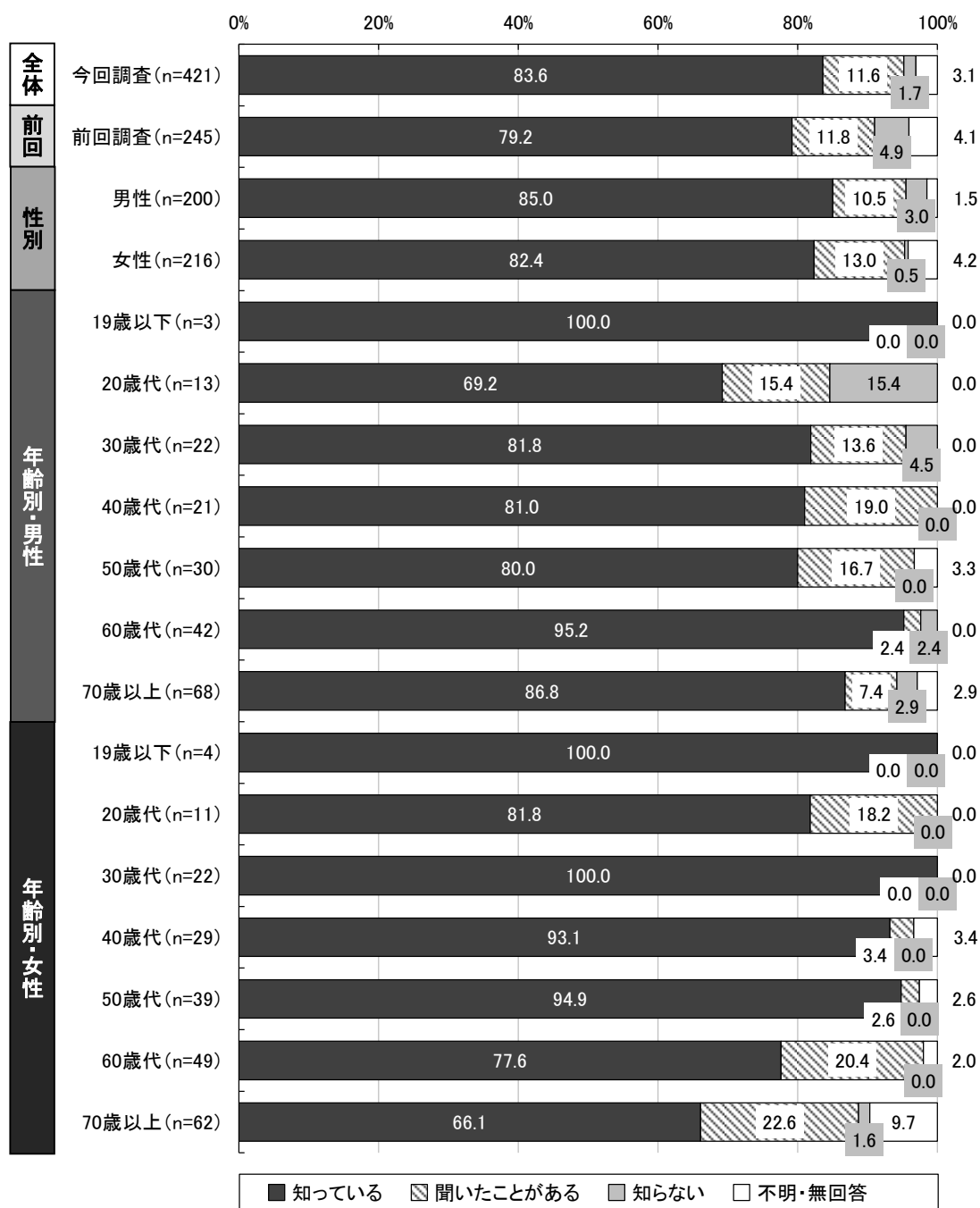
セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の認知度についてみると、全体では「知っている」が83.6%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が11.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、20歳代では「知っている」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、30歳代から年齢が上がるにつれて「知っている」が低くなっています。



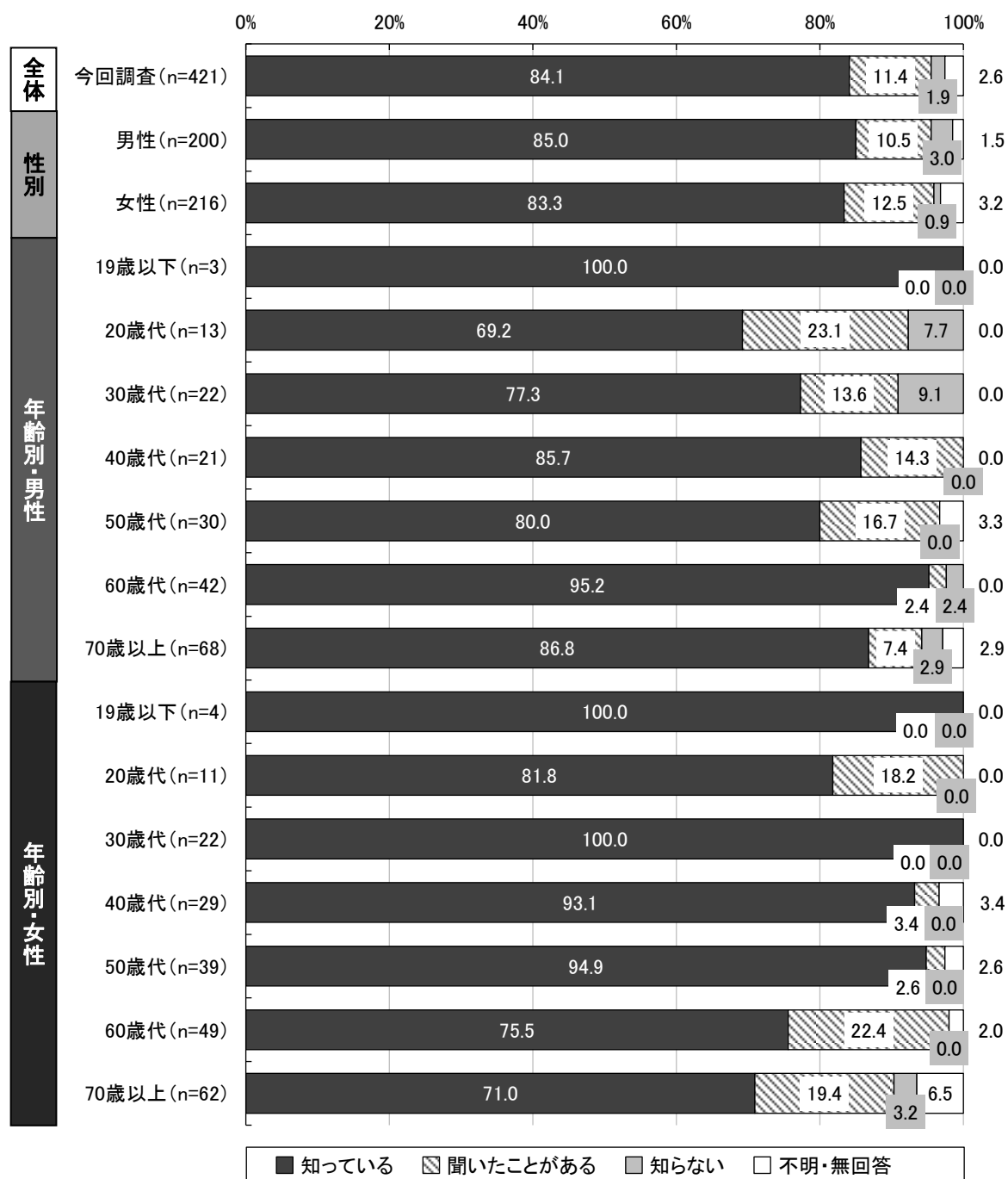
問 27 ⑦パワー・ハラスメント（パワハラ）（単数回答）

パワー・ハラスメント（パワハラ）の認知度についてみると、全体では「知っている」が84.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が11.4%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、20歳代では「聞いたことがある」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代、60歳代、70歳以上では「聞いたことがある」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査のみの設問

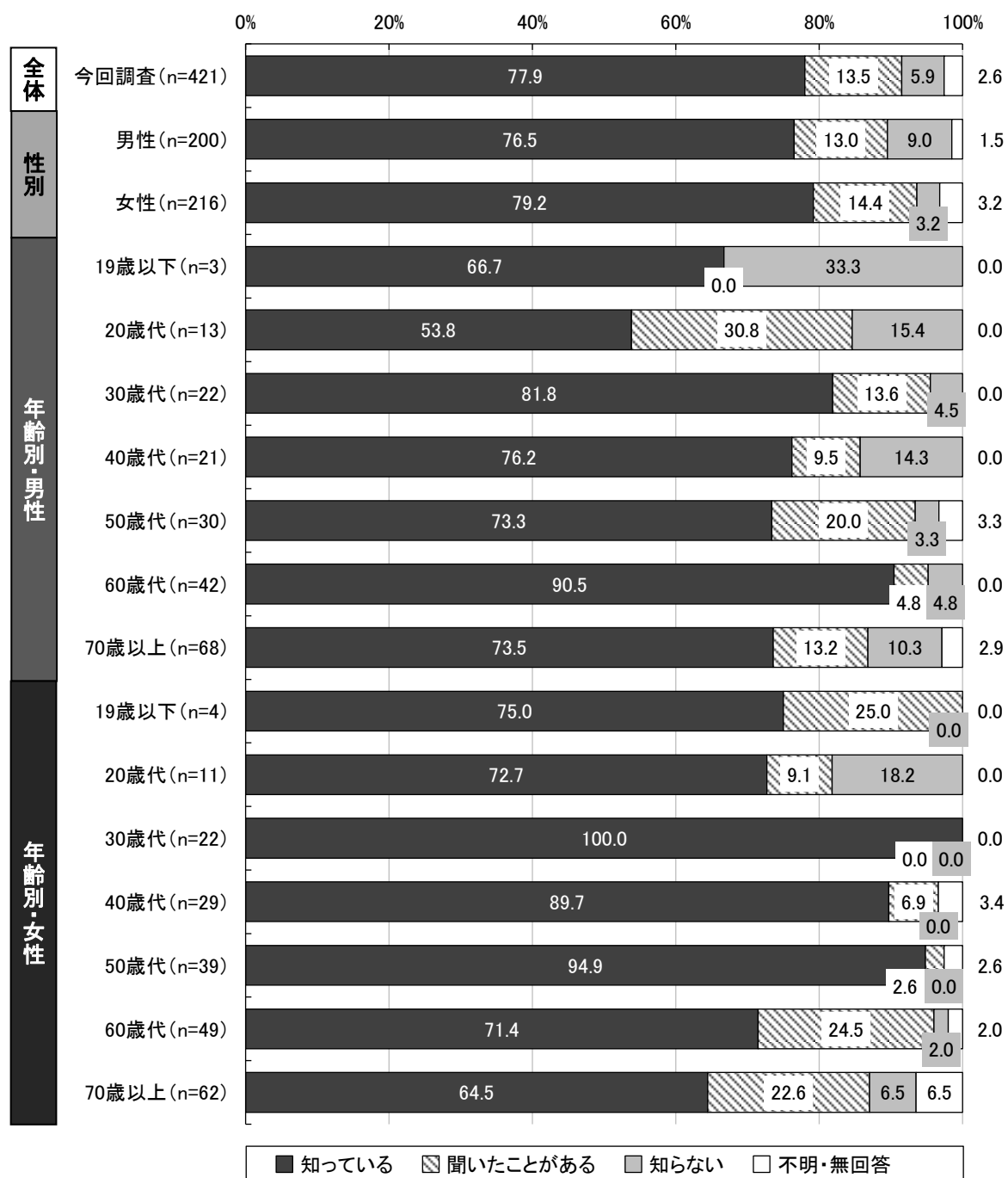
問 27 ⑧ マタニティ・ハラスメント（マタハラ）（単数回答）

マタニティ・ハラスメント（マタハラ）の認知度についてみると、全体では「知っている」が77.9%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が13.5%となっています。

性別にみると、「知らない」では男性が女性を5.8ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、19歳以下、20歳代では「知っている」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査のみの設問

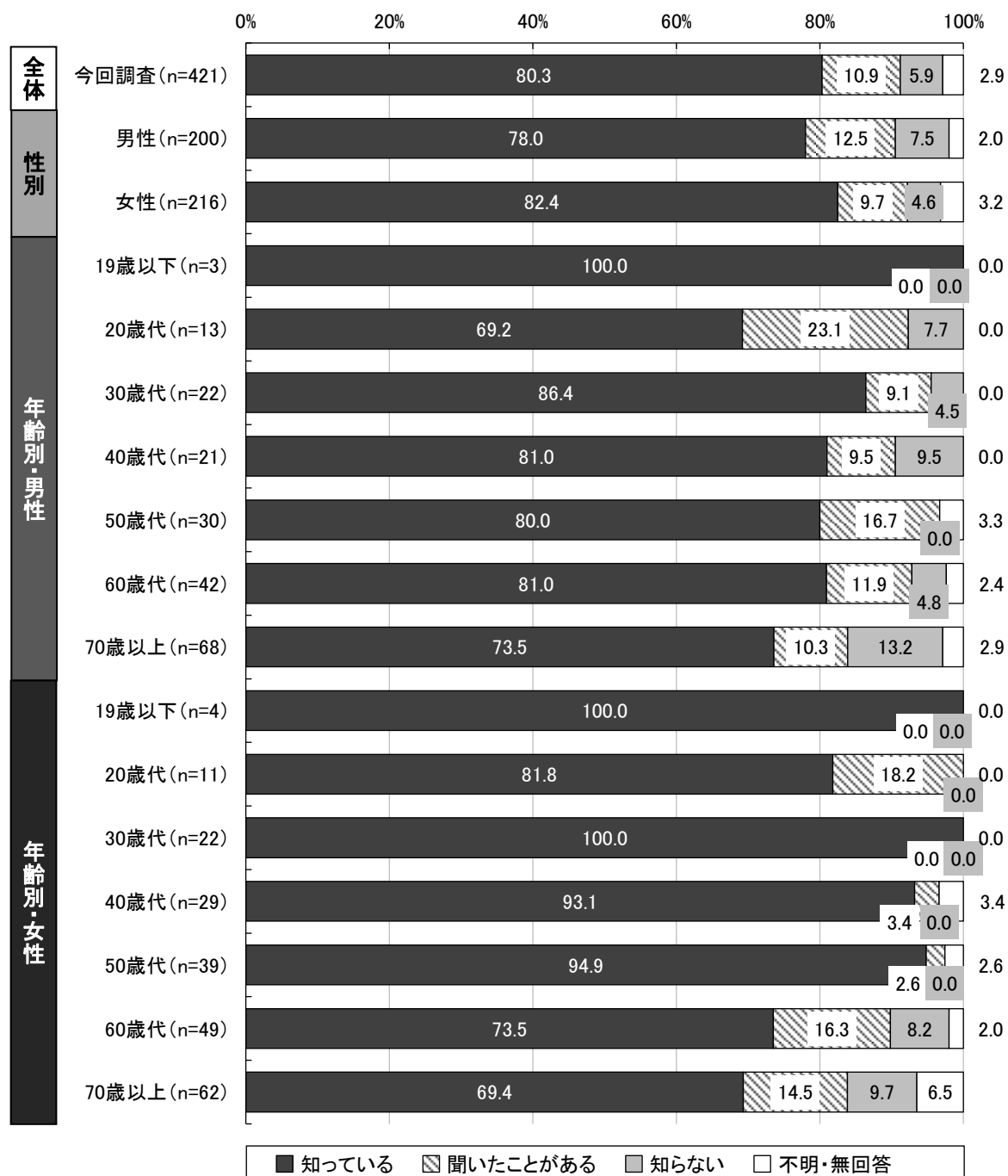
問 27 ⑨ドメスティック・バイオレンス（DV）（単数回答）

ドメスティック・バイオレンス（DV）の認知度についてみると、全体では「知っている」が80.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が10.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、20歳代では「聞いたことがある」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、60歳代、70歳以上では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査のみの設問

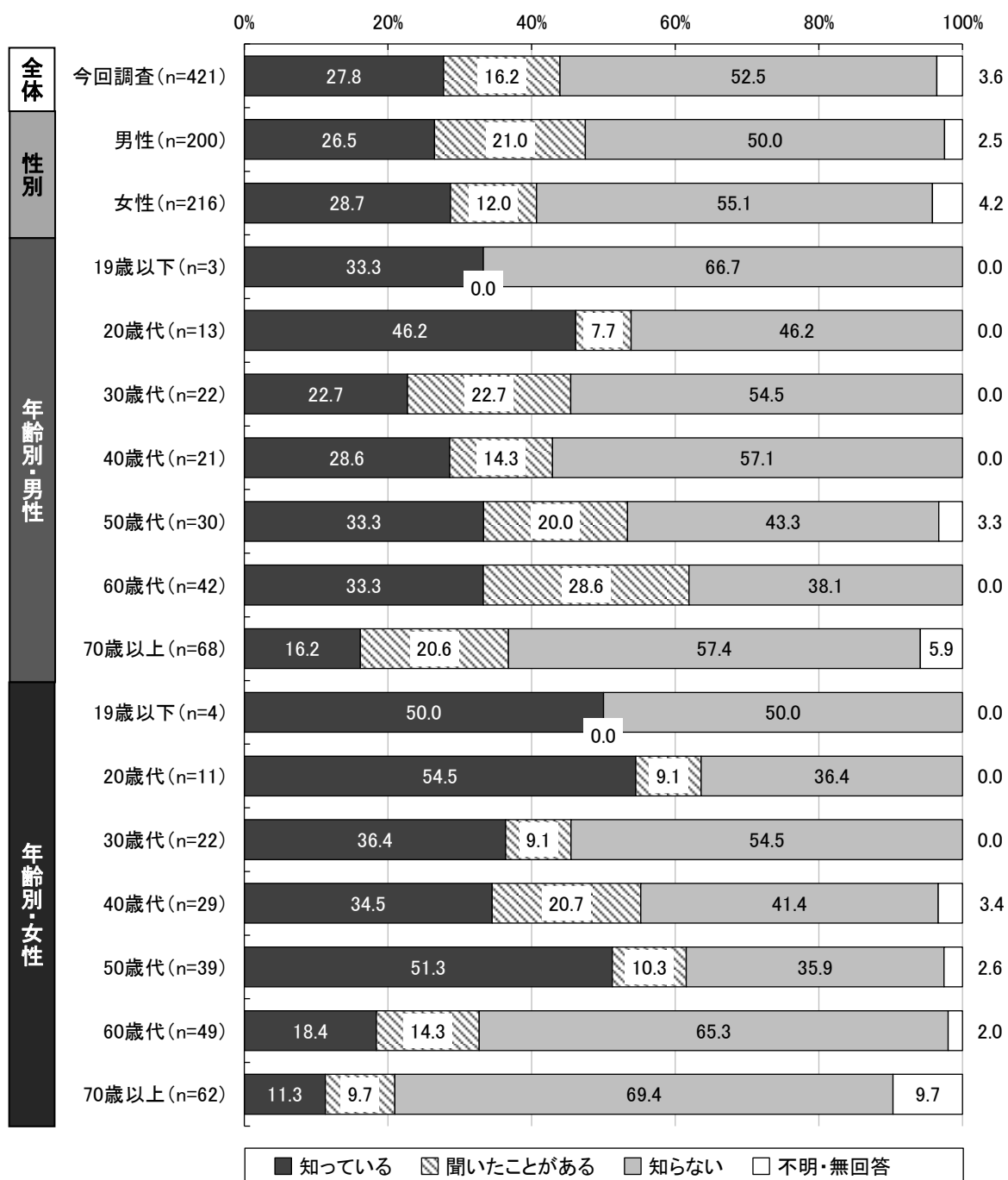
問 27 ⑩デートDV（単数回答）

デートDVの認知度についてみると、全体では「知らない」が52.5%と最も高く、次いで「知っている」が27.8%となっています。

性別にみると、「聞いたことがある」では男性が女性を9.0ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、60歳代、70歳以上では「知っている」が他の年齢と比べて低くなっています。



※今回調査のみの設問

問 27 ⑪配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）（単数回答）

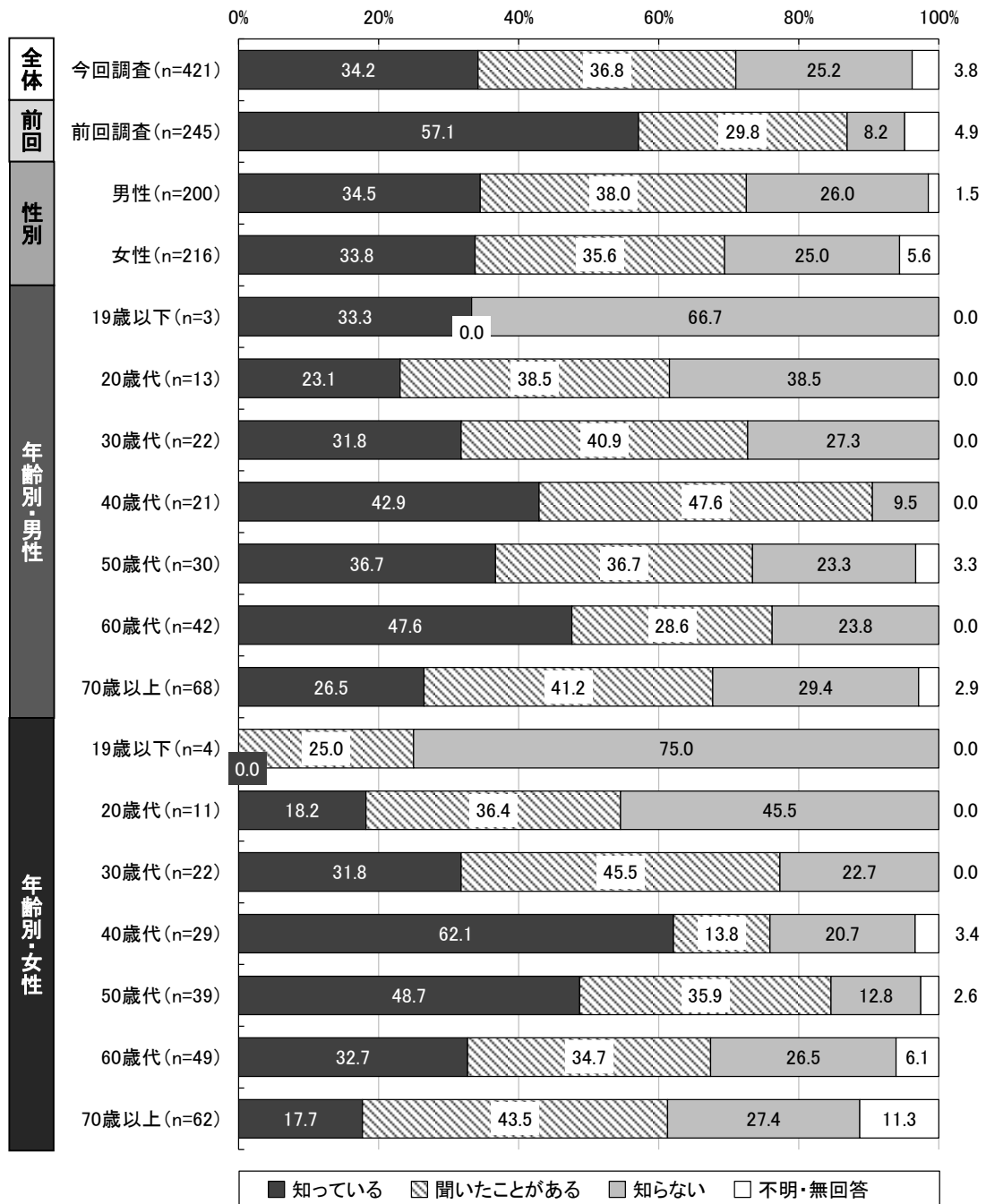
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）の認知度についてみると、全体では「聞いたことがある」が36.8%と最も高く、次いで「知っている」が34.2%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」が22.9ポイント低くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、40歳代では「知らない」が他の年齢と比べて低くなっています。

女性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「知っている」が高くなり、40歳代からは低くなっています。



問 27 ⑫ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー規制法）（単数回答）

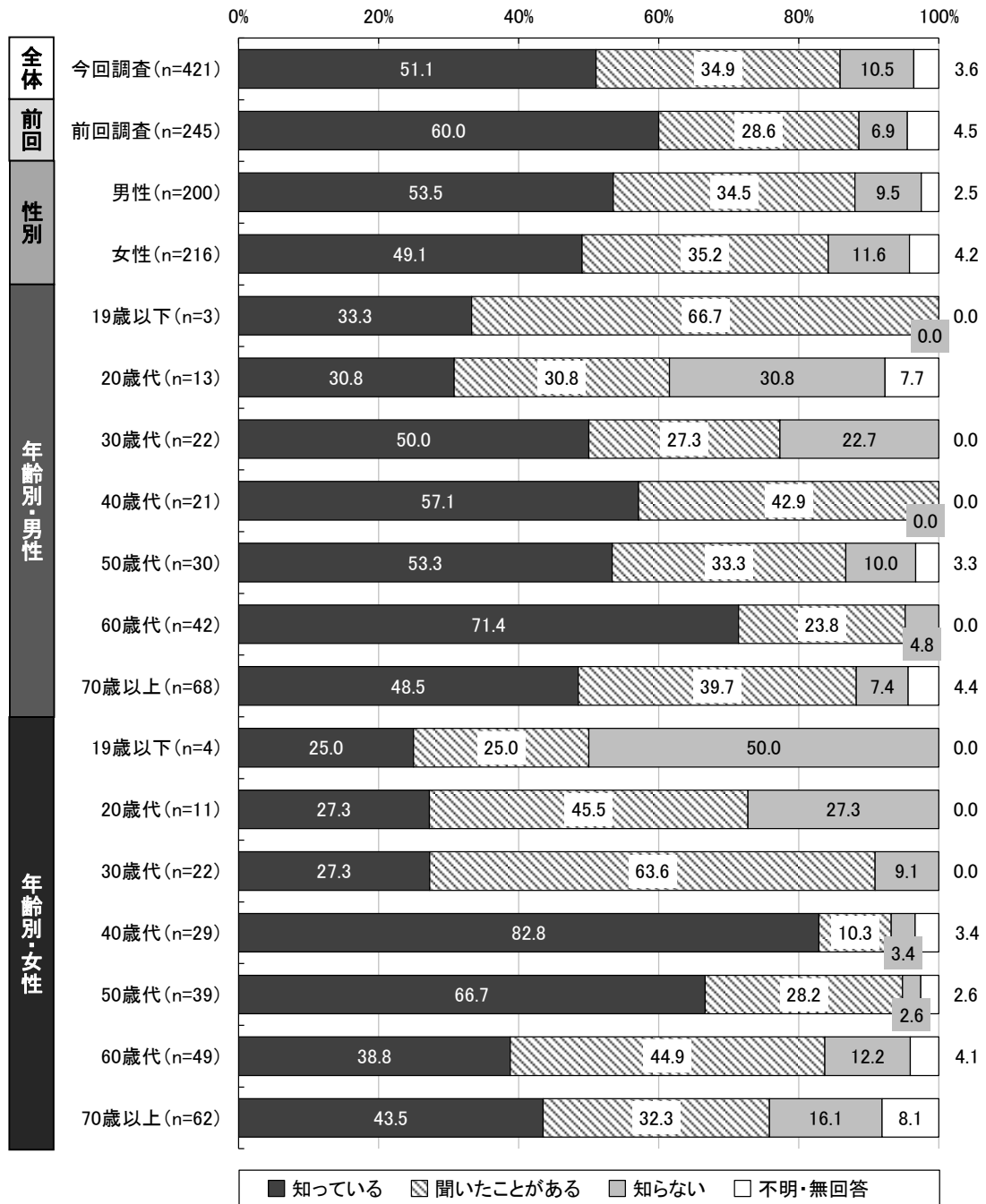
ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー規制法）の認知度についてみると、全体では「知っている」が51.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が34.9%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」が8.9ポイント低くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、60歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。



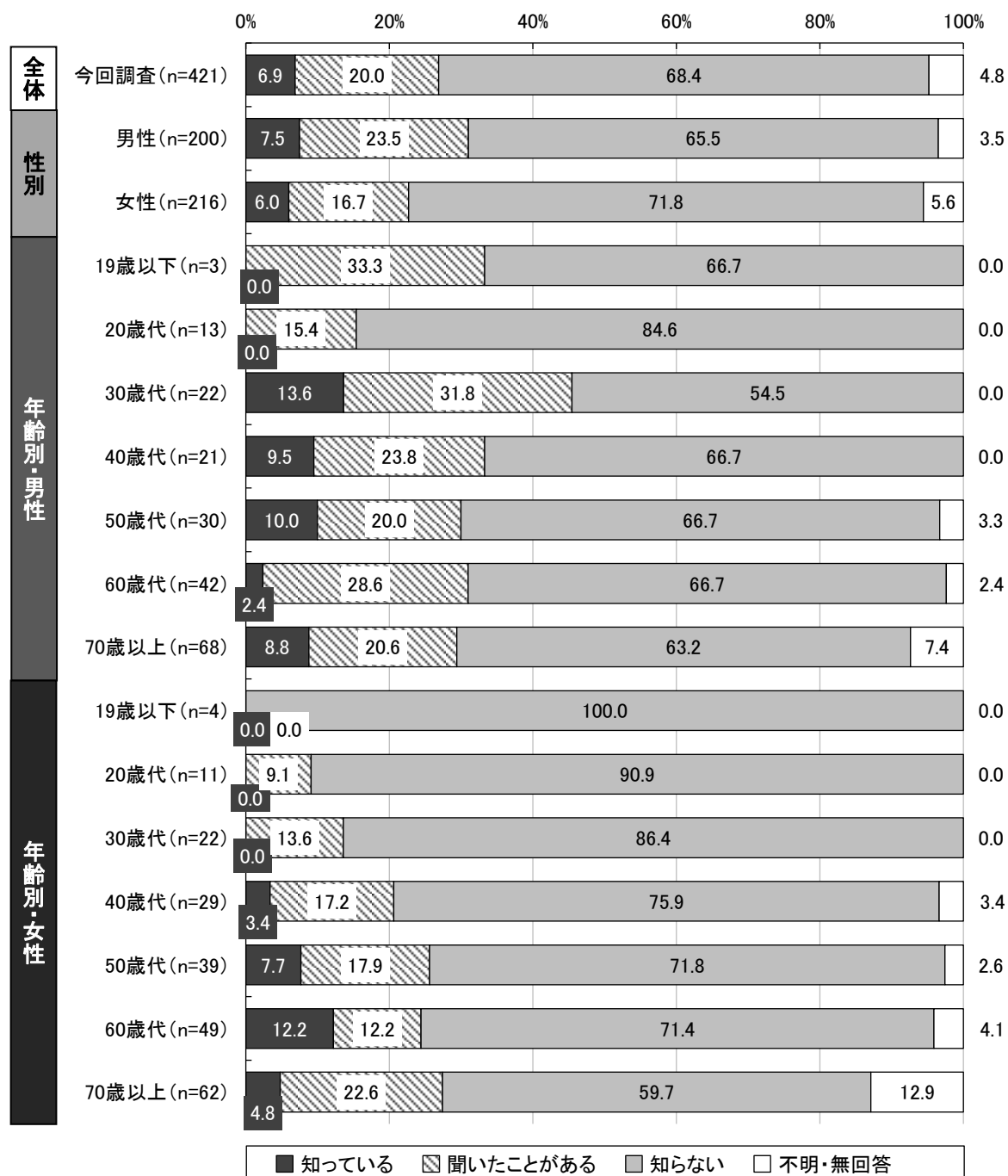
問 27 ⑬ポジティブ・アクション（積極的改善措置）（単数回答）

ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の認知度についてみると、全体では「知らない」が68.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が20.0%となっています。

性別にみると、「聞いたことがある」では男性が女性を6.8ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「知らない」が低くなっています。



※今回調査のみの設問

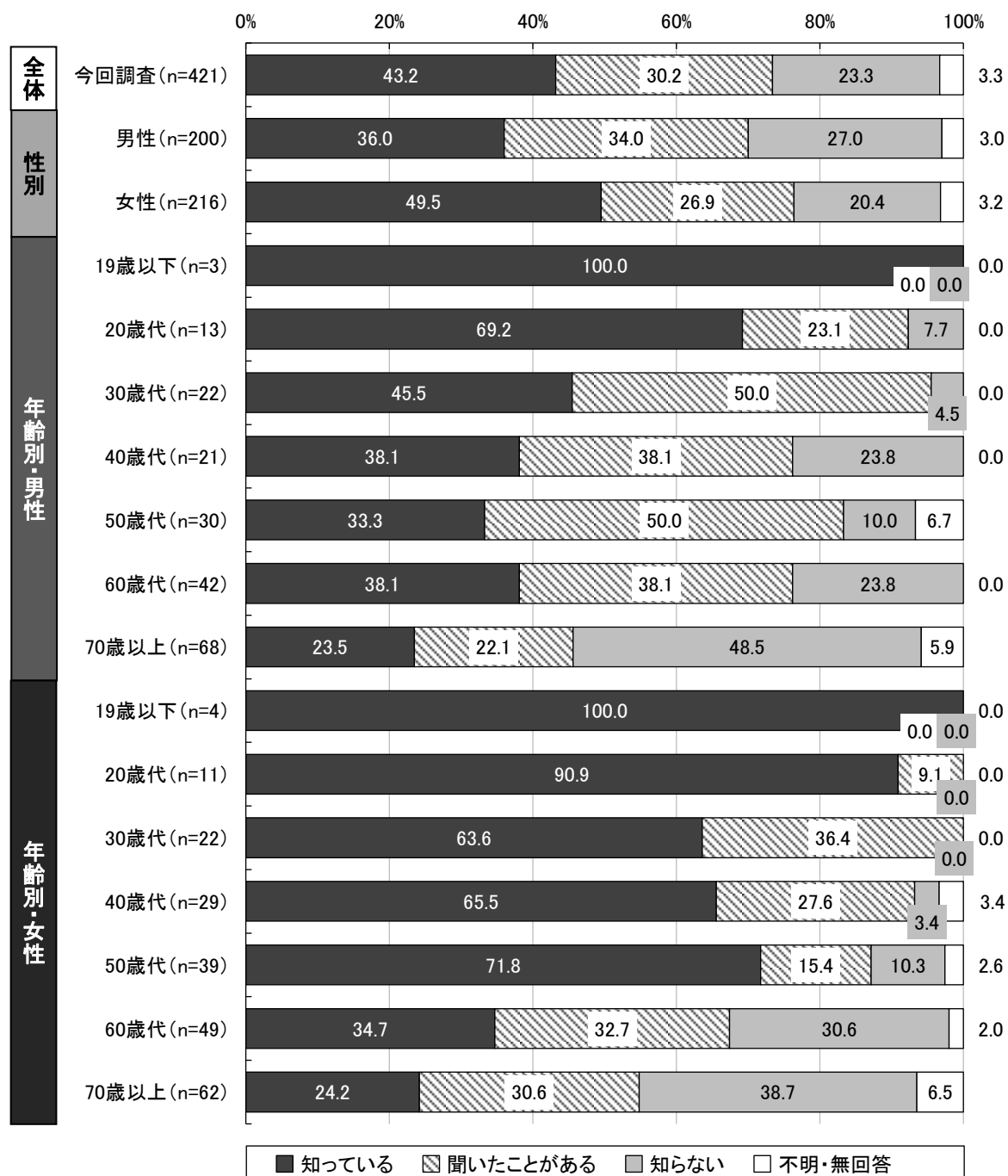
問 27 ⑭ジェンダー（単数回答）

ジェンダーの認知度についてみると、全体では「知っている」が43.2%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が30.2%となっています。

性別にみると、「知っている」では女性が男性を13.5ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「知っている」が低くなっています。

女性の年齢別にみると、60歳代、70歳以上では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査のみの設問

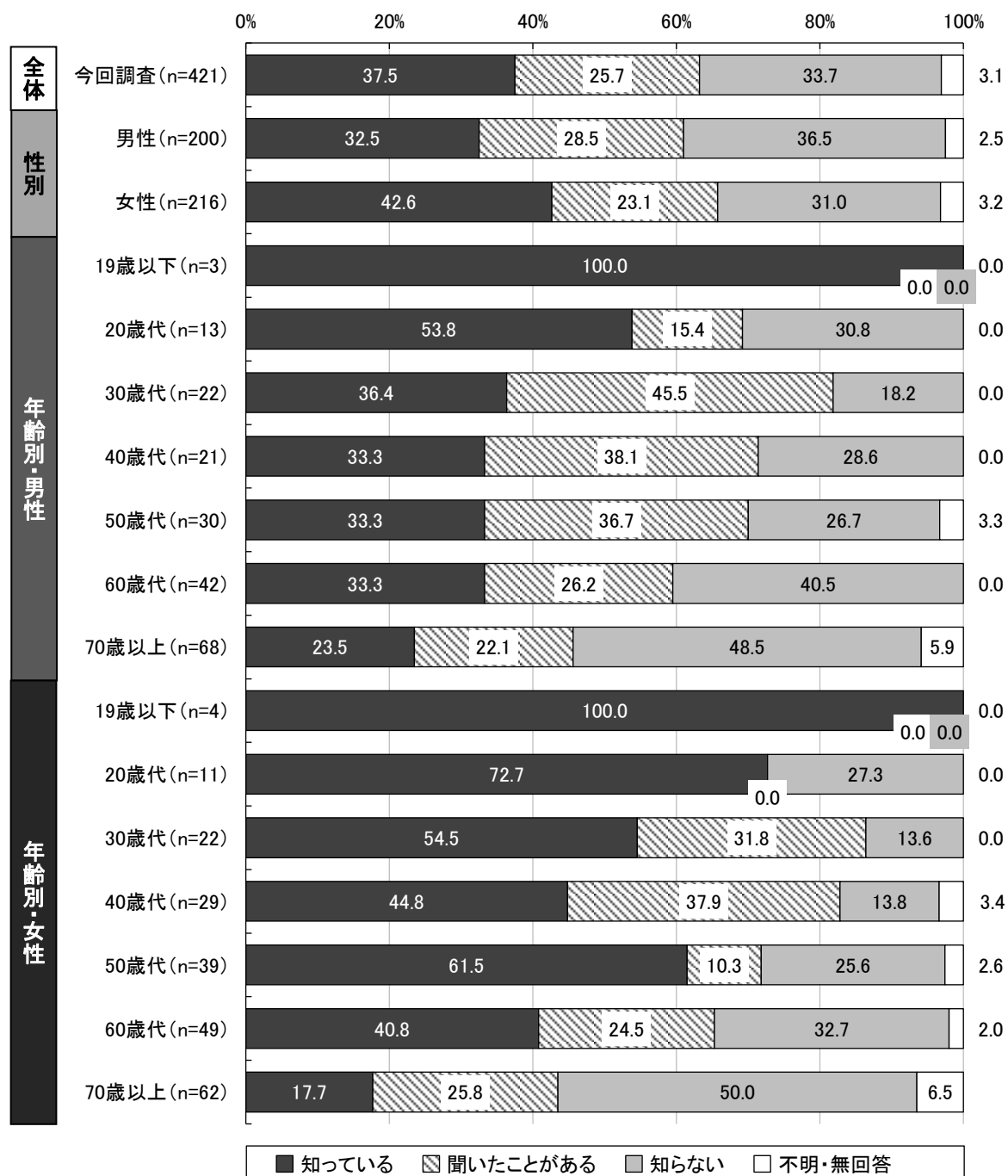
問 27 ⑮ L G B T Q (単数回答)

L G B T Qの認知度についてみると、全体では「知っている」が37.5%と最も高く、次いで「知らない」が33.7%となっています。

性別にみると、「知っている」では女性が男性を10.1ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「知っている」が低くなっています。

女性の年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「知っている」が低くなっています。



※今回調査のみの設問

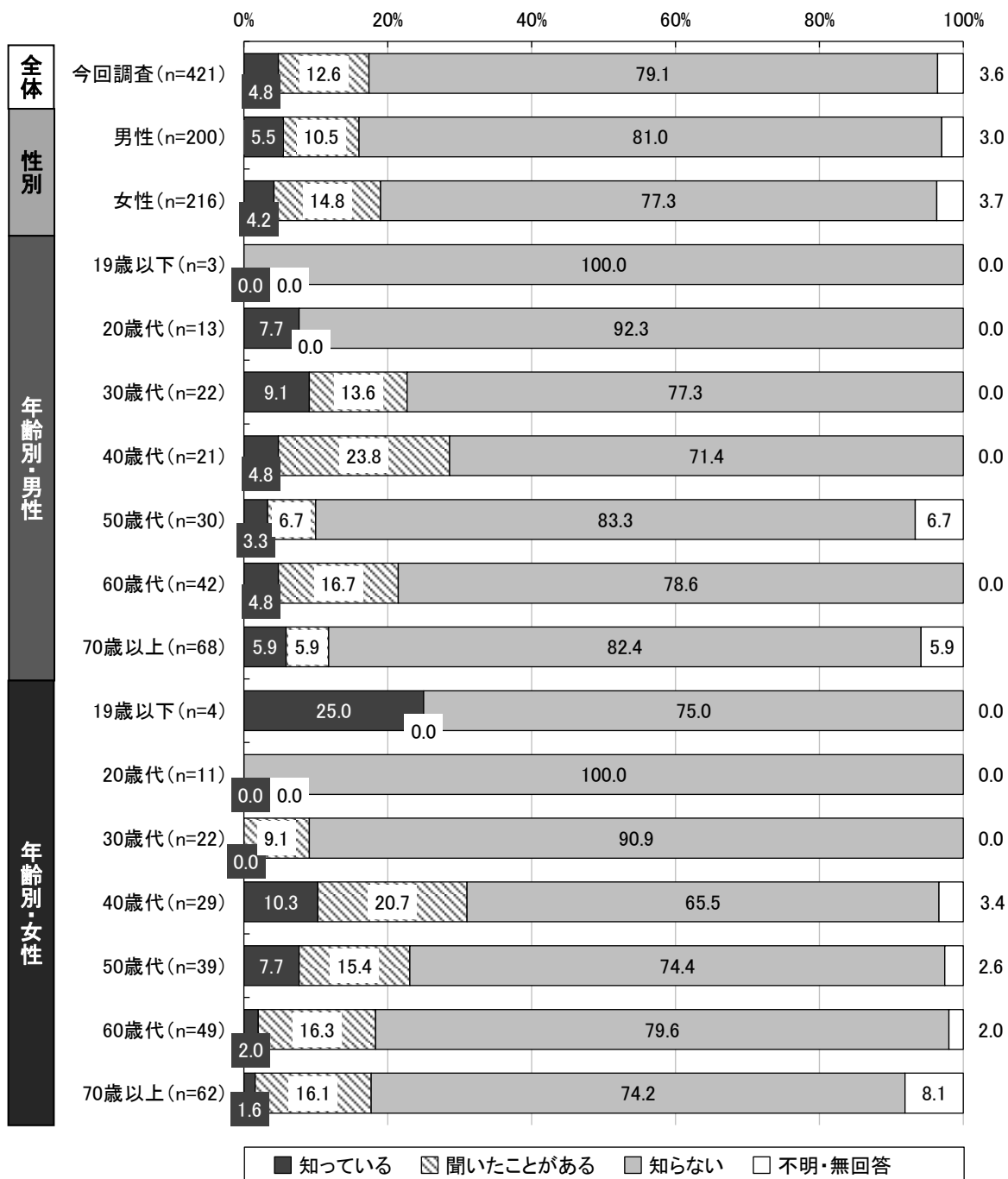
問 27 ⑩ SOGIE (単数回答)

SOGIEの認知度についてみると、全体では「知らない」が79.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が12.6%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、40歳代では「聞いたことがある」が他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代、30歳代では「知らない」が他の年齢と比べて高くなっています。



※今回調査のみの設問

問 27 ⑰稲美町男女共同参画プラン（単数回答）

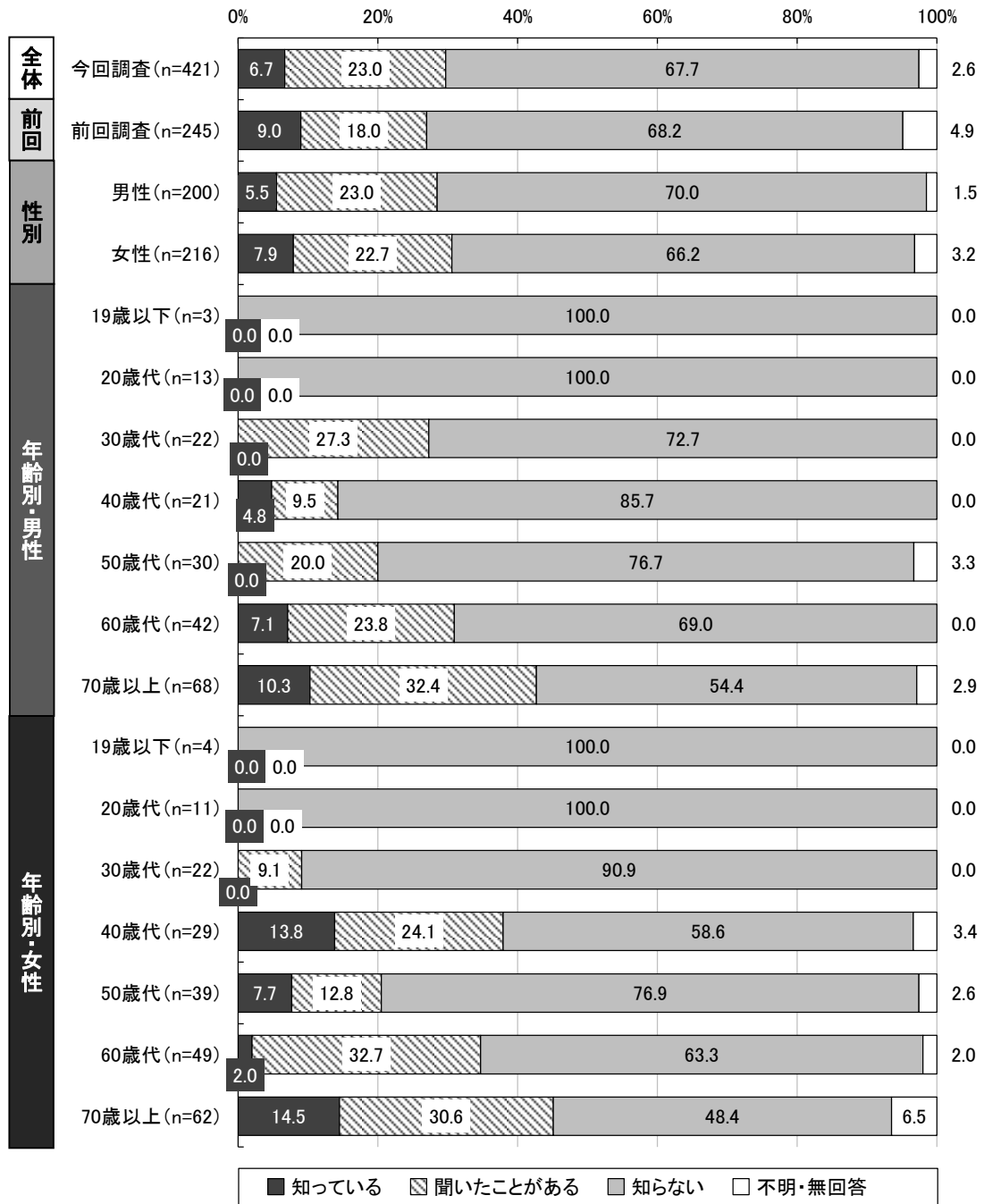
稲美町男女共同参画プランの認知度についてみると、全体では「知らない」が67.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が23.0%となっています。

前回調査と比較すると、「聞いたことがある」が5.0ポイント高くなっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

男性の年齢別にみると、40歳代から年齢が上がるにつれて「聞いたことがある」が高くなっています。

女性の年齢別にみると、40歳代、70歳以上では「知っている」が他の年齢と比べて高くなっています。



問 28 あなたは、男女共同参画社会の実現に、どのようなことが大切だと思いますか。(単数回答)

男女共同参画社会の実現に、大切だと思うことについてみると、全体では「男女平等のための法律や制度を整える」が14.0%と最も高く、次いで「わからない」が12.1%となっています。

前回調査では、「職場における男女の均等な取り扱いを徹底する」が最も高く、次いで「男女平等が進むよう行政施策を進める」となっています。

性別にみると、「男女の役割分担についての慣習やしきたりを改める」では女性が男性を8.3ポイント上回っています。

男性の年齢別にみると、20歳代では「男女の生き方や働き方を見直す」、19歳以下、40歳代では「男女平等のための法律や制度を整える」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

女性の年齢別にみると、20歳代では「男女の生き方や働き方を見直す」が他の年齢と比べて高くなっています。

職業の有無別にみると、「男女の役割分担についての慣習やしきたりを改める」では無職が就労者を5.0ポイント上回っています。

単位: %		男女平等のための法律や制度を整える	男女平等が進むよう行政施策を進める	男女平等をめざす住民運動が活発になる	女性が各分野で活躍し、実績を上げる	行政の審議会や委員会に女性の登用を推進する	企業や官庁等で女性管理職を多く登用する	職場における男女の均等な取り扱いを徹底する	学校教育や社会教育において男女平等教育を進める	子育てや介護に関するサービスやそれらの施設を充実する	男女の生き方や働き方を見直す	男女の役割分担についての慣習やしきたりを改める	その他	わからない	不明・無回答
今回調査 (n=421)		14.0	11.9	1.0	5.5	2.9	1.9	8.8	9.3	4.5	11.4	10.9	2.4	12.1	3.6
前回調査 (n=245)		24.1	29.8	3.7	22.9	17.1	17.1	36.3	23.7	20.8*	20.0	23.3	2.0	8.6	4.1
性別	男性 (n=200)	16.5	11.5	1.5	5.5	3.5	1.5	8.5	9.0	3.5	11.5	6.5	3.5	14.5	3.0
	女性 (n=216)	12.0	12.5	0.5	5.6	2.3	2.3	8.8	8.8	5.6	11.6	14.8	1.4	10.2	3.7
年齢別・男性	19歳以下 (n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	20歳代 (n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	38.5	0.0	15.4	23.1	0.0
	30歳代 (n=22)	0.0	9.1	4.5	9.1	0.0	4.5	18.2	4.5	0.0	9.1	13.6	4.5	22.7	0.0
	40歳代 (n=21)	38.1	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	14.3	9.5	4.8	19.0	0.0
	50歳代 (n=30)	20.0	13.3	3.3	6.7	6.7	0.0	3.3	10.0	6.7	6.7	6.7	0.0	13.3	3.3
	60歳代 (n=42)	16.7	21.4	0.0	4.8	2.4	0.0	11.9	9.5	4.8	16.7	2.4	4.8	0.0	4.8
	70歳以上 (n=68)	14.7	10.3	1.5	5.9	5.9	2.9	10.3	10.3	2.9	5.9	7.4	1.5	16.2	4.4
年齢別・女性	19歳以下 (n=4)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	54.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	30歳代 (n=22)	0.0	13.6	0.0	13.6	4.5	0.0	13.6	4.5	0.0	22.7	18.2	4.5	4.5	0.0
	40歳代 (n=29)	24.1	10.3	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	13.8	10.3	3.4	13.8	0.0	10.3	3.4
	50歳代 (n=39)	10.3	5.1	0.0	2.6	5.1	2.6	12.8	5.1	10.3	12.8	12.8	2.6	10.3	7.7
	60歳代 (n=49)	14.3	18.4	0.0	6.1	0.0	2.0	10.2	2.0	4.1	10.2	20.4	2.0	10.2	0.0
	70歳以上 (n=62)	9.7	16.1	1.6	6.5	1.6	4.8	6.5	11.3	3.2	4.8	14.5	0.0	12.9	6.5
有職無職の	就労者 (n=236)	14.0	12.3	1.3	5.9	2.5	0.8	8.5	8.9	5.1	13.6	8.5	3.0	12.7	3.0
	無職 (n=171)	14.6	11.7	0.6	4.7	3.5	3.5	9.4	9.9	3.5	9.4	13.5	1.8	11.1	2.9

※前回調査では複数回答の設定問であるため、直接の比較はできない。また、今回調査の選択肢「子育てや介護に関するサービスやそれらの施設を充実する」は、前回調査では「保育施設や介護施設とともにそれらのサービスを充実する」

問 28 最後に、町の男女共同参画施策についてご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

●男性の主な意見	
○ このアンケート挙げられている施策とともに、恋愛・結婚・性のあり方で悩んでいる人に向けて、セミナーや講義等を開催してほしい。	20 歳代
○ 世界経済フォーラムが出した「世界的なジェンダー・ギャップ報告書」によると、日本のジェンダー格差は大きく、153 国中 120 位である。何故このような評価になるのか調査し、女性にとって住みやすく、人権保護されている社会を目指すことにより、稲美町が少しでも注目される自治体になってほしい。「レディファースト」を推進するなど、話題性があり面白いのではないかな。	70 歳以上
○ 稲美町の自然を有効活用し、さらに住みやすい町づくりを目指すこと。女性の活躍の場を設けるなど、町として改善する場は多くあり、工夫が必要だと思う。	60 歳代
○ 男女の肉体的な違いを教育するとともに、平等にできる部分の教育を進めるべき。若い世代より高齢者は平等に馴染みがなく、その施策も検討する必要がある。	30 歳代
○ 健康第一に暮らしており、男女共同参画には興味が無い。	70 歳以上
○ 町長を女性にする。	50 歳代
○ 各関係団体の連携、協力体制の構築が必要。	70 歳以上
○ ≪アンケートの主旨と分野が異なるが、①②の声は多く自治会では改善できない。人に迷惑をかけないことが基本であり、人権問題と期待している≫ ① 相の山から神戸市に抜ける車が多く、制限速度を 30 キロにしてほしい。 ② ブロック塀の危険性が問われている。農水路で壊れたまま放置されている家がある。人に迷惑をかけない！人権の基本である。 ※教育委員会人権教育課として、①②を網羅的に取り組んでほしい。個人や自治会の注意では人間関係が悪くなる。	60 歳代
○ 各分野での活動は男女共同で活動するように登用し、均等に住民運動を行う。	70 歳以上
○ もっと宣伝してほしい。	20 歳代
○ 男女共同参画実現のためのプランがあることすら知らなかった。広報等で PR すべき。	70 歳以上
○ アンケートの性別の質問から無くしてはどうか。性を問わず、ただ与える機会を増やす。例えば避難所に生理用品を配備し、必要な人が使う。使える環境を整えるだけでよいと考える訳である。	50 歳代
○ 子育てに専念したい女性もいる。夫の収入が少なく、仕方がなく働いている女性も多い。女性全員を社会に出そうとするのは、考え直す必要がある。	70 歳以上
○ ハラスメント行為等の被害者は、女性前提で考えるのはやめた方がよい。相談窓口も男女で分けるより、対応するのは「男性職員」「女性職員」というように分けた方がよいのではないかな。多様な性と言うわりに女性を優位にすることしか考えず、もう少し LGBTQ を勉強した方がいい。	20 歳代

○ 男女共同参画という行政テーマは、個人の生き方や経済活動等、幅広い分野の活動に関わるため、概念的な施策・取り組みにならざるを得ない。(平和宣言都市みたいなもの) 重要課題ではあるが、個別に施策を地道に続けることが大切である。	70 歳以上
○ ① 世帯主制度が多く、個人(特に女性)の人権が認められていない事象が残っている。 ○ ② ジェンダーに関するアンケートに、性別の設問があることに疑問を感じた。	70 歳以上
○ 男女共同参画施策とは、何ですか？	50 歳代
○ 男女問わず、仕事や各分野において、好きなこと・やりたいことを積極的に活動することが大切。	70 歳以上

●女性の主な意見	
○ 男女共同参画・男女雇用・管理職・議員の女性割合を増やすなど、男女と分けた時点でLGBTQを除外している。女性の意見を取り入れるではなく、人の意見を取り入れる姿勢を取ってほしい。	30 歳代
○ 学校教育の中で踏み込んだ性教育を行ってほしい。子ども達が本気で自分を大切にし、友達や周囲の人を大切にするのに欠かせないことだと思う。性行動について話すのではなく、自分の体が持つ権利を知ることにより、人権について理解することができる。そこからセクシャリティーやジェンダー問題、さまざまなハラスメント問題に繋がる。幼いうちから「みんな違ってみんないい」という意識を持てるように、周囲の大人も学べる機会を作ってほしい。	40 歳代
○ 女性は結婚し、定年まで仕事を続けるのは大変だと思う。出産・子育ての期間は手助けしてくれる人がいなければ、退職をしなければならなくなり、キャリアが止まってしまう。退職せずに子育てできるように、サービスを充実させる必要がある。	70 歳以上
○ 古い家庭で育ち、男尊女卑の時代の社会で過ごしてきた。今の若い世代を見ていると、男女の差はなく微笑ましいと感じている。それは家庭生活にあると思う。	70 歳以上
○ 言葉ばかりが先行する印象があり、わかりやすい施策を願う。多様性やジェンダーレスを掲げながら男女共同参画というのも違和感がある。明るく希望が持てる施策を希望する。	50 歳代
○ 男女共同参画の目的や意味は理解している。「特に女性が」という固定観念にとらわれず、老若男女(LGBTQ含む)が住みやすい施策を進めてほしい。男女では身体的な特徴や体力にも差があり、その差がある上でそれぞれが生きやすい社会を構築してほしい。	50 歳代

<p>○ ① 「平等」にしようとするよりも、「認め合うことができる」社会になってほしい。このアンケートはいかに平等なのかを問われているように感じた。平等な町よりも、いろいろな考え方や生き方を認め合える町の方が魅力的だと思う。</p> <p>○ ② 子ども連れで買い物や散歩をしていると、声をかけてくれる人がたくさんいる。カフェで御馳走してくれる人もいて、稲美町は心優しい町だと思う。そんな素敵な町がこれからも続くように、協力できたらと思っている。</p>	30 歳代
<p>○ 女性だけが不公平を訴えるのはおかしいと思う。</p>	30 歳代
<p>○ ① セクハラ・パワハラ・マタハラ等、女性を中心としている。男性も主張できるようになったらいい。</p> <p>○ ② 男性の育児休業は、実際は取得できない世の中。女性が男性と平等に仕事をしようとなった時、家事や子育ての負担が増えるばかり。結局、平等とは誰に向けたものなのかわからない。男は外で仕事という社会、どうにか改めていけたらいい。</p>	40 歳代
<p>○ ① 世代間ギャップを無くす活動を充実させる。</p> <p>② 男女平等ということをわかりやすく教えてほしい。(特に中高年は教育を受けていない) 言葉のいみはわかるが、実社会においてどのようなことが男女平等なのか理解しにくい。</p>	50 歳代
<p>○ 高齢のため、わからない。</p>	70 歳以上
<p>○ 男女平等は体力面で無理がある。それを理解し、適材適所で配置すべき。部所や性別に捉われるのではなく、その人の適性を見極めることが大切。男・女の区別をするから難しくなり、柔軟性が必要である。</p>	50 歳代
<p>○ 稲美町は参画社会の実現は進んでいるが、自治会はまだ男性社会だと思う。女性の自治会長も少なく、考え方が違うと感じる。女性は職場でも補助的な事務が多く、給与も少ないが責任は重い。なかなか管理職には就けない。女性は管理職になれば勤務時間も長くなるが、真面目である。しかし妻であり母親であることも大事である。家庭を知らない人は人に厳しく、優しさや強さが男性的になると思う。</p>	70 歳以上
<p>○ ①稲美町でこのようなアンケートがあることが不思議。子育ての町というイメージがあり、女性で男性と平等に働きたいと思う人は多くいるのか疑問。男女が平等に活躍できる社会になれば素敵なことであり、稲美町からそんな社会を作ってほしい。実現できれば知名度も上がる。</p> <p>○ ② 要望ではないが、保健や介護サービスを充実させることが必要だと思うが、便利な裏側には大変な思いをする人が出る。サービスを実行するにあたり、一部の職種や住民にしわ寄せが来ないように、誰に対しても平等な町であってほしい。</p>	30 歳代

稲美町
第3次男女共同参画策定にかかる
アンケート調査
結果報告書

発行：稲美町 教育委員会 人権教育課

TEL：079-492-2550

FAX：079-492-6962

発行年月：令和3年9月